

科目 B 研修費

期間

令和7年分

日付	摘要	支出金額	通し番号
4月8日	4/4開 講演会受講 東京出張旅費【須藤議員】	17,681	E0401
	4月分	17,681	
5月26日	4月分市内出張旅費	888	交5-7
	5月分	888	
6月2日	4月分市内出張旅費	2,294	交6-1
	5月分市内出張旅費	1,628	交6-2
6月6日	5月分市内出張旅費	5,056	交6-11
6月11日	5月分市内出張旅費	1,517	交6-13
	6月分	10,495	

7月1日	6月分市内出張旅費	602	交7-2
7月3日	6月分市内出張旅費	629	交7-6
7月10日	4月分市内出張旅費	6,697	交7-7
	5月分市内出張旅費	4,292	交7-8
	7月分	12,220	
8月4日	7月分市内出張旅費	2,109	交8-1
8月7日	7月分市内出張旅費	2,960	交8-4
8月19日	7月分市内出張旅費	296	交8-8
	8月分	5,365	
9月16日	9/17開 勉強会先3件土産代 うなぎバイスケ/ファミリーマート浜松市役	7,626	B0901
9月2日	7月分市内出張旅費	518	交9-5
9月8日	8月分市内出張旅費	2,369	交9-8
	9月分	10,513	

合計	57,162
----	--------

科目 B 研修費		期間	令和7年度分
日付	摘要	支出金額	通し番号
10月9日	①10/21開 講座受講料 / 地方議員研究会	5,000	B1001
	②上記振込手数料 / 静岡銀行 浜松営業部	550	B1001
10月22日	③上記東京出張旅費、日当、現地交通費(電)	19,174	B1001
10月2日	9月分市内出張旅費	2,146	交10-4
10月8日	7月分市内出張旅費	1,480	交10-9
10月22日	5月分市内出張旅費	296	交10-23
	6月分市内出張旅費	592	交10-24
	7月分市内出張旅費	592	交10-25
10月23日	4月分市内出張旅費	518	交10-29
	5月分市内出張旅費	481	交10-30
	6月分市内出張旅費	1,702	交10-31
	6月分市内出張旅費	2,553	交10-36
	8月分市内出張旅費	888	交10-37
10月24日	7月分市内出張旅費	1,073	交10-39
10月27日	7月分市内出張旅費	777	交10-42
	10月分	37,822	

1月14日	①1/13開 東京出張旅費新幹線15,820円・地下鉄代`@180円	16,180	B0101(B1201)
	②上記研修時 日当代`@1,500円×1名	1,500	B0101(B1201)
1月15日	①1/14開 東京出張旅費新幹線16,480円・地下鉄代`@178円	16,836	B0102(B1202)
	②上記研修時 日当代`@1,500円×1名	1,500	B0102(B1202)
1月19日	講座キャンセル代 1/13開 講師不在によりビデオ講座	-15,000	B0101(B1201)
1月19日	1/20開 講座受講料/地方議員研究会	15,000	B0103
1月28日	講座キャンセル代 2/6分 講座開催中止により 2受講料	-30,000	(B1201-1)
1月30日	所用により2講座キャンセル 2/6開催分取消 受講料返	-30,000	(B1201-2)
1月13日	12月分市内出張旅費	1,599	交1-10
	1月分	-22,385	
2月2日	1/30開 講座受講 東京出張旅費	17,676	B0201(B1201)
2月10日	①2/7開 東京出張旅費新幹線15,820円・地下鉄代`@180円	16,180	B0202(B1201)
	②2/7開研修時 日当代`@1,500円×1名	1,500	B0202(B1201)
2月10日	①2/8開 京都出張旅費新幹線代(`@15,820円×2名分)	31,640	B0203(B1201)
	②2/8開研修時 日当代(`@1,500円×2名分)	3,000	B0203(B1201)
2月27日	6/4開 ボランティア議員連盟研修会出席 年会費・旅費	23,200	B0204
2月19日	1月分市内出張旅費	1,910	交2-11
2月25日	4月分市内出張旅費	888	交2-17
2月27日	5月分市内出張旅費	3,564	交2-19
	2月分	99,558	

3月2日	①3/25開 講座受講料 / 地方議員研究会	15,000	B0301
	②上記振込手数料 / 静岡銀行 浜松営業部	550	B0301
3月26日	③上記東京出張旅費、日当、現地交通費(電)	19,136	B0301
3月2日	2月分市内出張旅費	9,154	交3-2
3月3日	2月分市内出張旅費	1,266	交3-5
3月3日	6月分市内出張旅費	1,625	交3-7
3月13日	2月分市内出張旅費	518	交3-14
	9月分市内出張旅費	1,073	交3-17
3月16日	10月分市内出張旅費	1,073	交3-18
	11月分市内出張旅費	1,073	交3-19
3月19日	2月分市内出張旅費	2,055	交3-23
	6月分市内出張旅費	666	交3-26
	7月分市内出張旅費	1,073	交3-27
3月24日	12月分市内出張旅費	555	交3-32
	9月分市内出張旅費	703	交3-35
	10月分市内出張旅費	1,258	交3-36
3月26日	6月分市内出張旅費	518	交3-45

	7月分市内出張旅費	703	交3-46
	12月分市内出張旅費	444	交3-51
	2月分市内出張旅費	481	交3-53
	1月分市内出張旅費	444	交3-55
	2月分市内出張旅費	2,146	交3-56
3月31日	2月分市内出張旅費	4,625	交3-57
	3月分市内出張旅費	999	交3-60
	3月分市内出張旅費	3,558	交3-64
	3月分市内出張旅費	851	交3-68
	3月分市内出張旅費	444	交3-79
	3月分市内出張旅費	2,146	交3-80
	5月分市内出張旅費	1,566	交3-83
	6月分市内出張旅費	2,368	交3-84
	7月分市内出張旅費	666	交3-85
	8月分市内出張旅費	1,406	交3-86
	9月分市内出張旅費	1,258	交3-87
	10月分市内出張旅費	2,146	交3-88
	11月分市内出張旅費	1,776	交3-89
	12月分市内出張旅費	1,406	交3-90
	1月分市内出張旅費	1,910	交3-91
	2月分市内出張旅費	10,322	交3-92
	3月分市内出張旅費	5,540	交3-93
	3月分	104,501	

合計	462,984
----	---------

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和7年4月4日(金) 1日間		
出張先(目的)	東京都 Meta 東京オフィス 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 講演会 受講		
出張者氏名	須藤 京子		

旅 費 額 内 訳

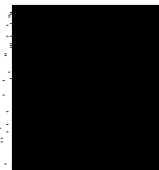
項 目	金 額	備 考
交通費	7,850 円	① JR新幹線 往路切符代【浜松～東京】(乗車用ICカード・早得)
〃	7,871 円	② 〃 復路切符代【東京～浜松】 7,910 円 上記 JCB カード利用 ポイント相当額減額 ▲ 39 円
〃	460 円	バス代 〃 『広沢小学校』—『浜松駅』 往復 @ 230 円 × 2
日 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1日 × 1名分
合 計	17,681 円	

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥	1	7	6	8	1		

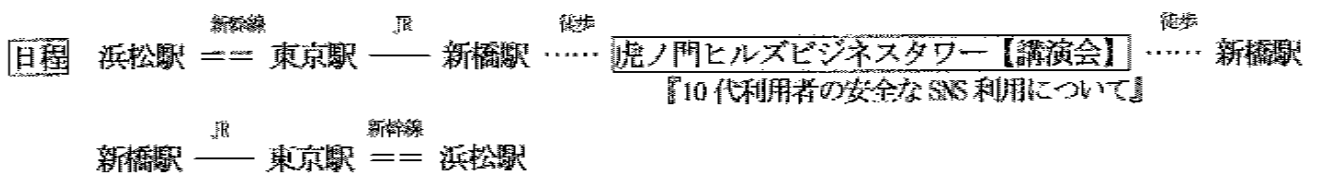
上記の金額を支払ったことを証明します。

令和7年4月8日

代表者 会長 倉田 清



<詳細>





みんなはどうしてる？ 我が家のインスタ ANZENルール キャンペーン ローンチイベント

Metaは、10代のお子さんを持つ保護者、青少年支援に携わる関連団体、行政や教育機関の方々を対象に、10代利用者の安全なSNS利用について考えるキャンペーン「みんなはどうしてる？我が家のインスタANZENルール」のローンチイベントを開催します。初めてスマートフォンに触れたり、新しい友達と繋がるためにSNSを利用する機会が多くなる新学期に合わせて実施します。

イベントでは、1月から日本で導入が開始されたInstagram ティーンアカウントの紹介のほか、子どものネット利用や、発達心理学を専門とするゲストを交えたパネルディスカッションが行われます。ぜひお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

日時: 4月4日(金) 13:00～14:45 (開場: 12:30)

場所: Meta東京オフィス 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

対象: 保護者、NPO等青少年支援を行う関連団体、行政機関、教育機関、報道機関など

内容:

- Instagramティーンアカウント、およびキャンペーンについてMetaよりプレゼンテーション
- 外部ゲストとのパネルディスカッション「子どもの安全なSNS利用のためにできること」
- ネットワーキング

イベント詳細・お申し込みはこちら

本イベントには報道関係者の取材や記録のための撮影が入ります。映り込む可能性もありますので、ご了承いただける方のみご参加いただけますようお願いいたします。



<https://forms.gle/UxAzjGaLKKucUT4K7>

人数

おとな 1

商品

EX早特7[普通車用]

運行状況

ひかり 640

N700系16両

時間

9:17 → 10:42

区間

浜松 → 東京

座席

6号車 10番D席

普通車

乗車用ICカード

指定

金額

おとな ¥7,850 1名分

合計： **¥7,850**

スマートEXをご利用いただきありがとうございます。
ありがとうございます。

予約結果は以下のとおりです。

自由席を予約しました。

領収額は、合計 7,910円です。

$5\text{円}/\text{P} = 1000\text{円}$ 、 $\therefore 200\text{円} \times 10$

P 減額 39円

■予約内容

お預かり番号：2000

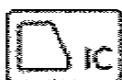
乗車日 2025年4月4日

東京→浜松

おとな1名

スマートEX自由席

発売額 7,910円



交通系など各種カードへのオートチャージ
もっと見る

普段のお買い物で
ポイントがたまる
パートナー店なら
さらにザクザクたまる！



1,000円（税込）につき1ポイントがたまり、たまったポイントは、
1ポイント＝最大5円分相当※として利用可能です。

1. にご利用分が1,000円未満でも、毎月のご利用分すべてを合計してからポイントに換算されます！

※ 交換商品により異なります。

パートナー店で
さらにおトク

パートナー店一例

STARBUCKS

amazon



JCBカード W
JCBカード W plus L
なら

最大21倍

JCBカード S/JCBゴールド
JCBプラチナ
なら

最大20倍

注意事項

※1. スターバックス カードへのオンライン入金・オートチャージ、Starbucks eGiftが対象です。

店舗でのご利用分・入金分はポイント倍付の対象となりません。

※2. Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※3. 一部対象とならない店舗があります。法人会員の方は対象となりません。

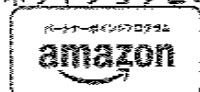
※事前にポイントアップ登録が必要です。ショップにより特典・条件等が異なるため、最新情報は下のサイトよりご確認ください。

JCBオリジナルシリーズサイトはこちら

たまったポイントは

おトクに使おう！

ネットショッピングで使う



Amazon.co.jpでのご利用で


1ポイント＝3.5円分

カフェで使う



令和7年3月17日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 倉田 清一 様

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
氏名 須藤 京子 

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。


記

- 1 出張者 須藤 京子
- 2 期間及び出張先 令和7年4月4日(金)
東京都 Meta東京オフィス 虎ノ門ヒルズビジネスタワー
- 3 目的
「みんなはどうしてる?我が家のINSTAZENルール」
※10代利用者の安全なSNS利用を考えるキャンペーンイベント 講演会 受講

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名 

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。



みんなはどうしてる？ 我が家のインスタ ANZENルール キャンペーン ローンチイベント

Metaは、10代のお子さんを持つ保護者、青少年支援に携わる関連団体、行政や教育機関の方々を対象に、10代利用者の安全なSNS利用について考えるキャンペーン「みんなはどうしてる？我が家のインスタANZENルール」のローンチイベントを開催します。初めてスマートフォンに触れたり、新しい友達と繋がるためにSNS、利用する機会が多くなる新学期に合わせて実施します。

イベントでは、1月から日本で導入が開始されたInstagram ティーンアカウントの紹介のほか、子どものネット利用や、発達心理学を専門とするゲストを交えたパネルディスカッションが行われます。

ぜひお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

日時: 4月4日(金) 13:00~14:45 (開場: 12:30)

場所: Meta東京オフィス 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

対象: 保護者、NPO等青少年支援を行う関連団体、行政機関、教育機関、報道機関など

内容:

- Instagramティーンアカウント、およびキャンペーンについてMetaよりプレゼンテーション
- 外部ゲストとのパネルディスカッション「子どもの安全なSNS利用のためにできること」
- ネットワーキング


イベント詳細・お申し込みはこちら



本イベントには報道関係者の取材や記録のための撮影が入ります。取り込む可能性もありますので、ご了承いただける方のみご参加いただけますようお願いいたします

(様式 11)

B0901

令和 6 年 4 月 8 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 倉田 清一 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 4 月 4 日 (金) 1日間
出張先	東京都港区虎ノ門 〈Meta 東京オフィス〉 虎ノ門ヒルズビジネスタワー
出張の理由	『みんなはどうしてる? 「我が家のインスタ ANZEN ルール」』 10 代利用者の安全な SNS 利用について考えるキャンペーンイベント 講演会・パネルディスカッション 受講
出張者 氏名印	須藤 京子 
(出張の顛末)	
別紙の通り	
(備考)	

令和7年4月5日

自由民主党浜松

倉田 清一 様

報告書

日 程 令和7年4月4日(金)

出張先 東京都港区虎ノ門 虎ノ門ヒルズタワー Meta 東京オフィス

出張の理由 「みんなはどうしてる?我が家のインスタ ANZEN ルール」

キャンペーンへの出席

出張者氏名 須藤 京子

(出張の顛末)

2025年4月4日金曜日、虎ノ門ヒルズにあるMeta東京オフィスにおいて「みんなはどうしてる?我が家のインスタ ANZEN ルール」キャンペーンのローンチイベントが開催された。このイベントは、本年1月に国内でも導入が始まった、13歳から17歳を対象としてInstagramのティーンアカウントについての保護者に向けた啓発を行うと同時に、初めてスマートフォンに触れたり、新しい友達とつながるためにSNSを利用する機会が多くなる新学期にあわせて、安全な利用について保護者と子どもが一緒に考え、話し合うきっかけを作ることを目的としている。

イベントは、Instagramティーンアカウントの説明と「子どもの安全なSNS利用のためにできること」というパネルディスカッションの二部構成で行われた。

まず、Instagramティーンアカウントについては

・13歳~17歳の子供が対象であること

- ・安全のための様々な機能や設定が適用される
- ・新たにアカウントを作成する場合だけでなく、すでに Instagram を利用している場合も自動的にこちらに移行する

そして、日本では今年 1 月から導入を開始しているが、今後数か月のうちに対象となる利用者全員が移行する予定であることなどが、Meta の社員から説明された。

また、10 代の子どもを持つクリエイター 10 名が参加して SNS やスマホ利用についてのルールや子どもとの話し合いの内容についてなどを投稿してもらい、それが保護者へのヒントとなって SNS の安全な利用について子どもと話し合うことのきっかけにつながることを目指しているという説明もあった。

第 2 部のパネルディスカッションでは、弁護士であり子ども家庭庁「青少年インターネット環境の整備に関する検討会」委員などを務める、XXXXXXXXXX 氏と発達心理学を専門とされる北海道大学大学院教育学研究院 XXXXXXXXXX 氏をパネリストに迎え、Meta XXXXXXXXXX 氏がコーディネーターを務めた。

ここではまず、ソーシャルメディア利用の光と影についての話から始まった。リアルでは出会えない世界との出会うことによる視野の広がりや知識の深まりは利点ではあるが、トラブルに巻き込まれる危険性もはらんでいる。そのため、ネットの行動範囲はリアルの行動範囲は同じレベルが望ましく、発達に応じて徐々に範囲を広げることが必要であるという話だった。そこで必要とされるのがルールの形成ではあるが、厳しすぎるものも効果は薄くなぜこうしたルールが必要であるかを考えることが大切である。また、トラブルに巻き込まれた場合でも、原因追及をまず行うのではなく、トラブルの解決について大人と一緒に考えることが重要である。13 歳からの年代はメタ認知機能が向上する年代でもあるが、思春期でもありトラブルの相談事も学校や親、誰にも知られたくないというケースが多い。しかし

ながら、困りごとの相談相手としては友人が一番多くもある。そこで、大人にできることとしては、学校において、本人以外の友人からの相談事であっても重く受け止め、多くの関係者（保護者も含めて）が情報を共有することを提案したい。従来「こどもは未熟」ではあるが、SNSでは子どもの方が有能であり、子どもに教えを乞う場合も多い。万が一失敗があってもその経験を活かして、危険から逃れる方法を大人と子どもが共に考え、一緒に行動していくことが大切であることを忘れてはならない。

今後は、こうした状況を踏まえながら Instagram のティーンアカウントの周知と保護者のペアレンタルコントロールを利用して、子どもの体験に関りながら大人も共に深く関わる事が求められる時代になっていくと感じた。

以上

B0901


支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
				¥	7	6	2	6

但し 9/17 勉強会時 (1班 2件3か所・2班 2件2か所) 土産代金として

浜松市中央区元城町 103-2 ファミリーマート浜松市役所/S店

土産 (うなぎパイ) 代 @1,542円 × 5箱 = 7,710円の内

1班 ①今後の財政について …  氏宛 1,542円

②部活動の地域移行と職員の多忙化、定数について

… スポーツ庁宛

… 文科省宛

※2ヶ 3,000円 上限度

2班 ①「わが国の農業の将来像」について … 農水省宛 1,542円

②大学の地方分散化、政府機関の地域移転について

… 内閣府宛 1,542円

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 7 年 9 月 16 日

代表者名 平野 岳子 



浜松市役所/S店
静岡県浜松市中央区元祇町1-3番
地の2
電話：053-450-0650

登録番号：T2080401027228

領収証

2025年 9月16日

浜松市議会 自由民主党浜松後

¥6,158-
8%対象特選食品等 ¥6,158
(内消費税等 ¥456)

但し

上記正に補収いたしました

<本証取扱いをお断りください>
財布等に記入の誤りがある場合、印字
漏れを内務に訂正して保管して下さい。

印字 1-2465

黄No. 001

@15420 x 4%

218,518 x 5% = 10,925.9

領収証

自民党集帳

様

No. _____

★ ¥1,542-

担 593,094円

2025年 9月 16日

上記正に補収いたしました

内訳	税率	金額(税込/税別)
8%		¥1,542
税率		¥114
		金額(税込/税別)
		消費税等

取 入
印 紙

コクニ 299-1087

T4300946 浜松市中央区元祇町103番地の2
ファミリーマート
浜松市役所/S店(69209)
電話 053-450-0650

自由民主党浜松 国要望・研修会 日程表

(9月17日)

- ◆総会日程 令和7年9月17日(水)
- ◆視察先 要望及び調査活動・勉強会(東京都)
- ◆参加議員 議員23名

1班 平野 岳子 議員、井田 博康 議員、柳川樹一郎 議員、高林 修 議員、
【11名】 戸田 誠 議員、倉田 濟一 議員、小野田康弘 議員、神間 郁子 議員、
 小泉 翠 議員、中野 和幸 議員、藤田 典良 議員

2班 齋藤 和志 議員、加茂 俊武 議員、久米 丈二 議員、辻村 公子 議員
【12名】 太田 康隆 議員、漣美 誠 議員、花井 和夫 議員、鳥井 徳孝 議員
 須藤 京子 議員 松本 康夫 議員、露木里江子 議員、鈴木 裕之 議員

◆集合時間 9月17日(水) 浜松駅新幹線改札口 9時 集合

9 月 17 日 (水)	全員 ひかり640号 タクシー 浜松 9:17 === 10:42 東京 —— 11:15 衆議院第二会館 (控室: 618号室)	
	1 班	2 班
	全員 昼食 11:30~12:10 (第2会館地下食堂)	
	昼食終了後 電車8分 丸の内線赤坂見附 …… 銀座線虎ノ門	
	文部科学省 13:00~13:15 11階 野中 厚 副大臣 終了後 徒歩にて財務省へ(約5分)	
	財務省 13:50~14:05 2階 加藤 勝信 大臣 地下鉄にて第二会館へ移動	
	勉強会 ①14:20~15:00 【今後の財政について】 ②15:00~15:40 【部活動の地域移行と教職員多忙化、定数】 終了後 地下鉄にて国交省へ	
	国土交通省 16:00~16:15 4階 高橋 克法 副大臣 ※終了後 タクシーにて東京駅へ	
	勉強会 ①12:20~13:00 【我が国の農業の将来像】 ②13:00~13:40 【大学の地方分散化、政府機関の地域移転】 終了後 地下鉄にて農水省へ(約10分)	
	農林水産省 14:15~14:30 3階 笹川 博義 副大臣 終了後 徒歩にて総務省へ(約7分)	
総務省 15:15~15:30 7階 古川 直季 政務官 終了後 徒歩にて厚労省へ(約6分)		
厚生労働省 16:00~16:15 10階 福岡 資麿 大臣 ※終了後 タクシーにて東京駅へ		
全員 ひかり 東京 17:03 === 18:27 浜松		

(様式11)

B0901 - 15/1

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館
出張の理由	勉強会 (1 班) ① 14:20~15:00 今後の財政、税制について … 会田 卓司 ② 15:00~15:40 部活動の地域移行と、教職員多忙化、定数について … 文科省
出張者 氏名印	柳川樹一郎 [印] 戸田 誠 [印] 倉田 清 [印] 平野 岳子 [印] 井田 博康 [印] 小野田康弘 [印] 神間 郁子 [印] 小泉 翠 [印] 中野 和幸 [印] 藤田 典良 [印] (計 10 名)
(出張の顛末)	別紙 報告書の通り
(備考)	

浜松市議会 自由民主党浜松 柳川樹一郎

代表 会長 平野 岳子 様

令和7年9月17日

東京都 研修会 衆議院第2会館

研修会(1) 今後の財政

(2) 部活動の地域移行・職員の多忙化、定数について

(1) 今後の財政について [] 氏による説明

トランプ関税後に内需の拡大構造的デフレ不況を脱却へするための考えを伺った。企業が支出をこれ以上減らせばもっと経済は悪循環し恐慌を招く恐れがある。政府は、30兆円支出すべきであり、それが可能であるという。消費税全廃もあり得るが、政治的判断がどこまで求められるか。国債費も印象操作されている日本の未来はやり方次第だと認識した。

(2) 部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について

(スポーツ庁地域スポーツ課長 鈴木文孝・文化芸術環境の整備について参事官補佐 南雲太郎氏) による説明

学校数の減少、進む少子化で生徒数はさらに減少する中、従前の学校単位での体制は持続困難となる事を説明した。部活動の改革の方向性を段階的に行う中、学校や地域によって体制整備が厳しいところもあります国は最良を目指し、予算も増やしている。受益者の費用負担も、3000円以内とし公的負担とのバランスも考慮していくとのこと。

子供の未来を守る教師を取り巻く環境整備について

(文部科学省初等中等教育局企画官 高見瞭子・財務課教職員配置計画専門官小泉武士氏) の説明

教師を取り巻く厳しい勤務実態として、平均時間外勤務は地方公務員一般行政職の約3倍、課題の多様化、採用試験は過去最低で教師不足になっている。また、精神疾患による病気休職者数は過去最多を更新した。国は、定数改善計画として中学校35人学級を令和8年度から10年度にかけて実施、小学校の4年生の教科担任制の拡大と新規採用教師の支援、いじめ・不登校対応等のための体制整備では養護教諭の複数配置基準を小・中学校とも100人にすることについて引き下げをするように要望したところ。

(様式11)

令和 7 年 9 月 19 日提出

(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松

代表者 会長 平野 岳子 様

報 告 書

出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:15 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①経済・マーケットの新しい見方 ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について
出張者 氏名印	戸田 誠
<p>(出張の顛末)</p> <p>■ エコノミストから現在の世界情勢からみる経済状況・日本経済の状況、財務省からの項目別歳出割合の資料をどう見るかの説明を受け、国債の指標表現が日本独自であり、グローバルな表現では無いことから日本の財政は危機的状況にはないことから積極的な支出を行い市場経済を回すことが必要であると講義を受けた。現状分析の仕方では財政状況の評価が大きく変わることが理解できた。国債(別紙1)をどうみるか、財政をどうみるか、その上で、どう施策につなげるか、地方議員である我々がどう活動すべきかを考えさせられた良い研修であった。</p> <p>部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について、現状国で進めている状況の説明を受け、部活動の値域展開の方針、全国で進められている事例など参考になったが、地域較差や課題等はまだまだあると感じた。また、現状に目をつぶり進めているように感じて問題が噴出しそうなので、注意深く進める必要があると再認識した。</p> <p>子供の未来を守る教師を取り巻く環境整備については、来年度に向けての改善方針の説明を受け、少しずつではあるが改善していく感じが受けれて安心したが引き続き改善されるように要望活動をしていく必要性を感じた。</p>	
資料添付	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出

(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

報 告 書

出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:20 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①今後の財政、税制について ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について
出張者 氏名印	1班 倉田 清一

(出張の顛末)

- ① 今後の財政、税制について(クレディ・アグリコス証券会社 〇〇〇〇 氏)
- ・現在の日本はトランプ政権関連の外部要因による逆風にさらされており、国内需要の大幅な拡張が不可欠。企業貯蓄率が増加傾向で推移し、国民の消費支出削減がデフレを助長している現状が指摘。政府の財政赤字は景気後退抑制策として一定の役割を果たしたが、成長志向型経済への構造転換が不十分である。
コロナ禍で政府支出が増加し企業や国の資金需要が回復した一方、企業の投資活動の停滞や国の歳出削減により財政収支は黒字化した。家計部門の負担が続いている。国債費の見掛け上の増加は償還費計上方式の違いに起因しており、実質的な健全育成は米国と比較しても良好。
財政支出については、義務的支出と裁量的支出の峻別が求められ、特に裁量的支出の機動的運用が重要視される。1995年以降の財政危機宣言及び増税政策は経済停滞の主要因の一つとされ、国債運営に関する認識の誤りも明示された。
積極財政実施のためにはマクロ経済の視点から政策の最高が必要であり、約30兆円規模の追加支出が望ましいとの結論が出ている。国会議員や財務所には、積極的な財政運営を巡る議論の進化や国民に対する説明責任の遂行が求められる。
 - ・今回の勉強会では日本経済の現状と財源のあり方について説明を受けた。
特に財源確保ルールは義務的支出と裁量的支出の全てに財源を用意しなければならない状況が続いていることや、財政の不健全さを改善するため償還費や利払費の実態を正確に把握し、歳出を義務的支出と裁量的支出に分けて機動的な財政運営を可能にする改革の必要性を感じた。

② 部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について

(講師)・スポーツ庁：鈴木文孝氏、文化庁：奈雲太郎氏

・文部科学省：高見曉子氏、小泉武士氏

- ・中学校の部活動については、少子化の影響で学校単位による部活動維持が困難になりつつあるとともに、教職員の働き方改革の早急な実施が求められており、地域クラブ移行が推進されている。現在、複数の市町村において地域展開を見据えた実証事業が実施されており、指導者や財源確保の具体的手法も報告されている。また、指導者資質の担保や暴力行為の防止、勝利至上主義の脱脚等、地域クラブ運営における課題も議論されている。

保護者負担額については月額数千円を想定し、国としては年末までに正式な指針を出す予定であるとのこと。また、教職員の精神疾患に起因する休職者の増加も顕著であり、健康管理と支援体制の強化が不可欠とされる。

今後、地域展開ガイドラインの改定、並びに財政支援の拡充を図り、6年間の改革実施機関を通じて持続可能な部活動体制の構築を目指す方針であるとのこと。

- ・本市においても令和8年9月から地域展開が実施される。今回、実施している事例や課題を国の担当者から聞くことができ、有意義な研修会であった。

特に、地域クラブを運営する団体に対する地域クラブ活動の運営費用や指導者人件費に対する補助制度を創設し、国と地方が財政支援を分担する必要性を強く感じた。

(備考)

(様式 11)

令和 7 年 9 月 18 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:15 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①今後の財政について。 ②部活動の地域移行・職員の多忙化、定数について。
出張者氏名印	1班 平野 岳子
(出張の顔末)	
① 今後の財政について (グレイ・アーク証券会社 〇〇〇〇 氏)	
トランプ関税後に内需の拡大で構造的デフレ不況を脱却へするための考えを伺った。企業が支出をこれ以上減らせばもっと経済は悪循環し恐慌を招く恐れがある。政府は30兆円支出すべきであり、それが可能であるという。消費税全廃もあり得るが、政治的判断が求められる。円償費も印象操作されている日本の未来はやり方次第だと認識した。	
② 部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について	
(スポーツ庁地域スポーツ課長 鈴木文孝氏・文化庁学校芸術教育室 参事官補佐 奈良太郎氏)	
学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数はさらに小さくなる中、従前の学校単位での体制は持続困難となる背景を説明いただいた。部活動改革の方向性を段階的に行う中、学校や地域によって体制整備が厳しいところもあり、国は最適化を目指しながら予算を増やしている。費用負担は受益者3000円以内、公的負担とのバランスが重要、国・県・市で支え合う。経済的困窮世帯への支援は確実に措置、公立の教師が希望する場合の兼職兼業も可能である。浜松市として、市民に正しい理解を得る事と協力体制の構築を確認したい。	
子どもの未来を守る教師を取り巻く環境整備について	
(文部科学省初等中等教育局企画官 高見暁子氏・財務課教職員配置計画専門官 小泉武士氏)	
教師を取り巻く厳しい勤務実態として、平均時間外勤務時間は地方公務員一般行政職の約3倍、課題の多様化、採用試験は過去最低の教師不足があげられた。精神疾患による病気休職者数は過去最多を更新。国は、新たな「定数改善計画」として、中学校35人学級を令和8年度から10年度にかけて実施、小学校4年生の教科担任制の拡大と新規採用教師の支援を、いじめ・不登校対応等のための体制整備では養護教諭の複数配置基準を、小・中学校ともに100人引き下げについては、我が会派として文科省に要望した内容でもあり、今後に期待する。	

令和7年9月19日提出

会派名 自由民主党浜松
代表者 平野岳子 様

報告書

出張年月日 令和7年9月17日

出張先 衆議院第二議員会館 東京都千代田区永田町2-1-2

出張の理由 「日本の経済について」と「部活動の地域移行」の勉強会

出張者
氏名印 井田博康

(出張の顛末)

【エコノミスト ■■■ 氏による「日本の経済について」の勉強会】

過去の日本経済から、現在の日本経済の状況の説明があり、企業が資金を出し渋ったり赤字経営からの脱却のためにリストラをするなどの会社規模縮小に向かう動きはマクロの視点で見ると非常に危険な事である。

ミクロの視点で見ると、企業の出資がまだまだ足りないし、財政も出資が必要である。日本政府のグローバルスタンダードの歳出構造を見ると、国債費と義務的支出と義務的支出に分けられ、義務的支出は財源が必要で義務的支出は時機を見て支出する。これをしっかり分けて考えてミクロからマクロへのシフトチェンジを行っていかなければ財政再建離されて行かないとの説明を受けた。

<所 感>

マクロの視点で現在の経済状況を見て、ミクロの視点で分析し方向性を決めていく事は重要な事で、マクロの視点で経済状況を再確認していく事がまた次のステージに上がっていく事なのかなと感じた。

【スポーツ庁・文科省職員による「部活動の地域移行」の勉強会】

スポーツ庁職員による部活動の地域移行に関する、スポーツ庁の方針の勉強会を受けた。

少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して楽しむ機会を確保する。また、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現し、地域住民にとってもより良いスポーツ・文化芸術の環境整備をすることによる「まちづくり」に繋がるこ

とを目指している。実際に掛川市では、サッカー部のないエリアにサッカークラブを設立したり、部活動の種目がない女子野球クラブを設置した事例も紹介された。

令和5年度～7年度は改革推進機関で、令和8年度～10年度は改革実行機関(前期) 令和11年度～13年度は改革実行機関(後期)と定め、休日に関しては改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。平日に関しては各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進する。(まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証) また、費用負担の考えや今後の主なスケジュールについても説明があった。

<所感>

学校部活動の地域移行に関しては、残業時間の多い教員の皆さんの働きかた改革の一部として始まった事であると考えます。少子化が進む中、一度今までの部活動の概念と教員の仕事を分けて考える事も必要であると考えます。

部活動があることのメリット・デメリットをよく整理して、今後の少子化の事も加味した上で考え直す必要があると思います。部活動の目指す所や、どこまで教員が関わっていくのか、また、子供たちにどんなスポーツや文化芸術の分野に触れさせてあげるか、それによって学校生活がどのように変化していくのかをしっかりと考えて進めることが子供たちのためになると考えます。

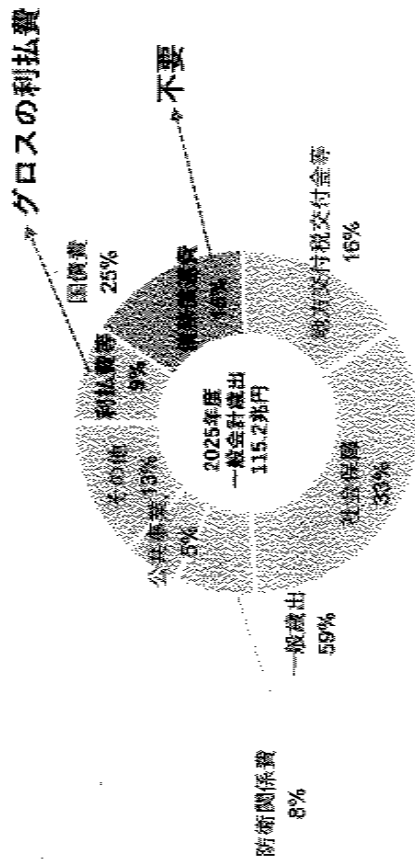
子供たちが部活動で得るものは、技術面や精神面、生活面に影響することもたくさんあると思います。子供たちの事を第一に考える事を忘れないように進めて頂きたいと考えます。

国債は事実上永続的に借り換えされていく

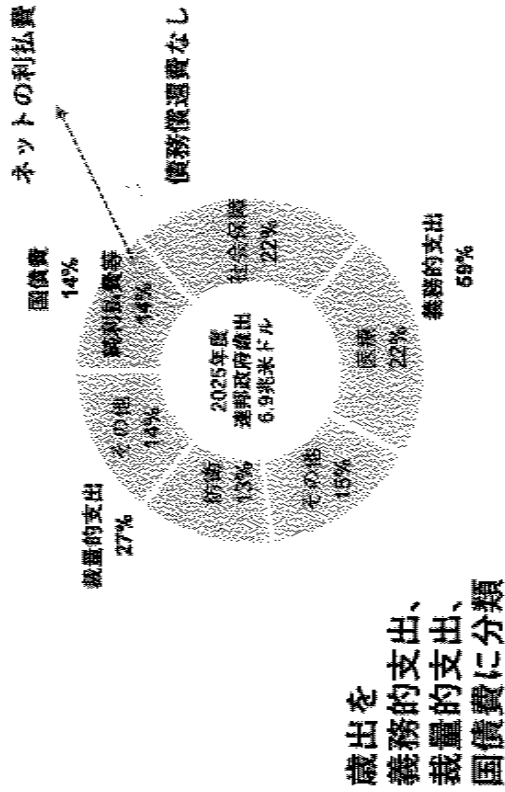
・グローバル・スタンダードでは、歳出に国債償還費は入らないが、日本は国債60年償還ルールがあるため、見かけ上の国債費が膨張している。グローバルには、国債の発行は民間資産の増加となるため、景気過熱の抑制の必要がない限り、発行された国債は事実上永続的に借換されていき、政府の額面での債務残高は増加していく。

・米国では、利払い費は金利収入を控除するネットであるが、日本ではグロスであり、利払い費も誇張されている。

<日本の国家予算の歳出>



<米国の国家予算の歳出>



歳出を
義務的支出、
裁量的支出、
国債費に分類

注：米連邦政府予算のその他には退役軍人関連支出や失業・就労訓練手当が含まれる 出所：財務省、OMB、クレディ・アグリコル証券
©2024 OMB, AGRI-COL SECURITIES

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先)	会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:15 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①国保、年金の現状と今後の財政、税制について。 ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について。
出張者 氏名印	1班 小野田 康弘
(出張の顛末)	
① 講師 クレディ・アグリコル証券会社 XXXXXXXXXX 氏	
この勉強会では、国の財政に関するものであり、以下の内容であった。	
現在の日本経済は、トランプ政権関連の外部要因による逆風にさらされており、国内需要の大幅な拡張が不可欠とされている。企業貯蓄率が一貫してプラスに推移し、これに伴う支出削減がデフレーション圧力を助長している現状が指摘される。政府の財政赤字は景気後退の抑制策として一定の役割を果たしたものの、成長志向型経済への構造転換にはなお不十分である。	
新型コロナウイルス感染症流行下では政府支出が増加し、企業・政府の資金需要が回復したことが経済の拡大要因として挙げられる。一方で、企業の投資活動の停滞及び財務省の歳出削減政策により、財政収支は黒字化し、家計部門の負担が継続している。国債費の見かけ上の増加は償還費計上方式の違いに起因しており、実質的な健全性は米国と比較しても良好である。	
財政支出については義務的支出と裁量的支出の峻別が求められ、特に裁量的支出の機動的運用が重要視される。1995年以降の財政危機宣言及び増税政策は経済停滞の主要因の一つとされ、国債運営に関する認識の誤りも明示された。積極財政実施のためにはマクロ経済的視点から政策の再考が必要であり、約30兆円規模の追加支出が望ましいとの結論が導かれている。政治関係者及び当事者は財政健全化のみならず、積極的な財政運営を巡る議論の深化や、国民に対する説明責任の遂行が求められる。	
所管	
今回の勉強会では、日本経済の現状と財政の在り方について説明された。特に財源確保ルールは、義務的支出・裁量的支出の全てに財源を用意しなければならない状況が続いていることや、財政の不健全さを改善するため、償還費や利払費の実態を正確に	

(様式 11)

把握し、歳出を義務的歳出と裁量的歳出に分けて機動的な財政運営を可能にする改革の必要性は感じました。

② 講師 スポーツ庁 鈴木 文孝 氏 文化庁 奈雲 太郎 氏
文部科学省 高見 暁子 氏 小泉 武士 氏

部活動の地域移行および教職員の働き方改革について、スポーツ庁及び文部科学省の担当者と情報交換を実施した。

部活動の地域移行について、少子化の影響により、従来の学校単位による部活動の維持が困難となりつつあり、地域クラブ活動への移行が推進されている。現在、複数の市区町村において地域展開を見据えた実証事業が実施されており、指導者及び財源確保の具体的手法も報告されている。

教職員には長時間労働や精神的負担といった深刻な課題が認められ、教職員定数の改善ならびに働き方改革の早急な実施が求められている。中学校段階では 35 人学級の実現、生徒指導担当教員や養護教諭の配置基準緩和など、具体的な改善策が提示された。部活動運営に関しては、教員負担軽減を前提とし、外部指導者の活用および手当体系の見直しについても検討が進められている。また、指導者資質の担保、暴力行為の防止、勝利至上主義からの脱却等、地域クラブ運営における課題も議論されている。

保護者負担額については月額数千円規模を想定し、国としては年末までに正式な指針を示す予定である。教職員の精神疾患に起因する休職者の増加も顕著であり、健康管理および支援体制の強化が不可欠とされる。今後、地域展開ガイドラインの改定並びに財政支援の拡充を図り、6 年間の改革実施期間を通じて持続可能な部活動体制の構築を目指す方針である。

所管

本市においても、令和 8 年 9 月から地域展開が実施される。すでに実施している事例などを紹介していただき、課題となっていることを国の担当者に直接聞くことができ有意義な勉強会であった。特に地域クラブを運営する団体に対し、地域クラブ活動の運営費用や指導者人件費に対する補助金制度を創設し、国と地方が財政支援を分担する必要を強く感じた。

(備考)

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:15 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①経済・マーケットの新しい見方。 ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について。
出張者 氏名印	1班 神間郁子
(出張の顛末)	
<p>① 経済・マーケットの新しい見方、と題し、トランプ開税後に内需の拡大で構造的デフレ不況を脱却にむけて積極財政が必要であることについて講義を受けた。今回の参議院選挙にて、国民生活のひっ迫状況と、与党としての財政支出にむけた取り組みがかみ合わないことにより、敗北を期した。財政改善と消費の悪化で「財政あつての経済に」なってはならず、積極財政を与党として推進すべきであると強く感じた。総裁選にむけてこの点が積極的に議論されるよう希望する。</p> <p>② 教職員の多忙化・定数については、直前に文科省要望した事項について、小学校の教科担任制を小学校4年から拡大することと、養護教諭の配置の充実については予算要求要望しているとのこと。子供は減っていくが、教育の充実・また教師の質の向上、働き方改革にむけて、定数改善計画が策定される。</p> <p>部活動の地域展開については、本市でも実証事業として取り組むことによって、課題等の整理がされていくが、国としては、持続可能な収支構造の構築・参加費用など保護者理解の促進・何より指導者の量の確保が大きな課題であると認識している。その際教員の兼職兼業が一つのポイントとなる。地域展開は「部活動」と言っている限り、教育委員会の手は離れることなく、多忙が続く。今後、社会教育としての位置づけが重要となってくる。子供たちの豊かなスポーツ・文化活動が大人の都合で犠牲とならないように、これまで以上に地域展開への補助など、国へ強く要望していく必要がある。</p>	
(備考)	
① クレディ・アグリコル証券会社 XXXXXXXXXX 氏	
② スポーツ庁地域スポーツ課長 鈴木文孝氏、 文化庁学校芸術教育室 参事官補佐奈雲太郎氏、文科省初等中等教育局 企画官高見 曉子氏、財務課 教職員配置計画専門官小泉武士氏	


(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:15 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①経済・マーケットの新しい見方について ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について
出張者 氏名印	小泉 翠
(出張の顛末)	
① 経済・マーケットの新しい見方について ～トランプ開税後に内需の拡大で構造的デフレ脱却へ～ バブル崩壊を経験した企業は、当時の金融機関の対応から、借入に対してかなり後ろ向きになっている。そのため企業貯蓄率は高止まりを続け、政府が様々な政策を打っても効果が出にくい。デフレ脱却を目指すには、ネットの国内需要（企業貯蓄率＋財政収支）の回復が必須である。 国債の発行についても、60年償還ルールについて今一度精査し、グローバルスタンダードの考え方に立って発行額を見直す必要がある。	
② 部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について 部活動はもはや学校だけで維持していくことは困難で、地域の協力が不可欠である。一種の生涯学習の場として、異年齢が交流できる場としていくようなイメージ。 早い段階から取り組んでいた自治体では、子どもたちの多様なニーズに対応するクラブ活動や人材バンク、財源確保策が展開されている。指導者の量と質を確保するためのガイドラインを作成中である。	
(備考)	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:20 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①今後の財政、税制について。 ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について。
出張者氏名印	1班 中野 和幸
(出張の顛末)	
① 「国保、年金の現状と今後財政、税制について」との話であったが、「経済・マーケットの新しい見方 ～トランプ関税後に内需の拡大で 構造的でふれ不況を脱却へ～」 [redacted] 氏 1995年から、日本の財政は危機。少子高齢化も進む中で、これからの日本は、内需拡大するために積極財政を行うべき。	
② 「部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について」との事であったが、「部活動の地域展開・地域連携と地域スポーツ・文化芸術環境の整備について」 スポーツ庁・文化庁 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数/学校はさらに小さくなる中、部活動は継続困難。 「地域の子供たちは、地域で育てる」という意識の下、地域のすば一つ・文化資源を最大限活用。生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現。 生徒のみならず、地域住民にとってもより良いスポーツ・文化芸術の環境整備。スポーツ・文化芸術による「まちづくり」	
(所感)	
・お金は使わないのではなく、積極的に使い、設備等が良くなっていけば、自然にお金は使うようになっていく。お金を使うようになれば経済は活性化し、税金も増えていく。積極財政を行うべきである。 ・少子高齢化の時代、いろいろな知恵を出し合い、考えていかないといけない。	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 14:20 ~ 15:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①今後の財政、税制について。 ②部活動の地域移行と教職員の多忙化、定数について。
出張者 氏名印	藤田 典良 
<p>(出張の顛末)</p> <p>●テーマ:「トランプ関税後に内需の拡大で構造的デフレ不況を脱却へ」 講義では、積極財政による成長投資の重要性が強調された。国債は事実上、永続的に借り換えられていくものであり、「国債費が財政を圧迫している」という通説は誤りであるとの視点が示された。財政赤字が存在すること自体が不健全なのではなく、財政の在り方・設計こそが問われるべきであると結論づけられた。</p> <p>●テーマ「部活動の地域移行と教職員の多忙化・定数について」 国の基本的な方向性や制度設計の状況について説明があった。教職員の過重労働の改善には、部活動の地域移行を一層進める必要があるが、受け皿となる地域団体や指導者の不足が課題とされた。教職員定数の改善も並行して求められるとの見解が示された。</p> <p>〈所感〉 経済や財政に関して、国債の本質的な性格を踏まえた新しい視点を得ることができた。特に「財政赤字＝不健全」という従来の見方を相対化し、積極的な投資による成長路線をどう構築するかという問題意識は、地方財政運営を考える上でも有意義であった。</p> <p>部活動の地域移行に関しては、国が方向性を示すだけでなく、地域社会との連携体制をどう構築していくかが鍵であることを再認識した。浜松市においても、地域団体・企業・大学などとの協働体制づくりを急ぐ必要がある。</p>	
(備考)	

(様式 11)

30901 . 287

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館
出張の理由	勉強会 (2 班) ① 12:20~13:00 農業「我が国が描く農業の将来像」について … 農水省 ② 13:00~13:40 大学の地方分散、政府機関の地域移転について … 内閣府
出張者 氏名印	・ 太田 康隆 [印] ・ 梶 美 誠 [印] ・ 花井 和夫 [印] ・ 鳥井 徳孝 [印] ・ 須藤 京子 [印] ・ 加茂 俊武 [印] ・ 松本 康夫 [印] ・ 齋藤 和志 [印] ・ 久米 丈二 [印] ・ 露木里江子 [印] ・ 辻村 公子 [印] ・ 鈴木 裕之 [印] <p style="text-align: right;">(計 12 名)</p>
(出張の顛末)	別紙 報告書の通り
(備考)	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (木) 12:20 ~ 13:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第 2 会館 618 号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について ②大学の地方分散、政府機関の地域移転について
出張者 氏名印	2 班 太田 康隆
(出張の顛末)	
①農業の将来像	
<p>農林水産省参事官(政策課・食料安全保障室)の梅下幸弘氏から、令和 6 年 6 月 5 日施行の新たな「食料・農業・農村基本法」に基づく「食料・農業・農村基本計画」について説明を受けた。</p> <p>柱の一つの「食料安全保障の確保」については、食料の安定的な供給に関し、国内の農業生産の増大・自給率確保・輸出の促進。また「国民一人一人が入手可能な安全保障の確保」二つ目は「食料システム全体で環境負荷の低減を図りつつ、多面的機能を発揮」、三つめは地方創生 2.0 に資する「農村の振興」についてであった。</p> <p>質疑応答では、国内の農業生産の増大を実現するためにも、農地の集約化は必須で、農地法や相続法(農地に関しては承継者への一括相続を認める)などの法改正を含めた強制力を行使する必要があるとの私見を伝えた。</p>	
②大学の地方分散、政府機関の地方移転	
<p>題記に関して、内閣府地方創生推進事務局参事官の児玉大輔氏、同参事官の曾宮和夫氏から説明を受けた。</p> <p>大学の地方分散に関しては、地方へのサテライトキャンパス設置促進に向けた支援の取り組みが紹介され、来る 10 月 9 日に誘致を進めるにあたって参考となるよう、地方公共団体向け研修会を開催する旨の話があった。事例は、早稲田大学北九州キャンパス、東京藝大の取手キャンパスの例が示されたが、相当長い準備期間を経て実現しているもので、我々には、レアなケースであることが強調された結果となった。</p> <p>政府関係機関の地方移転に関しては、2016 年度に中央省庁 7 機関、研究・研修期間 23 機関 50 件の地方移転が決定された。令和 5 年度に移転取り組み機関を対象に総括的評価が実施されたとの説明があったが、浜松市にどんな施設をとという次元ではなく、地方創生という切り口であったとしても、難しさを感じた。</p>	

(様式11)

令和 7 年 9 月19日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 12:20 ~ 13:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について ②大学の地方分散、政府機関の地域移転について
出張者 氏名印	2班 渥美 誠

(出張の類末)

① わが国が描く農業の将来像について

国は、改正食料・農業・農村基本法(令和6年6月施行)の基本理念に基づき、食料安全保障の確保に向け、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推進する、新たな取組に着手した。食料安全保障の確保は、1. 国内農業生産の増大(食料自給率 摂取ベース53%等) 2. 食料自給力の確保 3. 輸出の促進 4. 食料システム持続性の確保 5. 食品アクセスの確保 6. 多面的機能の発揮 7. 環境と調和のとれた食料システムの確立が主な柱である。更に、地方創生2. 0の実現に向けた「総合的な農村振興」「きめ細やかな中山間地等の振興」に繋げる。

食料供給をめぐる情勢は、異常気象の頻発化、感染症の蔓延リスク、地政学的リスク(ウクライナ侵攻)等による供給の不安定化や、基幹的農業従事者の高齢化による急速な減少、農業経営体の半減等の課題を抱えるが、新たな食糧・農業・農村基本計画は、農業経営の収益力を高め、農業者の所得向上に向け、農業者・食品事業者・消費者の垂直的な相互連携による食料システムの構築を目指す。

② 大学の地方分散、政府機関の地域移転について

地方への大学サテライトキャンパス誘致は、誘致した大学のおかれている状況を知る、当該地方公共団体の強み、弱み、特性、課題を把握する等の方向性や、当該地方公共団体におけるキーパーソンの把握、地域課題解決に向けた連携など大学との関係性構築等の計画性が重要となる。早稲田大学と北九州市、東京藝術大学と取手市の先行事例は、構想～誘致～開校に向け、方向性や計画性に必要な時間をかけたロードマップとなったが、キャンパス継続性、地域連携等が重要と考える。

国は、2015年度、42道府県から69機関の誘致提案があったが、2016年度、中央省庁7機関等50件の政府関係機関の地方移転を決定し、静岡県に、(国研)水産研究・教育機構を移転した。2923年度実施した、政府関係機関の地方移転に関する総括的評価は、機能確保、費用抑制・体制整備、地方創生の3つの観点から、14の評価項目、59の評価指標について行われた。評価項目・指標が多い地方創生の観点については、地方創生上の効果が現れてきている、移転先における理解醸成が進んでいる、移転先の地域産業や企業・団体等関係者にポジティブな影響を与えている等との評価結果となったが、具体的な地域医療の高度化、地域特産のブランド化等の成果は、今後、地域移転取組の推進・改善・理解深化に繋がる。

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について ②大学の地方分散、政府機関の地方移転について
出張者 氏名印	花井和夫
(出張の顛末)	
① わが国が描く農業の将来像について 農林水産省 梅下幸弘参事官より 新たな食料・農業・農村基本計画について、今後20年を見据え食料・農業・農村基本法を改正(令和6年6月5日施行)、最初の5年間で農業の構造転換を集中的に推進していく。農業の持続的な発展を目指し、食料安全保障の確保については食料自給率を摂取ベースで45%から53%へ、国際基準で38%から45%へ引き上げ、安定的な輸入と備蓄の確保をしていく。また、食料自給率確保のためには、農地の確保、担い手確保、生産性の向上を図っていく。また、輸出拡大など海外からの稼ぐ力を強化していく。その先に、農業による収益力を高め、農業従事者の所得向上がある。	
② 大学の地方分散、政府機関の地方移転について 内閣府地方創生推進事務局の児玉参事官、曾宮参事官より 東京圏にある大学の地方サテライトキャンパス設置の促進に向けた取り組みについて支援の取り組みの紹介があり、自治体と大学のマッチング支援や事例、支援制度等のポータルサイトの運用、自治体向け研修会を行っている。誘致計画の策定には、方向性や計画性などエビデンスに基づく政策立案が重要となる。北九州市の早稲田大学北九州キャンパスと取手市の東京藝術大学取手キャンパス誘致の事例を紹介があった。いずれも開設まで15年ほどの計画期間があり地域との連携や支援のあり方などハードも高い。 政府機関の地方移転は、2014年に地方創生で位置づけられ、道府県からの提案募集では42道府県から69機関の提案があり、2016年に中央省庁7機関、研究・研修期間23機関50件の地方移転が決定され、有識者の懇談会、評価方針検討会の開催等を実施し、2024年に地方移転取り組みの総括的評価が公表された。地方創生のもと掛け声は高いが、国会や他省庁との調整、先進事例の文化庁の京都へ移転では全職員の3割は東京に残る2拠点体制となるなど業務への支障が生じているという。官僚組織の強い抵抗もあり、まだまだ難しいと感じる。	



農業「わが国が描く農業の将来像」について

我が国の農業の将来像は、自然にやさしく、生産性を高め、地域の暮らしを支える持続可能な産業として描かれています。つまり、環境と調和しながら、次の世代にも安心して食を届けられる農業を目指しています。その実現には、いくつかの柱があります。ひとつは技術の進歩です。ドローンやロボット、データの活用により、効率的で安定した農業が可能になります。もうひとつは人材の確保です。若者や女性、多様な人が農業に関わりやすい環境を整え、未来の担い手を育てることが欠かせません。そして地域の連携も重要です。農産物のブランド化や観光との組み合わせなど、地域全体で農業を支えることで、地域の元気にもつながります。このように、農業の未来をつくるには、政策の後押しだけでなく、現場の努力と、消費者である私たちの理解と応援が必要です。食卓に並ぶ一皿の奥に、環境や地域の力があることを意識し、みんなで農業を育てていきましょう。

「大学の地方分散、政府機関の地方移転」について

大学の地方分散や政府関係機関の地方移転は、我が国が直面する「地方創生」「人口減少」「地域格差の是正」という大きな課題に対応するうえで、極めて重要な政策の柱として位置づけられています。若者が学び、働く場が東京圏に過度に集中する現状では、地方の人口流出が止まらず、地域経済や暮らしの基盤が弱体化してしまいます。そのため、教育や研究の拠点を地方に広げ、あわせて行政機能の一部を移すことで、人の流れや新しい産業の芽を地方に生み出すことが期待されます。しかし現状では、制度設計や実施体制、さらには地域が受け入れるための住環境や雇用環境の整備が十分とは言えず、成果は限定的にとどまっています。こうした状況を打開するには、国と地方が一体となった抜本的な政策強化が必要であり、将来を見据えた具体的なロードマップの策定と着実な実行が不可欠です。

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松	
代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	東京都 衆議院第2会館 612号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について ②大学の地方分散、政府機関の地域移転
出張者氏名	須藤 京子
(出張の顛末)	
・わが国が描く農業の将来像について 「新たな食料・農業・農村基本計画」では、初動5年間で農業の構造転換を集中的に 押し進める方針を示している。今後、様々な課題の解決のためには担い手の確保や収益 力の強化、農地の集約やスマート農業技術の導入などの推進が図られなければならない。 課題は山積ではあるが、農業者が利用しやすい補助金制度の検討など、日本の農業 発展のための施策の展開を期待したい。	
・大学の地方分散、政府関係機関の地方移転について 大学のサテライトキャンパスの誘致に関しては、地方自治体はその地域性を活かした 魅力の創出ができるかどうかを鍵であると感じた。大学の誘致は具体的に地域の優位性 をアピールできなければ魅力につながらない。自らの魅力の掘り起こしにも注力すべき と考える。また、政府機関の地方移転やサテライトオフィスについても、地域ブランド の創出や技術開発、研究成果につながる取り組みなど魅力の創出に向けた地方自治体の 努力が求められる。本市においては、東京と大阪の中間点であるという地理的な条件だ けが魅力には成り得ないということもしっかりと認識して取り組むべきである。	
(備考)	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先)	会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 12:20~13:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について。 ②大学の地方分散、政府機関の地域移転について。
出張者 氏名印	2班 加茂俊武
(出張の顛末)	<p>「農林水産省」改正基本法に基づく初の食料、農業、農村基本計画について</p> <p>・水田政策を令和9年度から根本的に見直すとしているが、水田活用の直接支払い交付金を生産性向上等への支援へと転換するということである。しかし、その他の対策としては、スマート農業、農地の集積・集約化、生産性向上、輸出拡大など、新たな政策は、乏しい感触であった。一番の注目点は、農林業関係予算がどの程度、増額されるかにより、国の本気度が図られると思う。本市農業は、本市ならではの特徴がある。栽培品目が多岐に渡る。また、小規模農家が多いことではないだろうか。現在の農産品価格の上昇が続けば、農業の将来は、魅力があると思うが、基盤が確保されていなければ、意味がない。一番の課題は農地を守ることである。</p> <p>「内閣府」大学の地方移転について</p> <p>・地方へのサテライトキャンパス設置促進については、2000万円の予算がつけられており、誘致を希望する地方公共団体のプランを磨き上げ、マッチングにつなげるためのコンサルティング等の支援を積極的に実施しているということであった</p> <p>会派として、若者流出抑制の為に、大学誘致を要望している。国の地方創生2.0は地方都市にとってチャンスである。まずは、都内大学の情報を集めることから始め、可能性を調査することを促していく。</p>
(備考)	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館
出張の理由	研修会への出席
出張者氏名印	松本 康夫
(出張の顛末)	
9月17日(水)午後12時20分から13時40分まで農水省及び内閣官房から「大学の地方分散化、政府機関の地域移転」について研修会を開催いただいた。	
◆農水省 テーマ：「我が国の農業の将来像」 大臣官房参事官(政策課・食料安全保障室) 梅下幸弘 氏 農産局総務課 課長補佐 伊藤直樹 氏 ・新たな食料・農業・農村基本計画に基づく今後の進め方についてご説明頂いた。	
◆内閣官房 テーマ：「大学の地方分散化、政府機関の地域移転」 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局/内閣府 地方創生推進事務局 参事官 曾宮和夫 氏 同 参事官 児玉大輔 氏 同 参事官補佐 鶴飼匠太 氏 同 主査 太田毅 氏 ・地方へのサテライトキャンパス設置促進に向けた支援の取組や政府関係機関の地方移転の実施状況についてご説明頂いた。	

(様式 11)

(所感)

農林水産省から、平時からの食糧安全保障を実現するには、新たな食料・農業・農村基本計画に基づく初動5年間の取組みが極めて重要であり、この期間に農業の構造を大きく転換する必要がある等、課題解決のための具体的施策を整理してご説明いただいた。内閣官房からは、大学のサテライト誘致においては、エビデンスに基づく政策立案が重要であることや、政府機関の地方移転においては、現地雇用の創出や地域関係者との連携による技術開発、研究成果等の社会実装、地域ブランドの創出など、取組を契機とした地方創生上の効果が現れてきている点についてご説明いただいた。

各省庁の取組みや、どのような背景や狙いをもって政策を履行しているかが理解できた。こういった研修会は非常に有意義であり、こういった省庁職員と関係性が持てる場は来年以降も継続していくことが重要であると考えます。農業の将来像などは、学んだ内容を地域に活かしていきたい。

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 12:20~13:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618 号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について。 ②大学の地方分散、政府機関の地域移転について。
出張者 氏名印	2班 齋藤和志
(出張の顛末)	
① <u>農業「わが国が描く農業の将来像」について…梅下大臣官房参事官</u> 研修会では、講師から令和 7 年度から始まる農業農村基本計画について説明があり、改正基本法に基づく初の計画であり、食料安全保障の強化と持続可能な農業・農村づくりが柱とされている。特に、担い手の育成や農地の集約が重要施策として位置づけられており、地域主導による農業の再構築が求められている、との内容であった。	
② <u>大学の地方分散、政府機関の地域移転について。……児玉地方創生参事官等</u> 研修会では、地方においては、学部教育よりも大学院や研究機能の誘致が適しているとの指摘があった。地域資源としては、農林水産業、地場産業、自然環境、再生可能エネルギー、災害対応技術などが挙げられ、これらを活かした課題解決型の研究拠点形成が期待されている。大学院機能の誘致は、地域の知的基盤の強化と若者の定着に資するものである、との内容であった。	
(備考)	
① 本市として、令和 7 年度からの農業農村基本計画に示された担い手育成と農地集約を、地域農業の持続性確保に向けた重要課題と捉え、高齢化が進む中、若手や多様な人材の参画促進、法人支援、団地化の推進などを通じて、地域主導の農業再構築に取り組まなければならない。	
② 本市は林業をはじめとする豊かな地域資源を活かし、森林環境、再生可能エネルギー、災害対応などの分野において課題解決型の研究拠点形成に適している。学部教育よりも大学院のサテライトや研究機能の誘致が地域振興や若者の定着に資する有効な施策であると認識し、今後その可能性を積極的に検討し、地域資源や産業特性を踏まえた提案することに取り組むべき課題と改めて認識。	

(様式11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 12:20~13:40
出張先	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について。 ②大学の地方分散、政府機関の地方移転について。
出張者氏名	2班 久米丈二
(出張の顛末)	
① 改正基本法に基づく初の食料・農業・農村基本計画に基づき、農水省梅下大臣官房参事官より、新たな食料・農業・農村基本計画のポイントとして、農地総量の確保、サステナブルな農業構造の構築、生産性の抜本的向上による「食料持久力」の確保、輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化や、総合的な農村振興やきめ細やかな中山間地等の振興等を学ぶ。	
② 地方へのサテライトキャンパス設置促進に向けた支援の取り組みやサテライト誘致に際して重要な視点や考え方その実例等をまなぶ。	
(所感)	
① わが国における将来の農業の姿、また、目指すべき姿、政策等を学び、本市における農政・農業普及の施策にいかしていく。	
② 大学・政府機関の地方分散について実例等を含めまなび、本市における大学誘致、再編にいかしていく。	

(様式 11)

令和 7 年 9 月 19 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 9 月 17 日 (水)
出張先	衆議院第 2 会館 618 号室
出張の理由	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について ②大学の地方分散、政府機関の地方移転について
出張者氏名	露木 里江子

【農林水産省視察報告書】

1. 視察の目的

本視察は、改正食料・農業・農村基本法（令和 6 年 6 月施行）に基づく国の新たな農政の方向性を理解し、我が国農業の将来像と地方創生の関わりを把握することを目的として実施した。近年、食料安全保障を取り巻く環境が大きく変化しており、国が進める構造転換の考え方を現場の視点から確認することを主眼とした。

2. 農林水産省での説明概要

改正基本法では、初動 5 年間を「集中的構造転換期間」と位置付け、食料安全保障の確保を中心に据えた施策が展開されている。主な柱は、①国内農業生産の増大と食料自給率（摂取カロリーベース 53%）の向上、②食料自給力の確保、③輸出促進、④食料システムの持続性確保、⑤食品アクセスの確保、⑥多面的機能の発揮、⑦環境と調和したシステムの構築、の七点である。これらは生産から消費までを一体的にとらえる「食料システムの再構築」を目指している。また、地方創生 2.0 の実現に向け、「総合的な農村振興」や「中山間地域のきめ細かな支援」に重点が置かれており、地域資源を活かした新たな産業づくりや担い手の確保が重要とされた。

3. 現状と課題

説明によると、世界的には異常気象や感染症の拡大、ウクライナ侵攻などにより、食料供給が不安定化している。国内では農業従事者の高齢化と担い手不足が深刻で、経営体数も減少しており、構造転換の加速が急務である。収益性の

(様式11)

向上と所得確保のためには、農業者・食品事業者・消費者の連携を強化し、付加価値を共有する新しい食料システムを構築する必要があるとの説明であった。

4. 所感

今回の視察を通じ、国の農政が従来の「生産振興型」から「食料安全保障と地域創生を両輪とする総合政策」へと転換していることを強く感じた。特に、環境と調和した持続可能な食料システムの確立は、地域農業政策にも直結する重要な視点である。また、政策の実現には、国と地方、そして現場の担い手が連携し、地域特性に応じた具体的モデルを構築していくことが不可欠である。中山間地域では、農業だけでなく観光・福祉・教育などとの複合的連携を進め、地域全体の活性化を図ることが求められる。

5. 今後の取組

今後は、視察で得た知見を踏まえ、地域の農業経営体や関係機関との連携を深めつつ、国の施策との整合性を図った地域農業振興策を検討する。担い手育成やスマート農業の導入支援を通じて、生産性と持続性の両立を目指す必要がある。改正基本法の理念である「自立・連携・持続可能な農業」を実現するため、行政と現場が一体となった取組を推進していくことが重要である。

【総務省視察報告書】

1. 勉強会の目的

本勉強会は、大学の地方分散および政府関係機関の地域移転に関する国の方針と現状を理解し、地域創生の観点から今後の地方自治体の取組に資する知見を得ることを目的として実施した。人口減少・東京一極集中が進む中、地方における人材育成と産業振興の核となる大学・行政機能の分散は、持続可能な地域社会を形成するうえで極めて重要なテーマである。

2. 総務省における説明概要

まず、大学の地方展開について、地方公共団体が大学サテライトキャンパスの誘致を進める際には、誘致した大学の教育・研究体制の現状を把握し、当該地域の強みや課題、特性を十分に分析した上で方向性を定めることが必要であるとの説明があった。加えて、地域課題の解決に向けた大学との連携体制や、地域のキーパーソンを含む協働ネットワークの形成など、計画的な関係構築の重要性が指摘された。

成功事例として、早稲田大学と北九州市、東京藝術大学と取手市の取組が紹介された。これらは構想段階から誘致、開校に至るまで長期的なロードマップを策定し、行政と大学が方向性を共有しながら進めた点が評価されている。特に、キャンパスの継続性確保や地域連携の深化が成果を生む鍵であり、単発的な誘致ではなく、地域と大学が共に発展する仕組みづくりが求められるとのことであった。

3. 政府関係機関の地方移転について

総務省からは、政府機関の地方移転の取組状況についても報告があった。2015年度には42道府県から69機関の誘致提案があり、翌2016年度には中央省庁の7機関を含む50件の移転が決定した。たとえば、静岡県には国立研究開発法人水産研究・教育機構が移転している。

また、2023年度に実施された「政府関係機関の地方移転に関する総括的評価」では、①機能確保、②費用抑制・体制整備、③地方創生の三つの観点から14の評価項目・59の指標に基づき分析が行われた。その結果、地方創生の観点では、「移転により地域創生効果が現れつつある」「移転先地域での理解が進み、産業・企業等に好影響を与えている」といった評価が示された。

一方で、地域医療の高度化や地域特産品のブランド化など、より具体的な地域振興の成果は道半ばであり、今後は移転効果の定着や取組改善、地域理解の深化が課題とされた。

4. 所感

今回の勉強会を通じ、大学や政府機関の地方分散は単なる機能移転ではなく、「地域に新たな知と人の流れを生み出す構造改革」であることを改めて認識した。誘致を成功させるには、地域側が受け皿となる体制整備を行い、大学・行政・産業界が連携して地域課題に向き合うことが不可欠である。また、移転後の継続的支援や地域内連携の強化がなければ、効果が一過性にとどまる懸念もある。

今後、各自治体は地域の特性を生かした戦略的な誘致計画を立案し、国の施策と歩調を合わせながら地方創生の推進力を高めていくことが求められる。大学や研究機関を核とした人材育成とイノベーションの地域展開は、持続可能な地方社会の実現に向けた重要な一歩となる。

(様式11)

令和 7 年 9 月 18 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張 日時	令和 7 年 9 月 17 日 (水) 12:20 ~ 13:40
出張 場所	東京都 研修会 衆議院第2会館 618号室
出張 の理	研修会 ①農業「わが国が描く農業の将来像」について。 ②大学の地方分散、政府機関の地域移転
出張	2班 辻村 公子
(出張の顛末)	
① 農業「わが国の描く農業の将来像」について 令和6年6月5日施行した改正基本法、新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進める方針を示した。今後の進め方として様々な課題があるが、食料自給率を上げる、また農業の持続的な発展のためには、農業経営の「収益力」を高め、農業者の「所得を向上する」ことが最も重要である。現役の高齢の農業者がリタイヤした後の担い手の確保、担い手への農地の集積、集約化、スマート農業技術の導入・DXのなども推進していかなければならない。今後の日本の人口減少、担い手不足の問題等、農業者の減少を考えると、今以上に食料自給力をあげるのは難しいが、農業の規模の大きさにかかわらず農業者が活用しやすい補助金などの制度ができることで、日本全体の農業の発展につなげたい。	
② 大学の地方分散、政府関係機関の地方移転について 地方へのサテライトキャンパス設置促進に向けた支援への取組の事例を伺った。まず誘致を希望する地方公共団体が、地域の強みや弱み特性や課題をしっかりと把握しプランを磨き上げることが最も重要であるが、若者が地方より大都市へという流れは変えられない。地方の魅力、地域とどのような連携ができるかなど、地方へのメリットを大学側に示さなければならない。本市においては音楽系の大学などのサテライトキャンパスができると、さらに音楽の街に活気が出て街の賑わいにもつながるだろう。また政府関係機関の地方移転やサテライトオフィスについては、東京と大阪の中間点でもある本市の利便性を活かし、今後さらなる企業誘致により、地方創生につなげたい。	

令和7年9月19日提出


(あて先) 会派名 自由民主党浜松
代表者 平野 岳子 様

報告書

出張年月日 令和7年9月17日

出張先 東京都 衆議院第2会館

出張の理由 研修会へ出席するため。

出張者氏名印 鈴木 裕之 

(出張の顛末)

9月17日(水)午後12時20分から13時40分まで農水省及び内閣官房から「大学の地方分散化、政府機関の地域移転」について研修会を開催いただいた。

◆農水省 テーマ：「我が国の農業の将来像」

大臣官房参事官(政策課・食料安全保障室) 梅下幸弘 氏

農産局総務課 課長補佐 伊藤直樹 氏

・新たな食料・農業・農村基本計画に基づく今後の進め方についてご説明頂いた。

◆内閣官房 テーマ：「大学の地方分散化、政府機関の地域移転」

内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局/内閣府 地方創生推進事務局

参事官 菅宮和夫 氏 同 参事官 児玉大輔 氏 同 参事官補佐 鷗飼匠太 氏、
同 主査 太田勲 氏

・地方へのサテライトキャンパス設置促進に向けた支援の取組や政府関係機関の地方移転の実施状況についてご説明頂いた。

【所感】農林水産省から、平時からの食糧安全保障を実現するには、新たな食料・農業・農村基本計画に基づく初動5年間の取組みが極めて重要であり、この期間に農業の構造を大きく転換する必要がある等、課題解決のための具体的施策を整理してご説明いただいた。内閣官房からは、大学のサテライト誘致においては、エビデンスに基づく政策立案が重要であることや、政府機関の地方移転においては、現地雇用の創出や地域関係者との連携による技術開発、研究成果等の社会実装、地域ブランドの創出など、取組を契機とした地方創生上の効果が現れてきている点についてご説明いただいた。

各省庁の取組みや、どのような背景や狙いをもって政策を履行しているかが理解できた。こういった研修会は非常に有意義であり、こういった省庁職員と関係性が持てる場は来年以降も継続していくことが重要であると考えている。農業の将来像などは、学んだ内容を地域に活かしていきたい。

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和7年10月21日(火) 1日間		
出張先(目的)	東京都練馬区桜台1丁目1-6 桜台ビル 10:00~12:30 防災減災特別講座1 講座受講		
出張者氏名	太田 康隆		

旅 費 額 内 訳

項 目	金 額	備 考
研修費	5,550 円	10/9 振込 受講料 5,000 円 + 振込手数料 550 円
交通費	16,880 円	① JR新幹線 切符代【浜松-東京 往復】(裏面領収書添付)
〃	794 円	② 東京駅 ~ 池袋 ~ 桜台駅【会場】 ~ 池袋 ~ 東京駅 電車代 IC (@209 円 + @188 円) × 2 = 794 円
日 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1日 × 1名分
合 計	24,724 円	

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		2	4	7	2	4	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和7年10月22日

代 表 者 会 長 平 野 岳 子



<詳細>

行程

新幹線 地下鉄 西武池袋線 徒歩 徒歩 西武池袋線 地下鉄 新幹線
浜松駅 == 東京駅 — 池袋 — 桜台駅 … 会場 … 桜台 — 池袋 — 東京駅 == 浜松駅

領収証

2025 年 10 月 21 日

浜松市議会自由民主党浜松 様

★ ￥5,000

但 2025年10月21日(火)10時～11時【JCOM東京】防災減災特別講座1
研修会要請代として

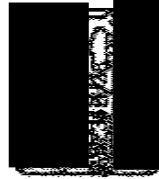
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区浦

TEL 050-1089-8835



(様式8)

令和 7 年 10 月 9 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 太田 康隆 様

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

太田 康隆

2 期間及び出張先

令和 7 年 10 月 21 日 (火) 10:00～

東京都練馬区桜台 1 丁目 1-6 桜台ビル

3 目的

『防災・減災特別講座1』受講

- ・自治体の防災に対する役割
- ・過去の災害から学ぶ
- ・法律や計画から学ぶ
- ・災害時に政治家がなすべきこと

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 高林 修 様

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名 会長 平野 岳子 様

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

防災減災特別講座

防災減災特別講座1

10月10日(火) 10:00～12:30



— 10:00～12:30 —

防災減災特別講座1

- 自治体の防災に対する役割
- 過去の災害から学ぶ
- 法律や計画から学ぶ
- 災害時に政治家かなすべきこと

— 13:30～16:00 —

防災減災特別講座2

- 土砂災害に備えるために必要なこと
- 大雨、地震、津波それぞれの防災減災の施策
- 国からの財政措置についておさらいする
- 防災、減災の質問のポイント
- 効果的な質問質疑のために必要なこと



かわもと たつし

講師：川本 達志 元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法学部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017年7月発行)

受信 2025年10月21日…

※J：COM東京会場につきましては、J：COM東京 東エリア までおこしてください。

※〒176-0002 東京都練馬区桜台1丁目1-6 桜台ビル

その他、ご要望等ございましたらお気軽にお申し付けください。

よろしくお願いいたします。

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 106

普通 2753145

名義 株式会社H30(カ)エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。

※会派名でお振込をいただくことがありますが、全国的に同じ会派名が多数存在し、※どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。



受信 2025年10月21日…

※2025年7月5日より電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法
人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神
奈川区浦島町362-28

令和7年10月9日(木)

静岡県浜松市議会 自由民主党
太田廣隆 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6875-7448

受講確認書


このたびは、地方議員研究会主催「研修会」にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証はセミナー終了後、メールにて送付いたします。
ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年10月23日(水)10時～11時 講演【JCOM地区】防災減災特別講座1 ※1講座5000円	¥5,000	
振込先名義:	浜松市議会自由民主党浜松市議団 様	訂正後振込 10/21
振込金額:	¥5,000	
ご請求額:	¥5,000	
<p>【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。 住信SBIネット銀行 法人第一支店 106 普通 2753145 名義 株式会社H30(カ) エイチスリーオー</p> <p>※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。 ※会派名でお振込をいただくことがありますが、全国的に同じ会派名が多数存在し、 ※どなたからのお振込かわかりかねる例が多くなります。ご協力よろしくお願ひ致します。 ※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。 ※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法人名が変更になりました。 ※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28</p>		



(様式11)

令和 7 年 10 月 22 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 10 月 21 日 (火)
出張先	東京都練馬区桜台1丁目1-6 桜台ビル
出張の理由	J:COM×地方議員研修会 防災対策共催セミナー「防災減殺特別講座1」受講
出張者 氏名印	太田 康隆 
(出張の顛末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	

研修会参加報告書

- ・日時 令和7年10月21日
- ・場所 j.comビル(東京都練馬区接台)
- ・講師 地方議員研究会 川本達志氏
- ・テーマ 「防災・減災特別講座1」

(内容)

1. 防災に関する基本法について

・法律の構成は、地震・津波、風水害、地滑り、豪雪などの災害の類型ごとに予防・応急・復旧復興の3段階に分類されていて、基本法の下に特別法(大規模地震対策特別措置法など)がぶら下がっている。体系化された法律は、1961年に災害対策基本法として制定された。

自治体の役割は、予防対策(防災計画、施設の強度化、教育・訓練、避難計画)、応急対策(対策本部設置、避難指示、避難施設)、復旧対策(復興本部、生活援護、救援物資)の3段階。

・災害対策基本法における市町村の役割は「地域に係る防災に関する計画を策定し、これを実施する」責務を負い、「災害応急対策を実施する」義務を負う。市町村長は、「災害応急対策を実施しなければならない。権限の例として、避難指示、警戒区域の設定、物的・人的応急公用負担などがある。

・応急対策の個別法には、災害救助法・消防法・警察法・自衛隊法などがあるが、自衛隊の災害派遣(第83条第1項)の根拠として、1. 都道府県知事その他政令で定めるものは、災害に際して、人命又は財産の保護のため必要があると認める場合には、部隊等の派遣を防衛大臣またはその指定する者に要請することができる。2. 防衛大臣またはその指定する者は、前項の要請があり、事態やむを得ないと認める場合には、部隊等を救援のため派遣することができる。とされていて、大臣に要請するのは都道府県知事だとしても、市町村長は正確に事態を把握して、都道府県知事に災害派遣要請の要求をする必要がある。

・防災基本計画は、災害対策基本法に基づき、中央防災会議が作成する計画で、防災業務計画や地域防災計画の基本となる。都道府県知事あるいは市町村長を会長とする地方防災会議で決定する。計画に定める事項としては ①施設の管理者の処理すべき事務または業務の大綱。 ②施設の新設など災害予防や災害応急対策並びに災害復旧に関する事項別

・国レベルでは、総合的で、長期的な防災基本計画。地方レベルでは地域防災計画を定め対応してきたが、東日本大震災等では地区内の事業者や居住者が「自助」「共助」の精神に基づき自治会等と連携し、自発的に防災活動を担う例が見られた。このため、平成25年の法改正において、地域の特性を踏まえ、コミュニティーレベルの防災活動を内容とする「地区防災計画」を市町村の地域防災計画に定めることができる制度が創設された。

・平成25年基本法改正で「緊急避難場所」、「避難所」の位置づけが明確化され、指定することが市町村長の義務となった。現在、全国で指定緊急避難場所については83,000箇所超が、また指定避難所については108,000箇所超(うち福祉避難所10,105)が、指定されてい

る(国土地理院 H.P)。指定緊難場所では、対象とする災害に対し、安全な構造である堅牢な建築物や学校のグラウンドなどが、また指定避難所には、学校・体育館・公民館などが指定されている。

・罹災証明書の交付については、市町村長は遅滞なく交付しなければならないとされている。また、罹災証明書の様式と申請書の様式については、令和6年11月までに統一された。

・災害時の救援物資の調達・輸送については、基本的に地方公共団体が対応することになり都道府県知事が行政機関の長に対して、物資等の供給について要請することができるほか、都道府県知事や行政機関の長は、要請を待たずに自らの判断で必要な措置を講ずることができるようになった。この結果、熊本地震では熊本県の要請を待たずにプッシュ型の支援が実施されたが、同時に現地においては避難所への配分が新たな課題となった。

・「災害対策本部」(第23条の2)について

市町村長は、地域防災計画の定めるところにより、市町村災害対策本部を設置することができる。災害の発生する恐れがあるときは、その状況に応じた防災体制をとることになるが、準備班体制、警戒本部体制、対策本部体制のそれぞれの段階に応じた体制をとる際の判断基準が抽象的でわかりにくいケースが見られる(～が予想され、市長が必要と認めるとき等)。→計画の下のマニュアルに客観的基準を書き込むなどの工夫が必要。

2. 消防団について

・災害対策基本法の下に予防・応急・復旧復興の各段階に応じて個別法や特別法がぶらさがっているが、応急の段階には「消防法」がある。この内、消防組織法では、市町村に消防を担う組織として、消防本部、消防署、消防団を置くことが義務付けられている。消防団の設置・組織・運営方法は各市町村の消防団条例で定めることとされており、団員は「非常勤の特別職地方公務員」で、その報酬は年額36,500円、出勤は一日あたり8,000円を標準とし

・地域の消防力を担う消防団の役割は大きい。昭和30年に200万人いた消防団員は、平成2年には100万人を割り込み、令和4年には78万人と減少を続けている。こうした状況を受け、平成25年には「消防団を中核とした地域防災力の強化に関する法律」が議員立法で制定され、加入の促進・処遇や装備の改善について後押しをしている。機能別消防団員や女性消防団員などを含め、消防団の強化と装備品の充実は防災力の維持には欠かせない。

3. 自主防災組織について

・災害対策基本法第5条第2項では、「市町村長は、前項の責務を遂行するため、消防機関、水防団その他の組織の整備並びに当該市町村の区域内の公共的団体その他の防災に関する組織及び自主防災組織の充実を図るほか、住民の自発的な防災活動の促進を図り、市町村の有するすべての機能を発揮するよう努めなければならない。」とされている。

・例えば阪神淡路大震災の調査報告書(日本火災学会)によれば、「生き埋めや閉じ込められた際の救助」に関し「自力で」が34.9%、「家族に」が31.9%、「友人・隣人に」が28.1%、

と地域社会のつながりの必要性が指摘されている。また、別の資料でも、「消防・警察・自衛隊によって救助」された人＝約 8,000 人に対し、「近所の住民らによって救助」された人＝約 27,000 人のデータもある。発災時に家族や地域住民、あるいは自主防災組織が重要であることの客観的な理由になる。

・消防団員の減少とは逆に、自主防災組織は、防災意識の高まりとともに増加し、平成 23 年 146,000 に対し、令和 3 年では 169,000 組織、活動カバー率も 84.4%と上昇している。

・しかし、一方で、いつも同じメンバーで活動が活性化しない・イベントへの参加者が増えないなどの声があり、活動拠点の不足・役員の高齢化・住民の意識不足・活動のマンネリ化などの問題があり、活動をどう活性化していくかが課題として指摘されている。

4. ボランティアの受け入れにおける行政の役割

災害からの復旧段階ではボランティアの支援は欠かせない。また活動を効果的に機能させるための行政の役割も大きい。

(1) 受入れ体制の構築として

・ボランティアセンターの設置準備

災害時には社会福祉協議会と連携し「災害ボランティアセンター」を設置するが、行政は会場確保(体育館など)、物資供給、通信環境整備などで支援する。注意点はニーズの把握と人の配分。

・平時から、社協、NPO、企業などとの協定の締結。災害時の役割分担を明確化する。

・人材・資材の蓄え

受付・調整スタッフ、ボランティアコーディネーターの養成。受付キット(名札、記録用紙)、資機材(パソコン、無線機、作業用品)の事前備蓄など。

(2) 運営の基本機能

・情報収集・マッチング

被災者のニーズとボランティアの活動内容の調整。重複や不足を防ぐ。

・安全管理

保険加入の徹底、活動中の安全指導。危険区域や専門性を要する作業は行政が規制・調整。

・交通・宿泊調整

交通規制下での移動ルート、宿泊場所の確保はボランティア受け入れ能力に直接影響。

・物資・資金管理

活動に必要な資材(軍手、長靴、消耗品等)を行政と社協が協力して確保。

5. 過去の災害から学ぶ

〈釜石の奇跡＝津波でんでんこ〉…成功例

・釜石小学校では、2008 年から下校時の避難訓練に取り組んできた。具体的には、帰宅途中の発災を想定して、あらかじめ避難場所を決め、防災無線で公報し、誘導する訓練を行っ

てきた。また、避難対策を専門とする群馬大学の片田敏孝教授が生徒たちに防災の授業を行い、津波避難の3原則を徹底させた。

津波避難の3原則＝①想定にとらわれるな

②最善を尽くせ

③率先、避難者たれ

〈釜石の悲劇〉…反省例

・「石巻の悲劇」と呼ばれる宮城県石巻市立大川小学校の被災事例がある。

大川小学校においても、毎年最低2回の避難訓練が行なわれていたが、津波を想定した避難訓練や児童引き渡し訓練が行われたことはなかった。そのため多くの児童・教職員が被災した。二つの例から防災教育の重要性を学ぶことができる。

以上、災害対策基本法を含めた法体系と、防災対策の注意点の講義を受けた。

旅 費 支 払 証 明 書																					
出張年月日	令和 7 年 11 月 10 日 (月)																				
出張先 (目的)	大阪府大東市 大東市役所 講演会 出席																				
出張者氏名	鈴木 裕之																				
			(1名)																		
旅 費 額 内 訳																					
項 目	金 額	備 考																			
交通費	18,270 円	往路 浜松駅→新大阪駅 新幹線 (8,570 円) →住道駅 (+200 円) 住道駅→大東市役所 タクシー代 (+600 円) ※時間的要因 復路 住道駅→新大阪駅→浜松駅 (+8,900 円)																			
日 当	1,500 円	@1,500円 × 1日 × 1名分																			
合 計	19,770 円																				
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">金 額</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 5%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">拾</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">万</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">千</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">拾</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">¥</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>				金 額		百	拾	万	千	百	拾	円	¥	1	9	7	7	0			
金 額		百	拾	万	千	百	拾	円													
¥	1	9	7	7	0																
<p>上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。</p> <p>令和 7 年 11 月 11 日</p> <p>代 表 者 会 長 平 野 岳 子 XXXXXXXXXX</p>																					
<p><詳細> JR 切符・タクシー代領収書 (3 件) 裏面添付</p> <p>行程 新幹線 在来線 タクシー 徒歩(15分) 在来線 新幹線 浜松駅 — 大阪駅 = 住道駅 …… 大東市役所 …… 住道駅 = 大阪駅 — 浜松駅</p>																					

収№ 52101270 領収書№ 19
店口№ 761

領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松

金額 ￥8,570円
〔消費税等込み・10%〕

但し、乗車券類として

上記金額に領収致しました

2025年11月10日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号：T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納

付につき名古屋中村

税務署承認済

浜松駅

現金出納社員



領 収 書

No.5482

日付 '25年11月10日

車番 001140 000

基本運賃 ￥600円

合計 ￥600円

上記の通り領収致しました

消費税率： 10%

毎度ご乗車ありがとうございます。

ダイトタクシー

大裾自動車有限公司

登録番号：

T4-1220-0201-2354

大東市野崎4丁目5-32

TEL 072-862-0002

領 収 書 **浜松市議会 自由民主党浜松**様
Receipt
領収年月日 2025.11.10 登録番号：T1120001059675
全額 ￥8,900 (消費税等込み) 税10%

上記金額に領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(40116 2枚)

西日本旅客鉄道株式会社

新大阪駅N80発行 50117-02

印紙税申告納
付につき大東市
税務署承認済

往復券 → 新大阪駅 → 海老原

(様式8)

令和 7 年 11 月 7 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 鈴木 裕之 印

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 裕之 議員

2 期間及び出張先

令和 7 年 11 月 10 日 (月)

大阪府大東市 大東市役所

3 目的

講演・研修会 参加

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様


会 派 名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

令和7年11月11日提出

(あて先) 会派名 自由民主党浜松
代表者 平野 岳子 様

報 告 書

出張年月日	令和7年11月10日
出張先	大阪府大東市役所
出張の理由	大東市長と面会し、大東市の施策について学ぶため。
出張者氏名印	鈴木 裕之 

(出張の顛末)

11月10日(月)午後15時00分から17時00分まで大阪府大東市役所にて大東市の逢坂市長から大東市の健康福祉部門の取組みについてご説明いただいた。

◆大東市 テーマ:「地域リハビリテーションのまちづくり」

大阪府大東市長 逢坂 伸子氏

大東市は、人口約115,000人(高齢化率は27.4%)、市域の1/3は山間部となっている。19年ぶりに転入超過となるなど注目されている地域の一つ。とはいえ、社人研推計では、20年後には人口が25%減、特に働き手は36%という推計もでており、減り続けるマンパワーと財源の反面、増え続ける高齢者が大きな課題。そこで、①貴重な医療介護等の専門職は専門性の高いことに集中させ、それ以外の事は専門職以外行う新たな担い手を確保すること、②支えを必要とする高齢者の増加を食い止める介護予防を推進すること、③要支援状態から自立を目指す自立支援を促進すること、の3点に重点をおいて施策を進めている。無資格者による多様なサービスを実施するなど地域資源を活用するとともに、銀行や飲食店など約250事業所と「見守り協定」を締結し、日常の気づきを包括支援センターへつなぐ仕組みを構築。民間企業へ地域課題を共有することで、新たなサービス創出が進み、行政コスト削減にも寄与している。大東市の特徴は、国の制度やモデルに依存せず、住民の実態分析から独自の事業を創り続けてきた点であり、地域課題を民間企業や住民と共有し、行政・住民・企業が三方よしで支え合う仕組みを形成していることである。

【所感】

大東市の取り組みは、制度の枠にとらわれず、行政・住民・企業が一体となって地域課題を解決していく実践が非常に印象的であった。特に、潜在的な地域人材の掘り起こしや、民間企業との強固な連携は、人口減少社会における持続可能な地域づくりのモデルとなり得ると感じた。住民主体の活動への専門職の関わり方など、本市においても参考にできる点が多く、今後の施策に活かしてまいりたい。

2025/12/17

浜松市議会
露木里江子 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
FAX 050-6875-7448

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

・お申込み講座

- ① 2026/1/13(火)13時半～宮本正一【東京】議員活動を武器にする
- ② 2026/2/6(金)10時～黒瀬講師【東京】自治体財政の基礎
- ③ 2026/2/6(金)13時半～黒瀬講師【東京】決算カードの見方
- ④ 2026/2/7(土)10時～木村講師 生成AIを活用した予算審議について～基本編～
- ⑤ 2026/2/7(土)13時半～木村講師 生成AIを活用した予算審議について～実践編～
- ⑥ 2026/2/8(日)10時～柴田講師【京都】役所の中から見た地域福祉のリアル
- ⑦ 2026/2/8(日)13時半～柴田講師【京都】介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

領収証宛名：浜松市議会 自由民主党浜松 様

領収証金額：¥105,000

ご請求額：¥105,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 (支店番号106)

普通口座 2753145

名義 株式会社H30 カ) エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。

※会派名でお振込をいただくことがありますが、全国的に同じ会派名が多数存在し、

どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。

※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

2025/12/17

浜松市議会
神間郁子 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
FAX 050-6875-7448

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

・お申込み講座

- ① 2026/1/30(金)10時～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎
- ② 2026/1/30(金)13時半～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方
- ③ 2026/2/6(金)10時～木村講師 予算議会とは何か? 基礎から学ぶ第一歩
- ④ 2026/2/6(金)13時半～木村講師 効果的な質疑のための準備と視点
- ⑤ 2026/2/8(日)10時～柴田講師【大阪】役所の中から見た地域福祉のリアル
- ⑥ 2026/2/8(日)13時半～柴田講師【大阪】介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

領収証宛名：浜松市議会 自由民主党浜松 様

領収証金額：¥90,000

ご請求額：¥90,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBLネット銀行 法人第一支店 (支店番号106)

普通口座 2753145

名義 株式会社H30 カ) エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。

※会派名でお振込をいただくことがありますが、全国的に同じ会派名が多数存在し、

どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変更になりました。

※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
		¥	1	9	5	5	5	0

但し 研修会講座 受講費 として

- ① 横浜市神奈川区浦島町 362-28
 地方議員研究会 「株式会社 H30」 195,000 円
 受講者① 露木里江子議員
 1/13P・2/6AP・2/7AP・2/8AP
 @15,000 円×7 講座=105,000 円
 ② 神間 郁子 議員
 1/30AP・2/6AP・2/8AP
 @15,000 円×6 講座= 90,000 円
- ② 上記振込手数料 静岡銀行 [REDACTED] 550 円

ご利用明細



静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号	24
07.12.17		
銀行番号	店番号	科目
0149	[REDACTED]	10
お取扱店	お取引内容	お取引金額
0361	お引出し	¥195,000
お取扱店	*****	
	おつり	残高

キャッシング	手数料	時刻
	¥550	15:42:00
スミランエステーアイネット ホウシントアイチ 普通 2753145 カ) イチスリーオー 様 ママツシキカイロモントウマツマツカンマツ 様 TEL053-457-2495		

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 7 年 12 月 17 日

代表者名 平野 岳子 [REDACTED]

2025/12/17

浜松市議会
露木里江子 様

地方議員研究会
セミナー事務局
TEL: 050-1089-9835
MAIL: chihogiken@h3o.works

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記の通り、ご確認いたしました。
領収証はセミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

① お申込み講座		備考
①	2025/1/13(火)13時半～15時正【東京】議員活動を武器にする	¥15,000
②	2025/2/6(金)10時～11時30分【東京】自治体財政の基礎	¥15,000
	2025/2/6(金)13時半～15時30分【東京】決算カードの見方	¥15,000
③	2025/2/7(土)10時～11時30分 本村講師 生成AIを活用した予算審議について～基本編～	¥15,000
	2025/2/7(土)13時半～15時30分 本村講師 生成AIを活用した予算審議について～実践編～	¥15,000
④	2025/2/8(日)10時～11時30分 栗田講師【京都】役所の中から見ると地蔵団体のリアル	¥15,000
	2025/2/8(日)13時半～15時30分 栗田講師【京都】介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み	¥15,000
領収証宛名		浜松市議会 自由民主党浜松 様
お振込金額		¥105,000
お振込日		2025/12/17
お振込名義		ハママツシギカイジミントウハママツ 様

講師料2万円(税別)
返金 0円
1/28 日
講師の研修料に
FAXで
¥30,000

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

2026年1月13日

静岡県浜松市議会
露木里江子 様

地方議員研究会
神奈川県横浜市神奈川区 28
電話 050-1089-9835

受講証明書

1/13の弊社セミナーにて、講師が急遽不在となったため、ご来場いただいたお客様へ、すでにお預かりしていた受講料を返金させていただくこととなりました。

つきましては、領収証の発行を致しかねますので、本書をもって、確かに来場されたことと証明させていただきます。

記

- ・講師 宮本正一 氏
- ・内容 2026/1/13【東京】一日集中「議員・議会の基礎講座」

B1201 -1

①-101

支払証明書

金額		百万 ▲	十万 ¥	万 1	千 5	百 0	十 0	円 0
----	--	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

但し 1/13 開催 講座受講料 戻入金 として

【12/17 付 受講料 15000 円 支払済 (B1201/B0101) 参照】

受講者 : 露木里江子 議員

主催者 : 地方議員研究会

▲15,000 円 【株式会社 H30】

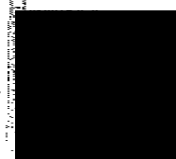
横浜市神奈川区井浦島町 362-28

※講座参加の為東京出張したが、当日、急遽講師不在による、過去の講習録画ビデオでの研修を受けることになった。主催者側より、同日、受講料返金の措置が取られ、1/19 付けで振込入金されたもの。

上記の金額が返金されたことを証明します。

令和 8 年 1 月 19 日

代表者名 平野 岳子



=====

07-01-19	FF	27 14570-8-	15.000	██████████
08-01-20	BA	██████████	██████████	██████████
10-01-20	NA	██████████	██████████	██████████

支払証明書

金額	▲	¥	3	0	0	0	0	円
	百万	十万	万	千	百	十		

但し 2/6 開催 2 講座受講料 戻入金 として

【12/17 付 受講料 30,000 円 支払済 (B1201) 参照】

受講予定者 : 露木里江子 議員

主催者 : 地方議員研究会

【株式会社 H30】横浜市神奈川区井浦島町 362-28

講座料 :

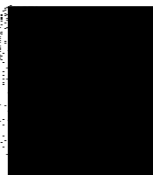
※講座 講師都合により、開催中止。受講料返金。

1/28 付けで振込入金されたもの。

上記の金額が返金されたことを証明します。

令和 8 年 1 月 28 日

代表者名 平野 岳子




≡

07-01-19 11 025770-3- 002 16.000 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
07-01-20 11 025770-3- 002 16.000 [REDACTED] @ 100x2
[REDACTED]
[REDACTED]

和 7 年 12 月 17 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 露木里江子  ㊟

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

露木里江子

2 期間及び出張先

令和 8 年 2 月 6 日 (金) ～ 2 月 7 日 (土) 2日間
東京都新宿区西新宿7丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催

2/6 (金) 議員に必須！ 財政集中講座 受講

① 10:00-12:30 『自治体財政の基礎』

② 13:30-16:00 『決算カードの見方』

*議事録
2/6(金) 議員に必須！
財政集中講座
受講
① 10:00-12:30 『自治体財政の基礎』
② 13:30-16:00 『決算カードの見方』
2/7(土) 予算質疑特別研修 参加
① 10:00-12:30 『生成 AI を活用した予算審議について基本編』
② 13:30-16:00 『生成 AI を活用した予算審議について実践編』*

2/7 (土) 予算質疑特別研修 参加

① 10:00-12:30 『生成 AI を活用した予算審議について基本編』

② 13:30-16:00 『生成 AI を活用した予算審議について実践編』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

元財政課職員が教える

議員に必須！財政集中講座

東京

1/26
(月)

2/6
(金)

10:00~12:30 自治体財政の基礎

- 財政のわかりにくさを解消する為に必要なこと
- 議員が知っておくべきこと。知らなくて良いことの違い
- 用語ではなく仕組みを理解する重要性
- 大半の議員も職員も知らない財政の基礎的課題

13:30~16:00 決算カードの見方

- 議員がおさえるべき箇所はココだ
- あなたの街の数字を抑える
- 決算カードから何がわかるか？
- ぼんやり理解していた数値を実際のデータで確認しよう

1/27
(火)

2/7
(土)

10:00~12:30 財政の比較の手法

- 財政比較資料は質問づくりの宝庫
- 類似団体比較カードから自治体の特徴を探ろう
- 財政比較資料から質問のポイントを学ぼう
- あなたの街の財政はどのような水準で順位を知ろう

13:30~16:00 財政問題の質問のポイント

- 我が街の財政を知り役所に指摘すべきポイント
- 人口減少を見越した自治体財政のポイント
- 基金や借金の指摘のポイント
- 財政危機を事前に察知するポイント



くろせ ゆうだい
黒瀬 雄大 元 交野市会議員

大阪府交野市役所 (税務室 財務課 子ども園課)、交野市議会議員 (1期)、民間企業勤務 (ITコンサルタント・データサイエンティスト)

九州大学経済学部卒 (経済学士)、大阪市立大学大学院創造都市研究科 (都市政策修士)、大阪大学大学院国際公共政策研究科単位取得退学

自治体の効率性について研究
得意領域は自治体財政、データの可視化

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 3,260(税)	東京 2,600(税)
10:00~12:30 自治体財政の基礎	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13:30~16:00 決算カードの見方	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	東京 3,270(税)	東京 2,700(税)
10:00~12:30 財政の比較の手法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 財政問題の質問のポイント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

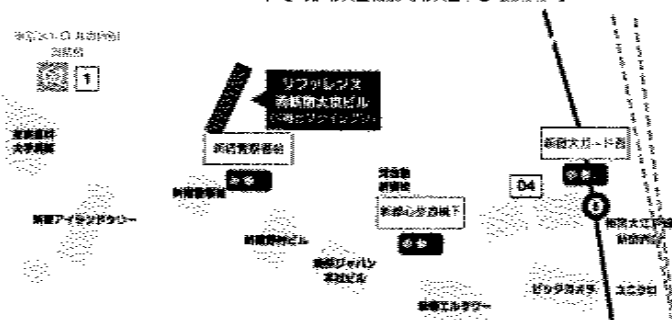
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ツネ キ リ エ コ 露木里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松 (2.期目)
電話番号	(053) 457 - 2495	FAX番号	(053) 457 - 2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加（資料・USB動画データ・領収書郵送希望） 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画質、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 -		
※郵送ご希望の方は ご記入ください			

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835

FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区区島町362-28

2026 **1.23** 金 | **2.6** 金

18:00 - 19:30

予算議会とは何か？ 基礎から学ぶ第一歩

- ・予算案とは何か？
- ・予算議会の役割と流れを理解する
- ・何のために議会があるのか
- ・予算審議の前に準備すべきこと
- ・初心者がつまづかず“数字だけ質問”を卒業する
- ・質疑のための着眼点
- ・議員活動全体と予算議会の関わり方

18:30 - 19:00

効果的な質疑のための準備と視点

- ・質疑に必要な資料と情報（役所の資料は空庫）
- ・総合計画や総合戦略を根拠に質疑を構成する
- ・実際に通用する質問骨子の立て方
- ・過去の実際の質疑事例から学ぶ

2026 **1.24** 土 | **2.7** 土

10:00 - 12:30

生成AIを活用した予算審議について

馬本 倫

- ・生成AIの基本について
- ・議員活動における生成AIの使い方
- ・議会質疑における生成AIの活用事例
- ・AIを活用し、予算審議に必要な情報を取得する方法

13:00 - 16:00

生成AIを活用した予算審議について

三好 尚志

- ・財政資料の見方
- ・AIを活用した財政分析
- ・事業評価の見方
- ・AIを活用した事業分析
- ・質疑の後に必ずやるべき“フォローアップ”

予算質疑 特別研修

基礎から実践まで 4コマ集中講座

本講座は、研修を履修した自治体議員が、1日の研修から2日間の研修へと期間を延長し、基礎から実践まで準備作業段階から市議会に活用するまで、4コマで体系的に学ぶ特別研修。

●基礎から実践、実践から準備作業段階まで、市議会に活用するまで、4コマで体系的に学ぶ特別研修。

●研修を履修した自治体議員が、1日の研修から2日間の研修へと期間を延長し、基礎から実践まで準備作業段階から市議会に活用するまで、4コマで体系的に学ぶ特別研修。



講師
元枚方市議会議員
木村 亮太
きむら りょうた

枚方市生まれ、大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ベンチャー企業）を経て、2011年より無所属で3期12年枚方市市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。

2015年度監査委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。

市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みがマニフェスト大賞最優秀賞グッドアイデア賞、優秀賞輝煌賞を受賞。

「はじめて取り組む自治体職員のための成果運動型委託契約(PFS)/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)実践ガイドブック」、日経グローカルに寄稿実績あり。

全国市議会議長会での講演実績あり。

グロービス経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みは FAX または メールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み
chihogiken@h3o.works



FAX申し込み
申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき、印チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

講座内容/時間	開催日	
	1.23(金)	2.6(金)
予算議会とは何か？ 基礎から学ぶ第一歩 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果的な質疑のための準備と視点 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

講座内容/時間	開催日	
	1.24(土)	2.7(土)
生成AIを活用した予算審議について 基本編 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
生成AIを活用した予算審議について 実践編 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

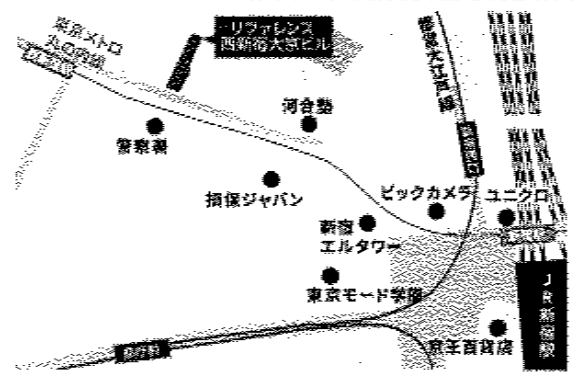
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室ができないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ツツキ リエコ 露木里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松 (2期目)
電話番号	(053) 457 - 2495	FAX番号	(053) 457 - 2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していただきますので座席、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所 ※郵送ご希望の方は ご記入ください	〒 _____		

東京 リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

- 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅 [1番] 出口より 徒歩1分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅 [D4番] 出口より 徒歩8分



受講料 お問合せ 地方議員研究会

■ 1講座 15,000円(税込)

① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。
受講料は【受講確認書】到着後 事前のお振込みをお願いいたします。

TEL 050-1089-9835 FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区蒲島町362-28

①-[3]

(原簿控) 90202

徴収額

2024 年 3 月 21 日

神奈川県 自由民主党 様

★

¥30,000

2024/2/7(土)10時～木村講師【東京】生成AIを活用した予算整理について～基本編～
2024/2/7(土)13時半～木村講師【東京】生成AIを活用した予算整理について～実践編～

研修会受託代として

下記宛に請求させていただきます

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835

① - ④

(基本料金) B0203

徴収額

2026年2月27日迄

浜松市議会 自由民主党浜松 等

★

¥30,000

2026/2/8(日)10時～柴田講師【京都】役所の中から見た地域福祉のリアル
2026/2/8(日)13時半～柴田講師【京都】介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

研修会受託代として
全席には同額が念入りに

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市中区

TEL 050-1086-9835

2025/12/17

浜松市議会
神間 郁子 様

地方議員研究会
セミナー事務局
TEL: 050-1089-9835
MAIL: chihogiken@h3o.works

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記の通り、ご確認いたしました。
領収証はセミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

②

お申込み講座	備考
2025/1/30(金)10時～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎	¥15,000
2025/1/30(金)13時半～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方	¥15,000
2025/2/3(金)10時～木村講師 下野議員とは何か? 基礎から学ぶ第1巻	¥15,000
2025/2/4(金)13時半～木村講師 創発的な質疑のための基礎と実践	¥15,000
2025/2/9(日)10時～梶田講師【京都】教員の中から見た地域福祉のリアル	¥15,000
2025/2/28(日)13時半～梶田講師【京都】介護施設と地域包括ケアを機軸とした話し	¥15,000
領収証宛名	浜松市議会 自由民主党浜松 様
お振込金額	¥90,000
お振込日	2025/12/17
お振込名義	ハママツシギカイジミントウハママツ 様


⑤
所収金額
返金 ¥90,000
1/20

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

(様式8)

令和7年12月17日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 神間 郁子 

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

神間 郁子

2 期間及び出張先

令和8年1月30日(金) 10:00～16:00

東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催 議員力UP研修 参加

① 10:00～12:30『生成AIを活用した議員活動の基礎』

② 13:30～16:00『生成AIを活用した議員質問の作り方』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 1.30(金)	東京 2.13(金)
10:00~12:30 生成AI (チャットGPT) を活用した 議員活動の基礎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 生成AI (チャットGPT) を活用した 議会質問の作り方	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	東京 1.31(土)	東京 2.14(土)
10:00~12:30 地方創生2.0について①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 地方創生2.0について②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ カン 郁子 神間 郁子	貴議会名	浜松市議会 (2期目)
電話番号	(053) 457-2495	FAX番号	(053) 457-2495
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画像、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 ー ー		

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 D4出口 徒歩8分

受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835

FAX 050-6875-7448

E-MAIL chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区磯島町362-28

㊟-㊟

(8920)

領収証

2026 年 1 月 30 日

※領収証は、領収書の発行日より10年以内の期間に限り有効です。

浜松市議会 自由民主党浜松 様

〒430-0801 浜松市東区東山町1-1-1 自由民主党浜松市議会 様

〒430-0801 浜松市東区東山町1-1-1 自由民主党浜松市議会 様

★

¥30,000

但

2026/1/30(金)10時～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎

2026/1/30(金)13時半～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方

研修会受講代として

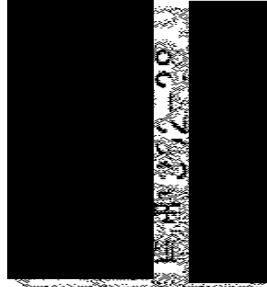
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区

TEL 050-1089-9835



支払証明書

金額	百万 ▲	十万 ¥	万 3	千 0	百 0	十 0	円 0
----	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

但し 所用により2/6 開催 2 講座受講キャンセル
取消にともなう既払受講料戻入金 として

【12/17 付 受講料 30,000 円 支払済 (B1201) 参照】

受講者 : 神間 郁子 議員

主催者 : 地方議員研究会

【株式会社 H30】 横浜市神奈川区井浦島町 362-28

講座料 : 10:00~ , 13:30~ 2 講座

@15,000 円×2 講座 = 30,000 円

上記の金額が返金されたことを証明します。

令和 8 年 1 月 30 日

代表者名 平野 岳子

1/30 研修時
(現金) 返金

令和 7 年 12 月 17 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 神間 郁子 ()

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

神間 郁子

復讐

[Redacted]

[Redacted]

受け取り
1/30 研修時に返金

2 期間及び出張先

1/28 9:40
Tel: 02
+PINKIL

30,000円

令和 8 年 2 月 6 日 (金) 10:00~16:00

東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催 予算質疑特別研修 参加

① 10:00-12:30 『予算議会値は何か? 基礎から学ぶ第一歩』

② 13:30-16:00 『効果的な質疑のための準備と視点』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名

印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました!

FAX : 050-6875-7448

お申込みは FAX または メール にて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき、☑ チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

講座内容/時間	開催日		講座内容/時間	開催日	
	1.23(金)	2.6(金)		1.24(土)	2.7(土)
予算議会とは何か? 基礎から学ぶ第一歩 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	生成AIを活用した予算審議について 基本編 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果的な質疑のための準備と視点 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	生成AIを活用した予算審議について 実践編 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

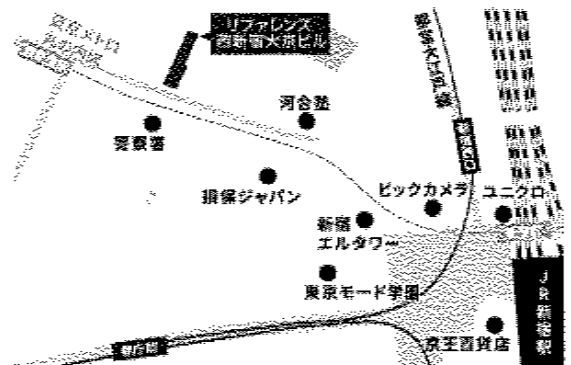
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室ができないことがありますのでご注意ください。

お名前 フリガナ カマ イノ 神間 郁子	貴議会名 茨城県議会 (2 期目)
電話番号 (053) 457-2495	FAX番号 (053) 457-2494
メールアドレス	
領収書のご宛名 茨城県議会 自由民主党茨城県議会	
<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員が、ございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので、会場内の席数は保証いたしかねます。	
郵送サービスご希望の方は チェックしてください 郵送先住所 *郵送ご希望の方は ご記入ください	

東京 リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

- 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅【1番】出口より 徒歩1分
- 都営大江戸線「新西口」駅【D4番】出口より 徒歩8分



受講料

お問合せ

地方議員研究会

■ 1講座 15,000円(税込)

① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。
受講料は【受講確認書】到着後事前のお振込みをお願いいたします。

TEL 050-1089-9835 FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区蒲島町362-28

②-⑤

研究員

B1201
(B0202)

徴収票 2023 年 4 月 30 日

高松市徴収 自由民主党選挙 様

★ ￥30,000

2026/2/8(日)10時～栗田講師【京都】投票の中から見た地域協会のリアル
2026/2/8(日)13時半～栗田講師【京都】介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

研修会要請代として
高松市に送付いたします

地方議員研究会
〒221-0042
神奈川県横浜市中区
TEL.050-1089-9835

支払証明書

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
			¥	1	5	5	5	0

但し 1/14 開催 講座受講 代金 として

受講者 : 太田 康隆 議員

① 地方議員研究会 15,000 円 【株式会社 H30】
横浜市神奈川区井浦島町 362-28

② 上記振込手数料 550 円 静岡銀行

①+② 合計 15,550 円

ご利用明細



静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年	月	日	振替先店番・科目・口座番号	243
07	12	18		
銀行番号	店番号	科目	口座番号	
0149		10		
お取扱店	お取引内容	お取引金額		
0361	お引出し	¥15,000		
お振付先	*****			
	おつり	残	高	

チャージング	手数料	時刻	お振付先	お振付先
	¥650	1338	0090	

スミノン1スビーアイネット
ネウラントアイチ
普通 2753145
カ) イチスリーオー 様
ハママツツキカイン・エイトウハママツツキイテ,
様 TEL053-457-2495

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 7 年 12 月 18 日

06.536.28 (裏面もご確認ください)

代表者名 平野 岳子

2025/12/18

浜松市議会
太田康隆 様

地方議員研究会
セミナー事務局
TEL: 050-1089-9835
MAIL: chihogiken@h3o.works

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記の通り、ご確認いたしました。
領収証はセミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

お申込み講座		備考
・ 2026/1/14(水)13時半～非公開講座【東京】交通渋滞の解決策としての地域公共交通への投資		¥15,000
・		
・		
・		
・		
領収証宛名	浜松市議会 自由民主党浜松	様
お振込金額	¥15,000	
お振込日	2025/12/18	
お振込名義	ハママツシギカイジミントウハママツ	様

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和 8 年 1 月 13 日 (火) 13:30~16:00			
出張先 (目的)	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル 地方議員研究会主催 一日集中 議員・議会の講座 受講			
出張者氏名	露木 里江子			

旅 費 額 内 訳

項 目	金 額	備 考
交通費	15,820 円	1/13 新幹線乗車券 浜松駅⇄東京駅 @15,820円×1名分
"	360 円	東京メトロ地下鉄代 @180円×2
日 当	1,500 円	@1,500円 × 1日 × 1名分
合 計	17,680 円	

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥			1	7	6	8	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 8 年 1 月 14 日

代 表 者 会 長 平野 岳子



<詳細>

講座料 15,000 円は、R7.12.17 付 振込支払【B1201】参照

新幹線切符代 1 件 ・ 地下鉄代 2 件 【裏面 領収書添付】

領収書
 発行年月日 2026-1-13 登録番号: T318001031569
 金額 ¥15,820 (消費税等込) 冊100

上記金額を領収いたしました

購入商品 J尺乗車券類
 (60468 4枚)
 東上線東武鉄道株式会社
 乗車券MV2発行 00469-01

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

 東武/東 領収書

ご利用ありがとうございます。
 この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ¥180

上記金額を領収いたしました。

※ 課税10%対象

ご利用日時 2026年01月13日
 時刻 12時14分

伝票番号: 57279
 東京地下鉄株式会社
 登録番号: T4010591022810
 西新宿駅 券O2発行

 東武/東 領収書

ご利用ありがとうございます。
 この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ¥180

上記金額を領収いたしました。

※ 課税10%対象

ご利用日時 2026年01月13日
 時刻 16時11分

伝票番号: 19947
 東京地下鉄株式会社
 登録番号: T4010591022810
 西新宿駅 券O2発行

2026年1月13日

静岡県浜松市議会
露木里江子 様

地方議員研究会
神奈川県横浜市神奈川区相模町982-28
電話 050-1089-9835

受講証明書

1/13の弊社セミナーにて、講師が急遽不在となったため、ご来場いただいたお客様へ、すでにお預かりしていた受講料を返金させていただくこととなりました。

つきましては、領収証の発行を致しかねますので、本書をもって、確かに来場されたことと証明させていただきます。

記

- ・講師 宮本正一 氏
- ・内容 2026/1/13【東京】一日集中「議員・議会の基礎講座」

1/17 多岐分
※ B1201 添付

原本は B1201 添付
添付

(様式8)

和7年12月17日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 露木里江子 様

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

露木里江子

2 期間及び出張先

令和8年1月13日(火) 13:30～16:00

東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催

一日集中 議員・議会の講座 受講

『議員活動を武器にする ～質問・政策・発信～』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

過去に新人議員5,000人が受講した人気講座

議員20年の現場知から学ぶ

一日集中「議員・議会の基礎講座」

議員活動は誰も教えてくれません。

地方自治法の基本も、議会運営の暗黙のルールも、質問づくりの勤どころも――。

先輩議員が間違えている場合には抜け出せません。

知らないまま任期を重ねれば、成果を出せずに終わってしまう議員も少なくありません。

本講座では、全国の議会や役所で研修をしていて、

20年の経験を持つ元議長が、議会と議員活動の“基礎”を徹底解説。

形式的な質問や前例主義から抜け出し、議員として生き残るための必須知識を一日で習得できます。

2026 1.13 東京

2026 2.7 博多

10:00

議員の基礎力をつくるー自治法と議会制度の理解

12:30

- ・ 地方自治法の基礎ー議員が必ず押さえるべき条文
- ・ 二元代表制とは何かー議会と市長の力関係
- ・ 与党や野党、1人会派の違いとは
- ・ 二元代表制の限界ではなく合意や対話ができない議員の限界
- ・ 1人でもできる戦い方と、教えた後に起きた各地の事例を教えます
- ・ 昔の議員、議会と令和時代の違いや過去参加者の声
- ・ 議員定数減少時代に生き残る議会のかたち

13:30

議員活動を武器にするー質問・政策・発信

16:00

- ・ 一般質問の作り方ー成果を出す質問と出ない質問
- ・ 先輩に聞いてはいけない質問術ー独自性を生む視点
- ・ 議会質問と政策提案のつなげ方
- ・ 予算書・決算書の読み方ー議員が見るべき数字
- ・ 市民に届く議員活動ー広報や活動手法
- ・ 議員の情報収集術ーネット・現場・市役所の活かし方
- ・ 20年の経験から答えるー「よくある誤解」と「必勝のヒント」

みやもと しょういち

宮本 正一

元 寝屋川市議会議員、日本公共経営研究所代表、元 吉野町役場政策アドバイザー

1967年大阪府生まれ

ポストン・ウェントワース工科大学卒業、神戸大学経営大学院でMBA（経営学修士）、

大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号（公衆衛生学）を取得。

厚生労働省 厚生労働研究「ワクチン疫学研究班」研究員（～2023）、

同志社大学生命医科学専攻講師担当科目「解剖学概論」（～2023）、吉野町役場政策アドバイザー（～2024）

【著書】

「サービス産業経営論（第7章自治体の経営）」（税務経理協会）

平成7年に27歳で寝屋川市議会議員に初当選（無所属）

5期20年間市議会議員（第54期寝屋川市議会議員）

大阪府知事選他、17の選対本部で事務局長

アメリカ大統領選挙も視察（クリントン、トランプ1期目）



① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

mail@chihogiken.or.jp



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 1.13(水)	博多 2.7(水)
10:00~12:30 議員の基礎力をつくる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 議員活動を武器にする	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

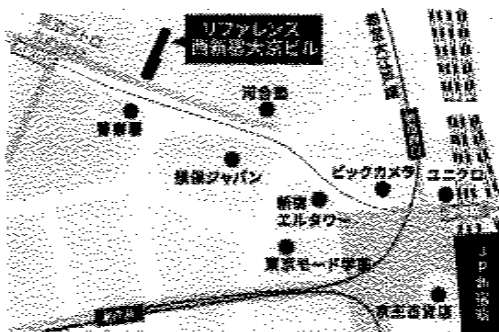
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ツギキ リエコ 露木 里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松 (2期目)
電話番号	(053) 457 - 2495	FAX番号	(053) 457 - 2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画質、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 ー		

東京会場 リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023

東京都新宿区西新宿7丁目21-3

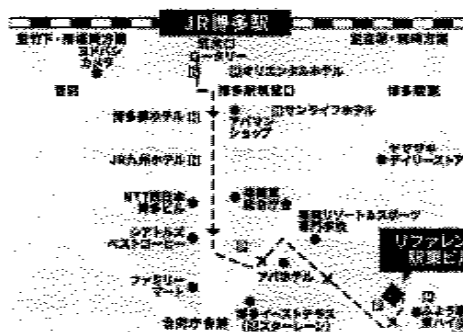


Googleマップ
 東京メトロ丸の内線 西新宿駅
 1番出口 徒歩1分
 都営大江戸線 新宿西口駅
 D4出口 徒歩8分

博多会場 リファレンス駅東ビル

〒812-0013

福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目16-14



Googleマップ
 JR博多駅 筑紫口 徒歩4分
 博多イーストテラス(旧スターレーン)方面へ向かい
 「アパホテル」先を右折、
 左折ガラス張りのビル(4階)コインパーキング

受講料

1講座15,000円


受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡を
お願いいたします。

お問合せ 地方議員研究会

TEL 050-1089-9835
 FAX 050-6875-7448
 E-MAIL chihogiken@h3o.works
 TEL 0221-0642
 神奈川県横浜府津市神奈川区清見町362-28

(様式11)

令和 8 年 1 月 13 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和8年1月13日(火) 13:30~16:00
出張先	地方議会研究会 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	議員・議会の基礎講座『議員活動を武器にする 質問・政策・発信』 講座受講 (ビデオ)
出張者 氏名印	露木 里江子 

(出張の顛末)

議員活動を武器にする戦略～質問・政策・発信で成果を出すための実践的アプローチと題した議員研修に参加した。講師は 宮本 正一 氏 (元寝屋川市議会議員・元議長)

議員生活 20 年の経験に基づき体系化された「成果を出すための 7 つの要素」を学び、単なる知識習得に留まらない、明日からの議員活動に直結する具体的な手法 (一般質問の構成、財政分析、情報発信等) を習得することを目的として参加した。

講義では、議員が成果を出すための戦略が以下の 7 項目に整理されて提示された。

① 一般質問の構築：成果の分かれ目

成果を出す質問と出ない質問の決定的な違いは、「具体的根拠」と「代替案」の有無にある。

確かに、他会派の質問を聞いて、抽象的・一般的な内容に終始し、批判そのものが目的化していると感じるものもあり、当局が回答に窮するだけの質問や、市民ニーズから乖離した独りよがりの追求は改善に繋がらないと理解した。

② 質問の独自性と差別化戦略

他の議員と一線を画す「独自性」を生むためには、4 つの視点が不可欠である。
職業経歴：地域特性：先進事例：市民の声

これらを組み合わせ、他者が触れない「ニッチ」な角度から切り込むこと、そして一時情報 (自ら収集したデータ) を武器にすることが、質問の価値を高めるのだと感じた。

③ 財政分析スキルの習得 (決算カードの重要性)

一般会計・特別会計の構成、歳入構成、経常収支比率、歳出構成、基金残高、

(様式 11)

債務残高と償還計画、人件費比率をしっかりと比較分析確認することで、「前年執行状況の乖離や潜在的な課題を浮き彫りにできる。

④ 戦略的な情報収集と発信については、現場、市役所の3ルートを使い分ける。特に複数の情報源による「相互検証」と、客観データと市民ニーズを紐付ける作業が重要。専門用語を排し、ビジュアル資料を活用して「直感的に」伝えることで、成果だけでなく、プロセスや残された課題も誠実に伝えることができ、市民との信頼構築に直結する。

本研修を受け、わが市の議会活動および自身の活動を照らし合わせると、以下の課題が浮かび上がる。

データの活用不足：感情や情緒的な訴えに頼る場面が多く、決算カード等の客観的数値に基づいた「財政的裏付けのある政策提言」を強化する余地がある。

国とのパイプラインの活用：講師から指摘があった通り、市職員には「国へ直接聞きにくい」という制約がある。しかし、我々（自民党）は国政とのネットワークを活用し、直接情報を得ることが可能である。この「議員ならではの機動力」を情報の武器として最大化すべきである。

決算データの引用し、経常収支比率や基金残高の推移を引用し、財政的持続可能性の観点から新規事業を提案することを早速行ってみよう。

市民との信頼構築の深化のため、文字中心の報告書から、グラフや図解を用いた「一目でわかる広報」へシフトしてゆくべきと分かった。SNS等でもプロセスの公開を行い、双方向の対話を重視してゆく。

「一度の質問で終わらせない」という講師の教えを守り、指摘した課題が翌年度の予算や事業にどう反映されたかを継続的にチェックし、長期政策実現への粘り強い追跡を行う。

今回の研修を通じ、議員活動とは「質問」「政策提案」「情報発信」「情報収集」がそれぞれ独立しているのではなく、互いに有機的に結びついた一つの戦略サイクルであることを痛感した。

「市民生活の改善」という目的を果たすためには、派手なパフォーマンスではなく、徹底した準備と、データに基づいた粘り強いアプローチこそが最大の武器となる。研修で学んだ「明日から使える手法」を一つずつ着実に実践し、市民が実感できる成果を積み上げてゆく。

(様式6)

B1202
(B1202)

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和8年1月14日(木)		
出張先(目的)	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル 13:30~16:00 地方議員研究会主催 講座受講		
出張者氏名	太田 康隆		
旅 費 額 内 訳			
項 目	金 額	備 考	
交通費	16,480 円	① JR新幹線 切符代【浜松-東京 往復】(裏面領収書添付)	
"	356 円	② 東京駅 ~ 西新宿【会場】 ~ 東京駅 地下鉄電車代 IC @178 円 × 2 = 356 円	
日 当	1,500 円	◎ 1,500 円 × 1日 × 1名分	
合 計	18,336 円		

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		1	8	3	3	6	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和8年1月15日

代表者 会長 平野 岳子

<詳細>

※受講料 15,000 円 + 振込手数料 550 円 = 15,550 円 (令和7年12月18日付 振込【B1202 参照】)

行程

新幹線 地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 新幹線
 浜松駅 == 東京駅 — 西新宿 … 会場 … 西新宿 — 東京駅 == 浜松駅

原簿 No 5201270 領収書 No 83
店名 山口 4
領 収 書

浜松市議会 自由民主党浜松市

金額 円 16,480円
[消費税等込み・10%]

組し、乗車券類として

上記金額がに領収致しました

2026年 1月 2日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号: 13120001031559

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

浜松駅

現金出納社員



(様式8)

令和7年12月18日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 太田 康隆

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

太田 康隆

2 期間及び出張先

令和8年1月14日(水) 13:30~16:00

東京都新宿区西新宿7-21-3

リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催 講座

「交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資」 受講

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

受信 受講確認書のご送...

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

2025/12/17

浜松市議会
太田雄隆 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1099-0835
FAX 050-6875-7448

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

・お申込み講座

① 2025/1/14(水)13時半〜15時半【東京】交通圏外の解決策としての地域公共交通への投資

領収証宛先：浜松市議会 自由民主党浜松 様
領収証金額：¥15,000

ご請求額：¥15,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。
住信SBIネット銀行 法人第一支店（支店番号106）
普通口座 2753145
名義 株式会社H30 カ) エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。
※会原名でお振込をいただくことがありますが、全国的に同じ会派名が多数存在し、どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28



① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

		1.28	3.30(月)
10:00~12:30 「交通空白」と 地域公共交通の役割①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 「交通空白」と 地域公共交通の役割②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

		1.29	3.31(火)
10:00~12:30 ライドシェアと 自動運転の基礎と課題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 交通麻痺の解決策としての 地域公共交通への投資	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

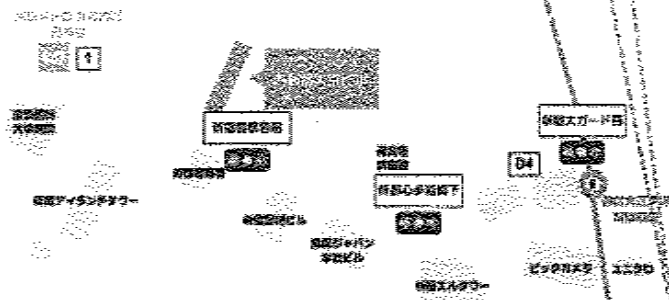
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナオオタヤスツカ 太田泰隆	貴議会名	浜松市議会 16期目
電話番号	(053) 457-2495	FAX番号	(053) 457-2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	浜松市議会自由民権部		
サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 ※必ずご出席される方のみチェックしてください。 ※会場での決済を優先しておりますので現金、音声の振替はご遠慮いたします。		
郵送先住所	〒 ー		

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 D4出口 徒歩8分

受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ② キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL: 050-1089-9835 FAX: 050-6875-7448

Eメール: chihogiken@h3o.works

住所: 〒221-0042 東京都横浜市中区新川1-2-20

「地域の足」が無くなる？ 交通空白解消セミナー

地域からバス、電車、タクシーが無くなる？今地方自治体が取り組むべき課題

📍 東京

1/13
(火)

「交通空白」と地域公共交通の役割①

- ・用語の定義で役所に懸されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通による地域の足対策と観光の足対策
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

1/28
(水)

「交通空白」と地域公共交通の役割②

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

3/30
(月)

1/14
(水)

自治体から見た

ライドシェアと自動運転の基礎と課題

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー、コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXGX新しいモビリティサービス

1/29
(木)

3/31
(火)

交通圏境の解決策としての地域公共交通への投資

- ・交通圏境は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・地域公共交通の利便性向上と利用促進
- ・地域公共交通への投資による再構築



井原 雄人

早稲田大学 スマート社会連携推進機構 副理事長、国土交通省 国土政策局 国土政策課長、国土交通省 国土政策局 国土政策課長、国土交通省 国土政策局 国土政策課長

国土政策局 国土政策課長、国土交通省 国土政策局 国土政策課長、国土交通省 国土政策局 国土政策課長


(様式11)

B1702
B0102

令和 8 年 1 月 1 5 日提出

(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

報 告 書

出張年月日	令和 8 年 1 月 1 4 日 (木) 13:30~16:00
出張先	東京都新宿区西新宿 7-21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	地方議員研究会主催 「交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資」 講座受講
出張者 氏名印	太田 康隆 

(出張の顛末)

別紙 報告書の通り

(備考)

「地域の足」がなくなる？ 交通空白解消セミナー

交通環境の解決策としての地域公共交通への投資



早稲田大学

スマート社会技術融合研究機構

電動車両研究所

研究開発 専任教授

博士（学術）

井原 雄人

井原 雄人

〒177-0059 東京都板橋区板橋1-12-3-307

合同会社シェアライオン

TEL: 090-2033-4808

E-mail: info@sharelion.jp

URL: <http://www.sharelion.jp>

早稲田大学 大学院 社会科学部 交通社会システム学系 専任教授 井原 雄人
研究開発専任教授 井原 雄人

・出張の理由 地方議員研究会主催のセミナー参加 令和8年1月14日
人 田 康 隆

・講座のテーマ 「交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資」
講師 井原 雄人氏 (略歴) 早稲田大学スマート社会技術融合研究機構
電動車両研究所研究院客員准教授 博士(学術)

・(内容)

(1) コロナが与えた地域公共交通への影響

感染リスクがある中でも運行の継続が求められた一方、外出自粛要請で利用者は減少した。

2019年と比べ、最悪からは脱したが、以前のようには戻っていない。コロナによる行動変容としては公共交通による移動は減少し、自家用車による移動が増加した。バス事業者は路線バスは元々赤字で、これまで黒字であった高速・貸し切りバスが、コロナにより赤字に転落した。これにより採算部門で不採算部門を補助していた内部補助の実態が崩壊した。

また、赤字だった交通事業者にとっては、各種補助金をもらっても車向を維持し続けることすら困難となった。従来からの運転手不足に加え、需要の増加する貨物輸送に人材が流出。2024年問題により、車両があっても運行ができない状況が現れ、「目に見える崩壊が始まっている」。

さらに、地域の大手バス事業者でも、これまで内部補助で支えられていた不採算部門から撤退。これまで補助対象となっていなかった自主運行路線こそ危険。大手私鉄においても需要が戻らないことを前提としたダイヤ改正を実施。従来通りの赤字補てんや利用促進だけで乗り越えることは困難な状態で、「目に見えない崩壊も始まっている」。

交通事業者はピーク時の需要に合わせて、車両・運転手を確保することが求められる。また需要はこのまま戻らない可能性があることから、需要の底上げに加え、分散させ平準化する必要がある。休止・減便による赤字低減でなく、需要の平準化による輸送資源の再配分が必要。一公共交通を維持するため3つのシフト

- ①テレワークなどへのシフトによりピーク量を減らす
- ②時間帯別運賃や定額運賃などによる利用時間のシフト
- ③混雑情報の活用により他の需要(飲食店等)へのシフト

(2) 交通事業者への支援と利用促進

コロナ禍での支援として、感染防止対策・利用促進のための利用券配布・交通系 IC カード導入などが試行された。特に沼津市ではバス、タクシーに関して積極的な支援が試行された。また広域支援の例としては、豊橋市など東三河の6市町が助成金を出して鉄道の運行を確保した事例がある。路線バスについても、神奈川県大井町、山北町、松田町の3町が連携して、幹線路線について走行距離に応じた支援を実施した例がある。

効果的な事業実施のためには、事業の対象となる人(もしくは、効果が期待される人)の把

握が重要。通常、①利用している人は 10%、②利用するつもりはあるけど利用してなかった人が 30%、③利用するつもりのない人が 60%、①に対しては IC カード導入や乗り換えの改善。②に関しては路線の新設・再編・増便など。③に関しては「便利だから車を使う」という行動変容やロード PRICING(車を不便にする)などの施策が考えられる。

バス・電車無料の日を設け、利用促進を図る。その日の利用者が普段の 10 倍だとすれば、1%が定着すれば利用者は 1.1 倍になる。つまり事業の結果のどこに価値を置くかということ。いつもは車で移動だが当番制で半年に 1 回バスに乗る＝福岡県小郡市のコミバスの実験、一緒にバスで買い物に行こう「お声がけ」＝愛知県瀬戸市住民バスの実験など。

「公共交通を使ってお買い物を」のお得を「誘引」する事業も数多くみられる。効果はすぐに出るが、定着には時間がかかる。

(3) 地域公共交通の R・デザインとデータ活用によるアップデート

地域を守る基盤的サービスである価値を再認識し、戦略的投資が必要。

①自動運転や MAAS などのデジタル技術の実装やデータ活用による「交通 DX」

②車両電動化や再エネの地産地消を含めたエネルギーマネジメントによる「交通 GX」

③関係者との連携と協働による、官民・交通事業者・他分野との「3つの共創」

の 3つの観点から、利便性・持続性・生産性を高め R・デザインを推進する。

①については、自動運転・AI オンデマンド・キャッシュレス決済 ②では車両の電動化・充電施設の整備など ③ではエリア一括協定運行・上下分離・公設民営・狼禁法除外による共同経営などが考えられる。また、標準的なバス情報フォーマットとしては GTPS-JP があり、2023 年 12 月時点で 650 事業者で整備・公開されている。

情報利用とは、「データ」を創造・収集・判断し、処理・表現することで「情報」とし、発信・伝達することで「利用」を促す＝高校、情報 1 の教科書より。従ってデータは集めて判断が加えられ情報として処理され、可視化などの表現が加えられ、解釈され利用されてこそ意味を持つ。収集だけでは限定的ということ。

(4) 地域公共交通に対する投資と参画

・ 今後は自治体の投資と市民の参画(富山県の例)

自治体は赤字補てんなどで支援する関与から、公共交通を維持するための「投資」に転換。

市民は地域の魅力に直結する駅や公共交通を中心としたまちづくりに主体的に「参画」。

※城端線・氷見線再構築実施計画の概要＝3セク化する前に投資するもの

令和 6 年 2 月から令和 16 年 3 月までの 10 年間。施設整備 342 億円(国 128 億、県 64 億、四市 64 億、JR86 億円)、経営安定資金 40 億円(県・四市で各 11 億、JR18 億円)計 382 億円。

効果として高岡駅お中心とした県西部の利便性の強化。利便性向上策として、新型車両の導入 34 両＝176 億円、運行本数の増、パターンダイヤ化に伴う改良、IC カード設置など。

・ 積極的な投資で利用増を図った例として鶴岡市の庄内交通のバス事業。

- ・気仙沼市のデマンドタクシー。
- ・珠洲市の北鉄奥能登バスなどがある。

助け合う範囲の再構築は、公共に求められる範囲が広がっているけれども、助け合いの広がりは難しい。

- ・移動サービスの公共性(公共がどこまで支援するか)について

地域公共交通は公的供給財(公共財)であるという認識の整理。公共財であれば本来、無償かそれに準じた扱い。また、対価を払わない人を排除できない(排除性なし)。また純然たる私的財であれば排除性もあり、競合性もある。交通事業者が頑張ればよいことになる。

実際にはこれまで公共財的性質が強かった日本の公共交通も、規制緩和により内部補助の前提が失われたことで、サービスが廃止され、減少し競合性がない状態を維持できなくなった。つまり私的財の性質が強くなった。

しかし、福祉移動サービスにしても、どこまでを福祉とするか。生活交通が私的財だとしても、どこまでを公が支援するか(交通空白への対応を含め維持していくか)。

また、幹線交通についても、どこまで公が関わり、幹線となる交通を充実させることで地域の価値を向上させることができるか。事業者の問題として片づけるのではなく、国民の移動の権利も考えながら、議論するべきと思う。

支払証明書

		百万	十万	万	千	百	十	円
金額			¥	1	5	0	0	0

但し 1/20 開催 講座受講 代金 として

受講者 : 平野 岳子 議員

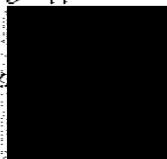
地方議員研究会 15,000 円 【株式会社 H30】
 横浜市神奈川区井浦島町 362-28

※講座参加に伴う交通費、及び日当については、同日夕方より別件での
 東京出張予定が有り、今回の講座受講費以外の経費は請求・支出しない。

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 8 年 1 月 19 日

代表者名 平野 岳子



領収書

2023 年 1 月 30 日

岡山県立競馬場

株

★ ￥15,000

2023/1/28(火)15時半～開催開始(東京)終了後、！地方ができる効果的なことも子育て支援

研究会要請代として

土曜日に開催させていただきます

地方議員研究会

〒221-0042


神奈川県横浜市中区

TEL 050-1089-9835

(様式8)

令和8年1月9日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 平野 岳子 様  印

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

平野 岳子

2 期間及び出張先

令和8年1月20日(火) (13:30~16:00)

東京都新宿区西新宿7丁目21-3

(リファレンス西新宿大京ビル)

3 目的

地方議員研究会 主催

『待ったなし! 地方ができる効果的なこども子育て施策』 セミナー受講

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名 会長 印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

わかりやすい

人口減少・少子化に備える 地方の施策

東京

1/19
月

2/10
火

10:00~12:30

あなたの街のデータで確認する人口減少と国の施策

...

13:30~16:00

これから地方にできる人口減少対策

...

1/20
火

2/11
水

10:00~12:30

国のことも子育て施策をおさえよう

...

13:30~16:00

待ったなし！地方かできる効果的なことも子育て施策

...

黒瀬 雄大



FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 1,190円	東京 2,100円
10:00~12:30 あなたの街のデータで確認する 人口減少と国の施策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 これから地方にできる人口減少対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	東京 1,200円	東京 2,110円
10:00~12:30 国の子ども子育て施策をおさえよう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 待ったなし！ 地方ができる効果的な子ども子育て施策	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

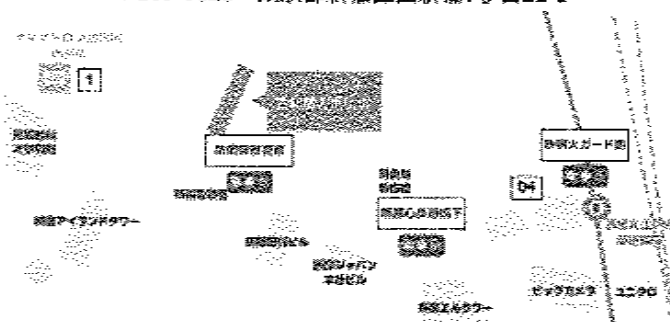
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ <u>ヒノノタケ</u> <u>平野 泰子</u>	貴議会名	<u>沼松市議会</u> (附員)
電話番号	[Redacted]	FAX番号	<u>(053) 457-2694</u>
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	<u>自由民主党沼松</u>		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず出席される方のみチェックしてください。 ※会場での講演を優先していますので録音、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 _____		

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 04出口 徒歩8分

受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835

FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区道徳町362-28


(様式 11)

B01a3

令和 8 年 1 月 26 日提出

(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

報 告 書

研修年月日	令和 8 年 1 月 20 日 (火) 1 日間
出張先	東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル
研修理由	地方議会研究会 『待ったなし! 地方ができる効果的な子ども子育て施策』セミナー受講
受講者 氏名印	平野 岳子 

(出張の願末)

別紙 報告書の通り

(備考)

(様式 11)

令和 8 年 1 月 26 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 1 月 20 日(火) 13:30~16:00
出張先	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル2階
出張の内容	講義『待ったなし!地方ができる効果的なこども子育て施策』 講師:元交野市議会議員、元交野市財政課職員 黒瀬雄大氏
出張者	平野 岳子
<p>(顛末)</p> <p>本講演では、元市職員・元市議会議員である黒瀬雄大氏より、行政と議会双方の経験を踏まえた実践的な内容であり、現場の課題を踏まえながら具体的に語られた点が非常に印象的であった。</p> <p>講演の中で指摘されたのは、多くの自治体において、子ども・子育て施策が部局間で十分に連動せず、結果として支援が断片化してしまう構造的要因である。その一つに、教育委員会と市長部局との組織的な壁である。両者は、役割や制度の違いを背景に、それぞれ独立した形で施策を進めてきた歴史があり、その結果として十分な情報共有や連携が図られていないケースが少なくないという。</p> <p>例えば、子どもに関する情報が学校段階で十分に引き継がれないことや、保健所・子育て支援センターと学校との間で情報共有が充分でないことがあげられる。こうした状況下では、地域全体として一貫した支援体制を構築することは難しく、子どもや家庭に対する支援が途切れがちになる可能性がある。</p> <p>国の子ども政策でも、縦割り構造が進められてきた経緯があるが、その是正を目的とした「こども家庭庁」には一元的に推進することを期待している。</p> <p>本市においても、保育行政の集約を進めてきたことは評価できる取組である。</p>	
<p><所感></p> <p>他都市の先例事例を伺いながら、本市の施策を改めて振り返る機会となったが、参加された他都市の議員に対し、本市の施策について紹介させていただく場面をもち、本市の取組が一定の評価を得ていることを実感した。</p> <p>今後とも、地域のこどもたちと家庭を支えるために、より実効性のある子育て施策の推進に努めていきたい。</p>	

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和 8 年 1 月 30 日 (木) 10:00~16:00		
出張先(目的)	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル 地方議員研究会主催 講座 受講 「生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎・議会質問の作り方」		
出張者氏名	神間 郁子		
旅 費 額 内 訳			
項 目	金 額	備 考	
交通費	15,820 円	新幹線乗車券 浜松駅⇄東京駅 @15,820 円×1名分	
”	356 円	東京メトロ IC 地下鉄代 四ツ谷⇄西新宿 @178 円×2	
日 当	1,500 円	@1,500 円 × 1 日 × 1 名分	
合 計	17,676 円		

金額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥			1	7	6	7	6

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 8 年 2 月 2 日

代表者 会長 平野 岳子

<詳細>

講座料 15,000 円は、R7.12.17 付 振込支払【B1201】参照

新幹線切符代 1 件

領 収 書
 収 入 者 浜松市議会 市長 田中 浩
 収 入 日 2026-1-30 登録番号: T3180701031569
 金 額 ¥15,820 (消費税等込) 領 10%

上記金額額かに預取いたしました
 購入商品 J 氏乗車券類
 (50467 4枚)
 東海旅客鉄道株式会社
 浜松駅M V3 発行 60468-01

印 紙 税 申 告 納
 付 につ き 名 古 屋 中 村
 税 務 署 承 認 章

(様式8)

令和7年12月17日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 神間 郁子

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

神間 郁子

2 期間及び出張先

令和8年1月30日(金) 10:00～16:00

東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催 議員力UP研修 参加

① 10:00～12:30『生成AIを活用した議員活動の基礎』

② 13:30～16:00『生成AIを活用した議員質問の作り方』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

令和の地方議会に求められる

議員力アップ研修

東京

1/30(水)

2/13(金)

10:00~12:30

生成AI（チャットGPT）を活用した議員活動の基礎

- ・ 生成AI（チャットGPT）のできること
- ・ 議員活動における基本的な使い方
- ・ 議会発言のための有効な使い方
- ・ ブログ、広報での活用方法
- ・ 生成AI時代の議員がすべき役割と動き方

13:30~16:00

生成AI（チャットGPT）を活用した議会質問の作り方

- ・ 生成AIを活用した行政資料の分析・要約の仕方
- ・ 財政分析での活用方法
- ・ 事業分析での活用方法
- ・ 生成AI時代に必要な政策実現力

1/31(木)

2/14(土)

10:00~12:30

地方創生2.0について① 若者や女性に選ばれる地方を作るためには

- ・ 子育て世代のニーズをつかもう
- ・ 役所の計画などの確認
- ・ 保育環境の改善や議会質問での提言
- ・ 教育委員会関連の質問時のポイント

13:30~16:00

地方創生2.0について② 民の力を活かす官民連携の強化について

- ・ 新しい官民連携の最新事例
- ・ 逆プロポで実現した各地の事業
- ・ 新しい民間委託PFSのススメ
- ・ 人口減少時代の自治体経営のあり方



木村 亮太 元岐阜市議会議長

岐阜市生まれ。
 大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ソフトウェア産業）を経た。2011年より所属する3期17年岐阜市市議会議長として活動。
 2023年4月まで任期満了。2015年度総務委員、2016年度議会改革調査特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。
 市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みが「エッセイ」大賞最優秀賞「クラウドアイデア賞」、優秀賞を受賞。
 『はじめて取り組む自治体職員のための成果連動型委託契約(PFS)ソリューション・イノベーション(以)実践ガイドブック』、
 『経ワローカル』編集委員あり。全国市議会議長会での講演実績あり。
 クロース経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました!

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	東京 1.30(金)	東京 2.13(金)
10:00~12:30 生成AI (チャットGPT) を活用した 議員活動の基礎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 生成AI (チャットGPT) を活用した 議会質問の作り方	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	東京 1.31(土)	東京 2.14(土)
10:00~12:30 地方創生2.0について①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 地方創生2.0について②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ カミ イロ 神間 郁子	貴議会名	渡木 紳 議会 (2 期目)
電話番号	(03) 457 - 2495	FAX番号	(03) 457 - 2495
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党 浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございましたので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していただきますので園児、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 ー ー		
※郵送ご希望の方は ご記入ください			

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 D4出口 徒歩8分

受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ② キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835

FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28


(様式 11)

B0201

令和 8 年 2 月 2 日提出

(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

報 告 書

出張年月日	令和 8 年 1 月 3 0 日 (木) 10 : 00 ~ 16 : 00
出張先	東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	地方議員研究会主催 研修会 セミナー受講 『生成 AI (チャット GPT) を活用した議員活動の基礎』 『生成 AI (チャット GPT) を活用した議会質問の作り方』
出張者 氏名印	神間 郁子 
(出張の顛末)	別紙 報告書の通り
(備考)	

研修報告書

自由民主党浜松

神間郁子

■日 時： 2026年1月30日 10:00～16:00

■場 所： リファレンス西新宿大京ビル

■テーマ： 地方議員研究会講義

令和の地方議員に求められる 議員力アップ研修 東京

講師：木村亮太 元枚方市議会議員

■研修内容：

① 生成 AI を活用した議員活動の基礎

1. 生成 AI とは何か
2. 生成 AI でできること
3. 議会発言のための有効な使い方
4. ブログ、広報での活用方法
5. 生成 AI 時代の議員がすべき役割と働き方

生成 AI は議員の重要な仕事である情報提供の一つブログの記事のネタ探しから記事作成まで活用できる。写真から様々な加工をすることも可能で、無料版でかなりの編集も可能。これまでの、印刷業界やデザイナーの仕事を、簡単に自分で加工できる。

生成 AI は公開されている情報をもとに回答を出力するもので、意思決定はあくまで人間である。議員は、日頃の有権者や行政との意見交換や、やり取りの中で、地域の情報や慣例・慣習といった、ネット上に公開されていない情報を得て、実際にコミュニケーションをとり、より良い市民生活のために政策の改善、提案をする。そのためのツールとして生成 AI を活用し、公開されている情報や省庁の資料、自治体の資料の分析要約、を使って、最終の意思決定をする。

なんのために質問するのか、どの点に課題意識を持ちそれをどう解決するのか、政策提言につなげる。そのためには、行政サイドとの、課題意識の共通認識が重要。行政側も議員も、ともに最終目標はより良い政策を実現し市民生活の質の向上に資することである。

生成 AI が作ったものを、しっかりと読み込み、自分らしさ、を加えていく。あくまで指示は人、データがないと生成 AI は活躍できないことから、必要なデータを公開するように行政側に促すことも、議員の重要な役割である。

② 生成 AI を活用した議会質問の作り方

- ✓生成 AI を活用した行政資料の分析・要約の仕方
- ✓財政分析・事業分析
- ✓生成 AI 時代に必要な政策実現力

様々な生成 AI ツールが存在するが、それぞれ得意分野が存在する。議員におすすめなのが、NotebookLM。複雑な各種計画の分析や、解説を得意とする。行政計画の読み込み、資料の分析・複数の資料をいれて比較などの分析が可能。生成 AI に存在するハルシネーション（嘘）が起きにくい、という利点もある。

基礎資料の要約・先進事例の調査・論点の抽出などで質問のたたき台を作ることができる。財政分析・事業分析にも効率的に活用が可能。総務省の財政状況資料集を読み込ませ、同程度の市町村の財政状況を比較し課題を質問の材料にしていくことができる。

議員の仕事のうち資料の読み込みや分析について AI の活用をすることで、時短になり、そこへかけていた時間と労力を、現場での現状把握や意見交換などコミュニケーションに時間をかけ、より良い提案につなげることができる。

より精度を高く、生成 AI を活用するには、議員本人のプロンプト力（指示語力）が問われることになる。それは活用しながら習得していくものである。これからの活動には不可欠となる生成 AI の技術、既に乗り遅れ感はあるが、より良い議員活動の助けとなるよう積極的な活用を検討していきたい。

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和 8 年 2 月 7 日 (土)			
出張先 (目的)	東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル 地方議員研究会 主催 予算質疑特別研修 参加 『生成 AI を活用した予算審議について基本編 / 実践編』 受講			
出張者氏名	露木里江子			

旅 費 額 内 訳

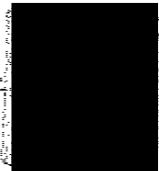
項 目	金 額	備 考
交通費	15,820 円	JR新幹線 切符代【浜松-東京 往復】(裏面領収書添付)
”	360 円	東京メトロ地下鉄代【四ツ谷-西新宿 往復】 @180 円×2
日 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1日 × 1名分
合 計	17,680 円	

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		1	7	6	8	0	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 8 年 2 月 10 日

代 表 者 会 長 平野 岳子



<詳細>

行程

新幹線 JR 地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 JR 新幹線
浜松 == 東京 == 四ツ谷 - 西新宿 ... 会場 ... 西新宿 - 四ツ谷 = 東京 == 浜松

領収書
 2026-2-6 金額番号: T318001031569
 ¥15,820 (消費税等込み) 税10%

上記金額等に領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類
 (203314枚)
 東京地下鉄株式会社
 株券課MV2発行 30332-02

印紙税申告納
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

  領収書

ご利用ありがとうございます。
 この領収書は大切に保存してください。
 お取引内容: きっぷ ¥180*

上記金額を領収いたしました。
 ※ 課税10%対象

ご利用日付 2026年02月07日
 時刻 09時09分

伝票番号: 57867
 東京地下鉄株式会社
 登録番号: T4010501022810
 池田口金庫 券02発行

  領収書

ご利用ありがとうございます。
 この領収書は大切に保存してください。
 お取引内容: きっぷ ¥180*

上記金額を領収いたしました。
 ※ 課税10%対象

ご利用日付 2026年02月07日
 時刻 16時11分

伝票番号: 21122
 東京地下鉄株式会社
 登録番号: T4010501022810
 西新宿駅 券02発行

和 7 年 12 月 17 日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 露木里江子 

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

露木里江子

2 期間及び出張先

令和 8 年 2 月 6 日 (金) ~ 2 月 7 日 (土) 2日間
東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会主催

2/6 (金) 議員に必須! 財政集中講座 受講

3/6 講座

予備系都合により

講座開催中止 返金

(1/26.01.27)
1/25 返金

① 10:00-12:30 『自治体財政の基礎』

② 13:30-16:00 『決算カードの見方』

2/7 (土) 予算質疑特別研修 参加

① 10:00-12:30 『生成 AI を活用した予算審議について基本編』

② 13:30-16:00 『生成 AI を活用した予算審議について実践編』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会 議長 様

会派名
代表者氏名

㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

2026 **1.23** (金) | **2.6** (金)

予算議会とは何か？ 基礎から学ぶ第一歩

- ・予算案とは何か？
- ・予算議会の役割と流れを理解する
- ・何のために議会があるのか
- ・予算審議の前に準備すべきこと
- ・初心者がつまずかずに“数字だけ質問”を卒業する
- ・質疑のための着眼点
- ・議員活動全体と予算議会の関わり方

効果的な質疑のための準備と視点

- ・質疑に必要な資料と情報（役所の資料は宝庫）
- ・総合計画や総合戦略を根拠に質疑を構成する
- ・実際に適用する質問書きの立て方
- ・過去の実際の質疑事例から学ぶ

2026 **1.24** (土) | **2.7** (土)

生成AIを活用した予算審議について

- ・生成AIの基本について
- ・議会活動における生成AIの使い方
- ・議会質疑における生成AIの活用事例
- ・AIを活用し、予算審議に必要な情報を取得する方法

生成AIを活用した予算審議について

- ・財政資料の見方
- ・AIを活用した財政分析
- ・事業評価の見方
- ・AIを活用した事業分析
- ・質疑の後に必ずやるべき“フォローアップ”



元枚方市議会議員
木村 亮太
きむら りょうた

枚方市生まれ、大阪大学経済学部卒業後、スタートアップ企業（ベンチャー企業）を経て、2011年より無所属で3期12年枚方市市議会議員として活動。2023年4月で任期満了。

2015年度監査委員、2016年度議会改革推進特別委員会委員長、2018年度副議長、2022年度議長などを歴任。

市議会議員時代の政策提言や議会改革の取り組みがマニフェスト大賞最優秀賞グッドアイデア賞、優秀賞推進賞を受賞。

『はじめて取り組む自治体職員のための成果運動型委託契約(PFS)/ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)実践ガイドブック』、日経グローバルに寄稿実績あり。

全国市議会議長会での講演実績あり。

グロービス経営大学院でMBA、京都大学大学院公共政策大学院で公共政策修士を取得。

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました!

FAX : 050-6875-7448

お申込みは FAX または メール にて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へのお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき、※チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

講座内容/時間	開催日		講座内容/時間	開催日	
	1.23(金)	2.6(金)		1.24(金)	2.7(金)
予算委員会とは何か? 基礎から学ぶ第一歩 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生成AIを活用した予算審議について 基本編 10:00 ▶ 12:30	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
効果的な質疑のための準備と視点 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生成AIを活用した予算審議について 実践編 13:30 ▶ 16:00	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

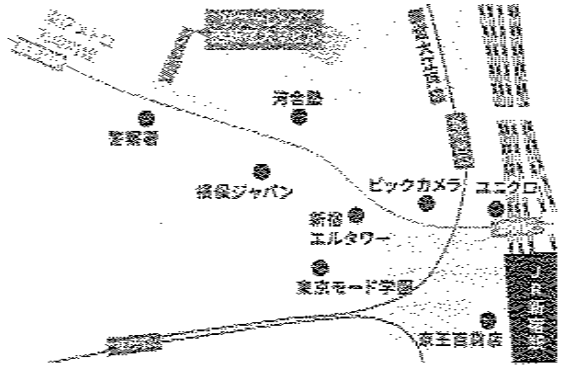
開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室ができないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ツバキ リエ コ 露木 里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松 (2期目)
電話番号	(053) 457 - 2495	FAX番号	(053) 457 - 2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断複製はしないことに同意して申し込みます。 <small>※宛先がご不明な場合は、チェックの上は郵送されずお取り寄せいただけます。 ※必ずお振込みの方のみチェックしてください。 ※郵送での発送を希望してはすべし。当日の届きは保証いたしません。</small>		
郵送先住所	〒 [Redacted]		

東京 リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3

- 東京メトロ丸の内線「西新宿」駅 [1番] 出口より 徒歩1分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅 [D4番] 出口より 徒歩3分



受講料

■ 1講座 15,000円(税込)

①キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。
受講料は【受講確認書】到着後事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835 FAX 050-6875-7448

✉ chihogiken@h3o.works

住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区磯崎町362-38

元財政課職員が教える

議員に必須！財政集中講座

東京

1/26
(月)

2/6
(金)

中止

10:00~12:30 自治体財政の基礎

- 財政のわかりにくさを解消する為に必要なこと
- 議員が知っておくべきこと。知らなくて良いことの違い
- 用語ではなく仕組みを理解する重要性
- 大半の議員も職員も知らない財政の基礎的課題

13:30~16:00 決算カードの見方

- 議員がおさえるべき箇所はココだ
- あなたの街の数字を抑える
- 決算カードから何がわかるか？
- ぼんやり理解していた数値を実際のデータで確認しよう

1/27
(火)

2/7
(土)

10:00~12:30 財政の比較の手法

- 財政比較資料は質問づくりの宝庫
- 類似団体比較カードから自治体の特徴を探ろう
- 財政比較資料から質問のポイントを学ぼう
- あなたの街の財政はどのような水準で順位を知ろう

13:30~16:00 財政問題の質問のポイント

- 我が街の財政を知り役所に指摘すべきポイント
- 人口減少を見越した自治体財政のポイント
- 基金や借金の指摘のポイント
- 財政危機を事前に察知するポイント



くろせ ゆうだい
黒瀬 雄大 元交野市議員

大阪府交野市税務所 (税務係 財務課) ことば顧問、交野市議会議員 (1期)、民間企業勤務 (ITコンサルタント・データサイエンティスト)

九州大学経済学部卒 (経済学士)、大阪市立大学大学院都市研究科 (都市政策修士)、大阪大学大学院国際公共政策研究科卒 (政策学)

自治体の効率性について研究
得意領域は自治体財政、データの可視化

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました!

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

		所要 2分以内
10:00~12:30 自治体財政の基礎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 決算カードの使い方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

		所要 2分以内
10:00~12:30 財政の比較の手法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13:30~16:00 財政問題の質問のポイント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ヲエ キリ ヲコ 露木 里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松 (2-期目)
電話番号	(053) 457-2995	FAX番号	(053) 457-2994
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加 (資料・USB動画データ・領収書郵送希望) 動画データの無断転載はしないこと向您して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は要領されてもお断りさせていただきます。 ※必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※会場での講演を優先していただきますので、各席の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 — —		
※郵送ご希望の方は ご記入ください			

東京会場

リファレンス西新宿大京ビル

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3



受講料

1講座 15,000円

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ② キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

お問合せ

地方議員研究会

TEL 050-1089-9835

FAX 050-6875-7448

メール chihogiken@h3o.works


住所 〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区東扇町362-28



東京メトロ丸の内線【西新宿】駅 1番出口 徒歩1分
都営大江戸線【新宿西口】駅 D4出口 徒歩2分

(様式11)

161201
B0202

令和 8 年 2 月 10 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松	
代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 7 日 (土) 10:00~16:00
出張先	東京都新宿区西新宿7丁目21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	地方議員研究会主催 研修会 セミナー受講 『生成AIを活用した予算審議について 基本編』 『生成AIを活用した予算審議について 実践編』
出張者氏名印	露木里江子 
(出張の頓末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	
当初 2/6・7 2日間のセミナー研修会に参加予定であったが、2/6 開催分が主催者からのキャンセル申し出があり、東京出張は、2/7 (土) 1日間のみの東京研修出張となる。	

(様式11)

令和 8 年 2 月 10日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 7 日 (土)
出張先	東京都新宿区西新宿 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	研修会『予算質疑特別研修 生成 AI を活用した予算審議と財政分析』
出張者氏名	露木 里江子

【 研修の目的 】

複雑化する自治体予算の構造を正確に把握し、限られた時間の中で精度の高い質疑を行うため、生成 AI (ChatGPT、Gemini、NotebookLM 等) をツールとして活用する手法を習得する。特に、膨大な資料からの情報抽出や、他市事例との比較分析における効率化を図ることを目的とした。

【 研修内容の概要 】

① 生成 AI の特性と活用のポイント

・ プロンプト (指示文) の重要性として、回答の質は指示の具体性に左右される。「1 度に 1 つずつ聞く」「回答形式を指定する」「回答をたたき台として活用し、正確性は自身で検証する」といった、AI を「優秀な事務局」として使いこなすための勘所を確認した。

・ ハルシネーション (もっともらしい嘘) への対策として AI の回答には誤りが混ざる可能性があるため、必ず URL や情報源を提示させるなど、根拠の確認を徹底する必要がある。

② 議会活動における具体的な活用事例

・ 調査・要約：過去の議事録、行政計画、審議会の答申などの膨大な PDF 資料を要約し、論点を抽出することができる。

・ 質問案の作成・壁打ち：他市の先進事例を調査し、本市での実施可能性や財政的支援の必要性について、AI と対話しながら質問のロジックを組み立てることができる。

(様式11)

・ 広報発信： 議会発言の要約やブログ記事の作成、インフォグラフィック（図解）の生成。特に画像生成では「トンマナ（色やスタイル）」を指定することで、市民に伝わりやすい資料作成が可能となる。

③ 予算・決算資料の分析手法（NotebookLM等の活用）

・ 資料解析の効率化： Googleの「NotebookLM」は、アップロードした資料（ソース）内のみから回答を生成するため、ハルシネーションが起きにくく、複雑な計画書の分析に極めて有効である。

・ 財政状況資料集の読み込み： 総務省様式に基づく「財政状況資料集」や「施策事業シート」をAIに読み込ませることで、財政力指数や経常収支比率の推移、事業ごとの目標達成度を瞬時に把握できる。

【 所感と今後の展望 】


生成AIは、単なる効率化の道具ではなく、議員の「調査能力」と「政策立案能力」を飛躍的に高める強力なパートナーになり得ると確信した。

特に本市の予算・決算審査において、数値の羅列や、「施策事業シート」から、課題と改善点をAIと共に分析する手法は、今後の質疑の質を大きく変えるものである。

しかし、AIを使いこなすには、議員自身の「アンテナ（情報把握力）」と、課題が解決するまで追い続ける「根気」が不可欠である。AIで得た分析結果を鵜呑みにせず、現場に足を運び、当事者の声を拾い、議会で繰り返し取り上げることで、初めて政策が実現すると考える。

結論として、今後の予算審議や決算審査、一般質問において、各種計画書や財政資料の分析に積極的に生成AIを導入し、データに基づいた実効性の高い提言を行っていく。

(様式 11)

令和 8 年 2 月 10 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 7 日 (土) 10:00~16:00
出張先	地方議会研究会 東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	生成 AI を活用した予算審議について (基本編・実践編)
出張者 氏名印	露木 里江子 

(出張の顛末)

生成 AI を活用した予算審議について、地方議員研究会 木村亮太氏の講座を受講した。急速に普及する ChatGPT や Gemini 等の生成 AI について、その特性と予算審議への具体的な活用手法を習得し、業務の効率化と政策立案能力の向上を図る目的で受講した。

生成 AI とは、自然な言語による指示 (プロンプト) だけで回答を出力するツールである。無料版でも十分に活用可能だが、精度の高い回答を得るには「具体的に指示する」「回答形式を指定する」「一問一答形式で深掘りする」といったプロンプトの工夫が重要となる。

AI は「ハルシネーション (もつともらしい嘘)」を生成する可能性がある。そのため、回答をそのまま鵜呑みにせず、必ず一次情報 (URL や出典) を確認し、最終的には自分の言葉で修正・加筆する「叩き台」として活用すべきであり、そのリスク管理と正確性の担保をよく理解して用いることが重要である

ブログや広報紙のネタ出し、議会質問の要約、他自治体の事例紹介などに有効である。自身の発言を AI に学習・蓄積させることで、将来的なリサーチの精度向上にも繋がるとのことである。実際に活用して、慣れることが重要であり、支持の出し方も一定で、的確にしないと自分らしさが損なわれ、ともすれば議員は必要かという議論になりかねないと感じた。

Gemini 等のツールを用い、視覚的な広報画像の生成や、Google スライド・PowerPoint 形式へのエクスポート機能を活用した資料作成の効率化が可能であることも理解した。5W1H を意識したフレームワークにより、行政との認識のズレをなくし、実効性の高い議会発言を構成するための「壁打ち」相手として活用し、自分らしく活用することが何より重要である。

研修を通じて、生成 AI は単なる事務作業の効率化ツールではなく、行政と議

(様式 11)

員の「認識の共有」を助ける強力な武器になると実感した。

特に本市においても、予算決算審議や一般質問の準備段階において、国や他市の先進事例をAIで迅速に比較分析することで、より客観的なデータに基づいた提言が可能となる。また、行政側が「検討します」と消極的な答弁に留まる背景には、問題意識の共有不足がある。AIを活用して「数字・法律・市民ニーズ」を整理し、事前通告前から職員とコミュニケーションを図ることで、建設的な議論を促進できる。

生成AIはあくまで「公開情報の整理」を得意とするものであり、最終的な「意思決定」や「市民の生の声の収集」は人間にしかできない。AIによって創出された時間を、市民との対話や現場の調査に充てることで、議員としての本来の役割をより深化させていきたい。

①-④
 (様式6) ②-③

1201
 30303

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和 8 年 2 月 8 日 (日) 10:00 ~ 16:00		
出張先 (目的)	京都市南区東九条西山王町 1 京都 JA ビル 地方議員研究会主催 「議員には見えない福祉行政の裏側」 講座受講 ①『役所の中から見た地域福祉のリアル』 ②『介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み』		
出張者氏名	露木里江子		
	神間 郁子		(計 2 名)
旅 費 額 内 訳			
項 目	金 額	備 考	
交通費	31,640 円	JR新幹線 切符代【浜松-京都 往復】(¥15,820 円×2 名分)	
日 当	3,000 円	@ 1,500 円 × 1 日 × 2 名分	
合 計	34,640 円		

金額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		3	4	6	4	0	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 8 年 2 月 10 日

代表者 会長 平野 岳子

<詳細>

行程

新幹線 徒歩 徒歩 新幹線
 浜松駅 == 京都駅 ... 会場 ... 京都駅 == 浜松駅

領収書

領 収 書
 京都市議会 自由民主党 浜松支部
 2026-2-8 金額番号: T3180001031569
 ¥15,820 (消費税等込み) 税10%

上記金額に領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類
 (50537 4枚)
 東海旅客鉄道株式会社
 浜松駅MV3発行 60538-01

印紙額申告書
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

領 収 書
 京都市議会 自由民主党 浜松支部
 2026-2-8 金額番号: T3180001031569
 ¥15,820 (消費税等込み) 税10%

上記金額に領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類
 (00385 4枚)
 東海旅客鉄道株式会社
 浜松駅MV1発行 10386-01

印紙額申告書
 付につき名古屋中村
 税務署承認済

(様式8)

令和7年12月17日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 神間 郁子 様

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

神間 郁子

露木里江子

(2名)

2 期間及び出張先

令和8年2月8日(日) 10:00～16:00

京都市南区東九条西山王町1 京都JAビル

3 目的

地方議員研究会主催 議員には見えない福祉行政の裏側 受講

① 10:00-12:30『役所の中から見えた地域福祉のリアル』

② 13:30-16:00『介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み』

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名

㊟

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

元市職員が明かす！

議員には見えない 福祉行政の裏側

～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～

2月8日(日) 京都

2月14日(土) 大阪

10:00
↓
12:30

役所の中から見ただ地域福祉のリアル

～議員が知らない“職員の論理”と政策形成の流れ

- なぜ福祉施策は分かりにくいのか？役所内部の意思決定プロセス
- 担当課と現場職員の本音
- 住民要望が制度に反映されるまでの道筋
- 議会質問が職員に与える“効果と限界”
- 議員がチェックすべき資料とタイミング

13:30
↓
16:00

介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

- 介護保険制度の裏側：給付と負担の均衡をどう見ているか
- 包括支援センターの役割と現場の課題
- 医療・介護・福祉の連携を阻む“縦割りの壁”
- 予算要求から事業実施までの流れ
- 議員が押さえるべき“制度の仕組み”と“現場の実情”

柴田 しばた
知成 ともなり

元寝屋川市職員

〔略歴〕1973年 大阪府生まれ

2001年 高齢介護室（介護保険）
2006年 高齢介護室係長
2009年 保険事業室（国民健康保険・後期高齢者医療）課長代理
2012年 保険事業室課長
2014年 高齢介護室（介護保険）課長
2018年 高齢介護室長（次長）
2023年 健康部次長兼保健予防課長（保健所）

立命館大学大学院（社会学修士）

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	京都 2.8(日)	大阪 2.14(土)
10:00~12:30 役所の中から見た地域福祉のリアル	○	
13:30~16:00 介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み	○	

開場時間は午前9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ ツネキ リエ子 露木里江子	貴議会名	浜松市議会 自由民主党浜松(2期目)
電話番号	(053) 457 - 2495	FAX番号	(053) 457 - 2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料・USB動画データ 郵送希望) 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画質、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所 ※郵送ご希望の方は ご記入ください	〒 -		

京都 京都JAビル
〒601-8585 京都府京都市南区東九条西山王町1

Googleマップ

- JR京都駅 八条東口 徒歩5分
- 近鉄京都駅 八条駅 徒歩7分
- 市営地下鉄(丸亀線)京都駅八条口 徒歩7分

大阪 リファレンス大阪駅前第4ビル
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4 23階

Googleマップ

- JR各線 大阪駅 徒歩8分
- 阪神梅田駅 徒歩5分

受講料
1講座15,000円

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。

- ① チェックボックス1つにつき15,000円です。
- ① キャンセルは7日前までのご連絡を
お願いいたします。

お問合せ 地方議員研究会

TEL: 050-1089-9835
FAX: 050-6875-7448
メール: chihogiken@h3o.works
〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区深田町362-28

元市職員が明かす！

議員には見えない 福祉行政の裏側

～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～

2月8日(日) 京都

2月14日(土) 大阪

10:00



12:30

役所の中から見た地域福祉のリアル

～議員が知らない“職員の論理”と政策形成の流れ

- なぜ福祉施策は分かりにくいのか？役所内部の意思決定プロセス
- 担当課と現場職員の本音
- 住民要望が制度に反映されるまでの道筋
- 議会質問が職員に与える“効果と限界”
- 議員がチェックすべき資料とタイミング

13:30



16:00

介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

- 介護保険制度の裏側：給付と負担の均衡をどう見ているか
- 包括支援センターの役割と現場の課題
- 医療・介護・福祉の連携を阻む“縦割りの壁”
- 予算要求から事業実施までの流れ
- 議員が押さえるべき“制度の仕組み”と“現場の実情”

柴田
しばた
ともなり
知成

元寝屋川市職員

【略歴】1973年 大阪府生まれ

2001年 高齢介護室（介護保険）係長
2006年 高齢介護室係長
2009年 保険事業室（国民健康保険・後期高齢者医療）課長代理
2012年 保険事業室課長
2014年 高齢介護室（介護保険）課長
2018年 高齢介護室長（次長）
2023年 健康部次長兼保健予防課長（保健所）

立命館大学大学院（社会学修士）

① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX : 050-6875-7448

お申込みはFAXまたはメールにて

お申込み後、一両日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受講確認書】を送付いたします。
【受講確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される講座をお選びいただき ☑チェックを入れて
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

	京都 2.8(日)	大阪 2.24(土)
10:00~12:30 役所の中から見た地域福祉のリアル	○	
13:30~16:00 介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み	○	

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

お名前	フリガナ カミ 郁子 神間 郁子	貴議会名	浜松市議会 (2期目)
電話番号	(053) 457-2495	FAX番号	(053) 457-2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	※領収証はセミナー終了後、メールにて送付致します。 浜松市議会 自由民主党浜松		
郵送サービスご希望の方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加（資料・USB動画データ 郵送希望） 動画データの無断転載はしないことに同意して申し込みます。 ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。 ※現場での講演を優先していますので画質、音声の品質は保証いたしかねます。		
郵送先住所	〒 ー ー		

京都 京都JAビル
〒601-8585 京都府京都市南区東九条西山王町1

JR京都駅 八条東口 徒歩5分
 近鉄京都駅 八条駅 徒歩7分
 市営地下鉄(丸亀線)京極駅八条口 徒歩7分

大阪 リファレンス大阪駅前第4ビル
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4 Z3階

JR各線 大阪駅 徒歩8分
 阪神梅田駅 徒歩5分

受講料
1講座15,000円

受講料は【受講確認書】到着後、
事前のお振込みをお願いいたします。



① チェックボックス1つにつき15,000円です。
② キャンセルは7日前までのご連絡をお願いいたします。

お問合せ 地方器具調査会

TEL: 050-1089-9835
FAX: 050-6875-7448
Eメール: chihogiken@h3o.works
住所: 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区港島町362-28

(様式 11)

(B(201))
B0202

令和 8 年 2 月 10 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 8 日 (日) 10:00～ 16:00 (1日間)
出張先	京都市南区東九条西山王町1 京都 JA ビル
出張の理由	地方議員研究会主催 本市職員が明かす! 「議員には見えない福祉行政の裏側」 ～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～ 2講座 受講
出張者 氏名印	露木里江子  神間 郁子  (計 2 名)
(出張の願末)	
別紙 報告書の通り	
(備考)	

(様式 11)

令和 8 年 2 月 10 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 8 日 (日)
出張先	京都市南区 京都 JA ビル
出張の理由	研修会 『議員には見えない福祉行政の裏側』 ～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～
出張者氏名	露木 果江子

研修テーマ： 1. 介護保険と地域包括ケアを動かす仕組みについて
2. 役所から見た地域福祉のリアル
講師： 柴田 智也 氏 (元寝屋川市職員)

【 研修の目的 】

団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」、そして団塊ジュニア世代が前期高齢者となり生産年齢人口が急減する「2040年問題」を控え、介護保険制度と地域包括ケアシステムの持続可能性が問われている。本研修では、自治体職員として長年現場に携わった講師の視点から、制度の構造的課題と地域福祉の実情を学び、本市における施策提案の糧とすることを目的とした。

【 研修内容の概要 】

① 介護保険制度と地域包括ケアシステムの運用

- ・ 人口動態と地域差： 2043年に高齢者数がピークを迎える予測の中、本市でも中央区と天竜区（高齢化率 50%に迫る勢い）では状況が大きく異なる。一律の施策ではなく、地域特性に応じた対応が不可欠である。
- ・ 行政との連携： 介護保険料を定める条例や事業計画は毎年見直しが行われる。予算や施策に反映させるためには、春先の早い段階から担当部局と対話を行う重要性を確認した。
- ・ 地域ケア会議の形骸化防止： 個別ケースから地域課題を抽出する「地域ケア会議」が、本市でどの程度機能し、解決に繋がっているか。現場（社協、民生委員、事業者）の声と行政の施策を繋ぐ議員の役割を再認識した。

(様式 11)

② 地域福祉のリアルと「地域共生社会」の実現

- ・ 複雑化する課題への対応： 空き家、担い手不足、孤独・孤立など、単一の制度では解決できない「制度の狭間」の課題が増加している。
- ・ 重層的支援体制の構築： 社会福祉法に基づく包括的相談支援やアウトリーチ（訪問支援）の重要性が増している。しかし「申請しない権利」や「コミュニティデザインの欠如」といった、制度だけでは解決できない壁も存在する。
- ・ 法改正への対応： 認知症基本法や孤独・孤立対策推進法など、次々と新設される法律を本市の「高齢者保健福祉計画」にいかにか落とし込み、絵に描いた餅に終わらせないかが課題である。

新たな法改正等として

平成 27 年 生活困窮者自立支援法

平成 28 年 成年後見制度の利用促進に関する法律

令和 6 年 共生社会の実現を推進するための認知症基本法

令和 6 年 孤独・孤立対策推進法

など域包括ケアシステムは制度分野の枠や支える側支えられる側と言う関係を越えた包摂的な社会を目指す地域矯正社会の実現に向けた中核的な基盤となり得るものである。絵に書いた餅で終わらぬよう、具体的な施策が必要となってくる。


【 所感と今後の提言 】

今回の研修で最も大きな気付きは、「住民が制度に合わせるのではなく、地域の都合に制度を合わせていく」という視点の転換である。

- ・ 縦割り行政の打破： 福祉、教育、医療といった枠組みを超えた「多機関多職種連携」を、一般質問等を通じて強力に推進していく必要がある。
- ・ 職員とのコミュニケーション： 政策実現のためには、現場を支える市職員との密な対話が不可欠である。職員の立場を理解しつつ、民間の活力をいかに引き出すかを共に考えたい。
- ・ 天竜区等の重点支援： 特に医療資源に限られる地域において、包括的なケアが担保されているか、本市の計画を精査し、改善を求めていく。

今後は、厚生労働省の検討会資料や介護保険担当課長会議資料などを精読し、国の動向を先取りした上で、本市の特性に即した「寛容で自分らしい暮らし」を守れる仕組みづくりに邁進したい。

(様式 11)

令和 8 年 2 月 10 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 2 月 8 日 (日) 10:00~16:00
出張先	京都市南区東九条西山王町 1 京都 JA ビル
出張の理由	地方議員研究会主催『議員には見えない福祉行政の裏側』講座受講
出張者 氏名印	露木 里江子 

(出張の顛末)

『議員には見えない福祉行政の裏側』～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～として柴田知成氏（元寝屋川市職員）の講座を受講した。
福祉は制度理解が大変であり、また制度変更も多い。そして、私が厚生保健委員会であったとき、コロナ禍であったのでその対応に追われ、経験が不足していると感じ、職員の立場からの学びを得たいと考えて受講した。

午前 『役所の中から見た地域福祉のリアル』

～議員が知らない“職員の論理”と政策形成の流れ～

- ・ なぜ福祉施策は分かりにくいのか？役所内部の意思決定プロセス
- ・ 担当課と現場職員の本音
- ・ 住民要望が制度に反映されるまでの道筋
- ・ 議会質問が職員に与える“効果と限界”
- ・ 議員がチェックすべき資料とタイミング

午後 『介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み』

- ・ 介護保険制度の裏側：給付と負担の均衡をどう見ているか
- ・ 包括支援センターの役割と現場の課題
- ・ 医療・介護・福祉の連携を阻む“縦割りの壁”
- ・ 予算要求から事業実施までの流れ
- ・ 議員が押さえるべき“制度の仕組み”と“現場の実情”

この構成で講義を受けた。

元市役所職員の立場から、議会对応の実態と建設的な政策提言の在り方について語られ、大変多くの学びがあった。

現在、要介護認定は調査と医師意見書をもとに公平に判定され、恣意的な操作

(様式 11)

はできない仕組みとなっている。制度面では 2015 年改正により、訪問介護やデイサービスの一部が地域支援事業へ移行し、地域包括ケアシステムの構築が進められている。

今後は 75 歳以上、特に 85 歳以上の増加により、認知症や単身高齢者の増加、家族介護の限界が課題となる。さらに労働力不足も深刻で、財源と人材の両面で持続可能性が問われている。こうした中、医療・介護・生活支援を地域で一体的に提供する体制づくりが重要とされている。

学びとして、現在、議会答弁のための資料作成や「宿題（後日回答）」を作らないための調整に膨大な人件費と時間が費やされており、職員側も「やり過ぎること」が目的化する不毛な状況があるという状況は浜松市においてもそうであろうと感じた。特に、高齢者福祉と防災などの「縦割り行政」の間で、個別避難計画といった複雑な課題が放置されがちである。

こうした状況を打破するには、議員が一般質問等で現場の痛い所を突き、あえて「悪役」となって議論の土台を作ることが有効であると理解した。それにより、職員は「議員に言われたから」という口実で部署間の調整や予算確保に動きやすくなるという。

また、予算編成のサイクル（6 月議会頃までが重要）を理解した提案や、労働力不足を補う AI・DX の導入、地域住民による「互助」の仕組みづくりが、今後の地域共生社会には不可欠であるという大変有意義な学びを得た。

研修報告書

自由民主党浜松

神間郁子

■日時： 2026年2月8日（日） 10:00～16:00

■場所： 京都 JAビル B1F

■テーマ： 地方議員研究会講義

元市職員が明かす！

議員には見えない福祉行政の裏側

～制度と現場・議会と役所をつなぐヒント～

元寝屋川市職員 柴田知成

■研修内容：

① 役所の中からみた地域福祉のリアル

団塊の世代が85歳以上、団塊ジュニア世代が前期高齢者となる2040年には、生産人口の減少が問題となる。医療と介護の複合ニーズが一層高まるなか、地域の抱える課題は、高齢化による介護・福祉の問題、増え続ける保険料、地域のつながりの衰退である。

地域福祉は議員の出番が多い。市民の困りごとは「福祉」が多く、広義の「福祉」を含む市民の困りごとを、政策にしていくのが議員の仕事である。新たな取組や既存事業の見直しなどが必要。

地域福祉の目指すゴールは「地域共生社会」である。「つながり」を再構築することで「つながり」が個人の暮らしのセーフティネットになるとともに地域の活力となり、好循環を生み出すことを地域共生社会という概念。自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、医療・介護・介護予防、生活支援、住まいといった5要素を一体的に提供する仕組みを地域包括ケアシステムと言い、地域共生社会の基礎となる。

地域包括ケアシステムの考え方では、住み慣れた地域、つまりなじみの人間関係の中で生活し、自分らしい暮らし、マイペースに生活できる気楽さ、言い換えると、地域の役割は本人らしきを守る「選択肢」とそれを許容する「寛容さ」をいかにして用意できるかにある。それには発想の転換が必要で「人がケアに合わせる」から「人にケアを合わせる」ことが必

要。5つの要素が盛り込まれた地域包括ケアシステムとなっているか、そこに議員として議会質問などでメスを入れ、進捗を確認する。

いい議会質問とはどんなものか、また役所（職員）との向き合い方、など、元職員ならではの、本音の話が聞けて大変参考になった。

② 介護保険と地域包括ケアを動かす仕組み

介護保険制度の仕組みや介護保険料の仕組み、その財源構成と規模などについて解説を受けた。要介護認定制度や介護サービスについて説明があった。今後の介護保険を取り巻く状況は人口構造の推移をみると、2025年以降「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化している。

市には、介護保険事業計画や介護保険条例が存在しているが、計画の期間が3年であり、一年かけて見直しをするため、3月議会質問されても、役所側は困る、など役所の実情を知ることができた。

地域包括支援センターの設置状況や地域ケア会議について、では特に地域ケア会議の重要性について、学ぶことができた。実務者レベルでの個別課題の課題解決型地域ケア会議から、個別ケースで出てきた共通項の課題に対し、圏域地域ケア会議があり、さらに市全域で、いい事例の共有や課題の認識を進める地域ケア推進会議で成り立っており、これによって、政策形成をし地域ケアシステムの構築を推進する、という。この会議が行われているか、そしてどのように政策が提言され、改変されたのか、また、地域包括ケアシステムの構築のためのプロセスがしっかりと行われているか、議員としてチェックすべき点であることについて、ヒントをもらった。

今回、2月議会用に、地域の实情に合わせた、中山間地域の地域包括ケアシステムについて、自身の意見書として取り上げたが、今後も地域包括ケアシステムについては引き続きチェックしていく必要を感じた、大変充実した研修であった。

旅 費 支 払 証 明 書

出張年月日	令和7年6月4日(水)		
出張先(目的)	東京都千代田永田町2-1-2 衆議院第2議員会館 多目的会議室 ボランティア議員連盟 総会・研修会・意見交換会 出席		
出張者氏名	花井 和夫		

旅 費 額 内 訳

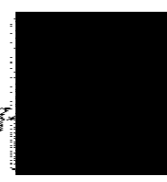
項目	金額	備 考
会 費	5,000 円	10/6会費 / 全国災害ボランティア議員連盟
交通費	15,200 円	JR新幹線 切符代【浜松-東京 往復】(裏面領収書添付)
”	1,500 円	東京駅-衆議院会館 往路タクシー代【※時間的要因のため利用】
日 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1日 × 1名分
合 計	23,200 円	

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		2	3	2	0	0	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和8年2月27日

代 表 者 会 長 平野 岳子



<詳細>

行程

新幹線 タクシー 地下鉄 JR 新幹線
浜松駅 == 東京駅 == 会場(衆議院議員会館) == 東京駅 == 浜松駅

(様式8)

令和7年6月2日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 花井 和夫 様

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

花井和夫

2 期間及び出張先

令和7年6月4日(水) 10:00～
東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館

3 目的

ボランティア議員連盟 総会・研修会・意見交換会 参加

視察依頼書送付願

令和 年 月 日


浜松市議会議長 様

会派名
代表者氏名 印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

(様式11)

B0204

令和 8 年 2 月 27 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 7 年 6 月 4 日 (水) 1日間
出張先	東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館
出張の理由	全団ボランティア議員連盟 総会・研修会・意見交換会 出席
出張者 氏名印	花井 和夫 
(出張の顛末) 別紙の通り	
(備考)	

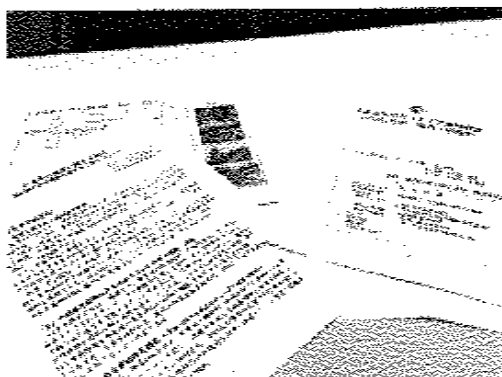
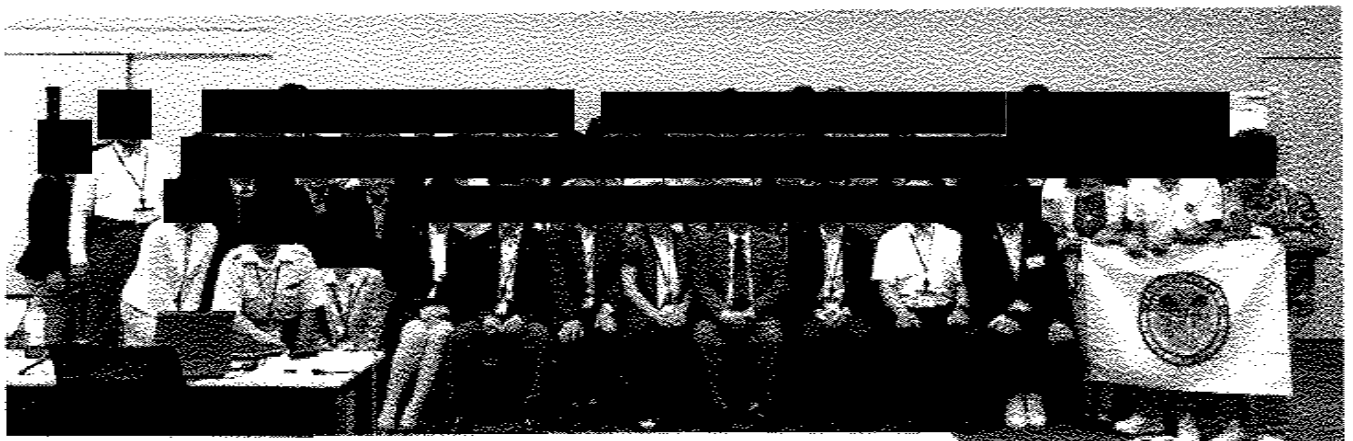
全国災害ボランティア議員連盟2025年度総会・研修会・情報交換会

開催日時 令和7年6月4日

会場 衆議院第2議員会館多目的会議室 東京都千代田区永田町2丁目1-2

内容

全国災害ボランティア議員連盟の令和7年度総会・研修会が6月4日に衆議院第2議員会館の多目的会議室で開催され出席した。10時から役員会が開催され総会議事等について協議し総会に臨んだ。総会では、令和6年度の事業・決算報告、令和7年度の事業計画・予算の説明報告があり承認した。また全国8ブロックの各地域ごとに分かれ自己紹介や今後の活動等について協議、東海地区(静岡・愛知・岐阜・三重)からは8人が参加。昼食を挟んで研修会が開催され、奥能登広域圏事務組合の■■■■を務める■■■■氏が「災害対応について～能登半島地震を経験して～」と題し講演した。■■■■氏は前職が輪島分屯基地司令等を務めた航空自衛官であり災害対策等についても経験が豊富な方である。能登半島地震の被災状況やその対応から避難所の運営や災害ボランティアについて体験に基づき話をして頂き、改善すべき点についても指摘頂いた。議連の会長を務める谷公一衆議院議員(元防災担当大臣)からは、自民党の防災体制抜本的強化本部長を務めており来年度設置予定の防災庁について設置の必要性や役割、組織等について解説頂いた。また、能登半島地震で入浴支援を行なったNPO法人Vネットの■■■■から支援活動の詳細な報告があった。その他、重機ボランティア、生活用水、活動の財源、ボランティアの環境整備、トイレカー等について報告があり意見交換が行われ終了した。議連は、議員のネットワークにより災害ボランティアの活動環境整備や地域防災力の向上などの活動を通し、防災・減災に必要な社会の仕組みづくりを考え、適切な政策提言に結びつけ安全・安心な地域づくりに寄与することを目的としている。超党派の国・都道府県・市町村の議員で構成されており、約400名の会員があり、今回は80名が参加した。



(様式6)

B0301

旅 費 支 払 証 明 書

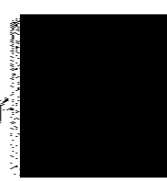
出張年月日	令和 8 年 3 月 25 日 (水)		
出張先 (目的)	東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル 13:30~15:00 地方議員研究会主催 講座受講		
出張者氏名	太田 康隆		
旅 費 額 内 訳			
項 目	金 額	備 考	
研修費	15,550 円	3/2 振込 受講料 / (株)H30 15,000 円 + 振込手数料 / 静岡 B 550 円	
交通費	17,280 円	① J R 新幹線 切符代 【浜松-東京 往復】 (裏面取り書添付)	
"	356 円	② 東京駅 ~ 西新宿【会場】 ~ 東京駅 地下鉄電車代 IC @178 円 × 2 = 356 円	
日 当	1,500 円	@ 1,500 円 × 1 日 × 1 名分	
合 計	34,686 円		

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
	¥		3	4	6	8	6	

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 8 年 3 月 26 日

代 表 者 会 長 平 野 岳 子



<詳細>

※受講料 15,000 円 + 振込手数料 550 円 = 15,550 円 (令和 8 年 3 月 2 日付 振込)

行程

新幹線 地下鉄 徒歩 徒歩 地下鉄 新幹線
浜松駅 == 東京駅 — 西新宿 … 会場 … 西新宿 — 東京駅 == 浜松駅

8030/

記号 520270 精収書No 59
窓口No 1

浜松市議会 自由民主党浜松

金額 ￥17,280円
(消費税等込み・10%)

但し、乗車券類として

上記金額確かに精収致しました

2026年3月17日
東海旅客鉄道株式会社
登録番号：T318001031501

ご利用いただきましてありがとうございます

E紙税申告第
行に〇名名古屋中村
税務署承認済

浜松駅



9:00 財政課の査定から学ぶ
減出削減策

• やりたい事業はたくさんある

【13:30～16:00】 財政危機の基礎

- 本当に財政危機なのか
- 人件費の一律カットは愚策
- 財政の無理解が勘違いを生む



① 電話番号、FAX、
メールアドレスが変わりました！

FAX 050-6875-7448

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

お申込み後、一兩日中に事務局よりFAXまたはメールにて【受領確認書】を送付いたします。
【受領確認書】に従い、事前に口座へお振込みください。



メール申し込み

chihogiken@h3o.works



FAX申し込み

申込書に必要事項を明記し、
参加される氏名をお印いいただき、封入して
FAXで050-6875-7448宛にお送りください。

申込期間	申込料	申込	申込期間	申込料	申込
10:00～12:30 財政の基礎	3,300円		10:00～12:30 減出の基礎	3,300円	
13:30～16:00 減入の基礎			13:30～16:00 財政危機の基礎		✓

開場時間は午前は9時30分、午後は13時からになります。
お時間前の来場は入室できないことがありますのでご注意ください。

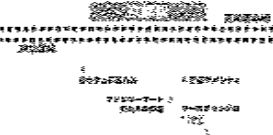
お名前	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 オオタヤスタカ 太田康隆	所属会名	茨城市議会 （L 1001）
電話番号	050-457-2495	FAX番号	050-457-2494
メールアドレス	[Redacted]		
領収書のご宛名	茨城市議会 自由民主党 波松		
<input type="checkbox"/> 当日不参加（資料・USB録音データ 郵送希望） <small>領収データの領収を望まないことに希望して申し込みます。 当日参加しない場合は、USB録音データも郵送させていただきます。 当日参加する場合は、USB録音データも郵送していただき、 当日の領収書を領収していただく必要はありません。</small>			
郵便先住所	〒 [Redacted]		

東京 リファレンス西新宿大京ビル
〒160-0003 東京都新宿区西新宿7丁目1-3



〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

東京 全都庁新庁舎民衆ホール（旧国体競技場）
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1



〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

受講料
1講座15,000円

受講料は【受講料】お振込み、
お振込みを希望いたします。
お振込みの口座は、お振込みの
お振込みの口座は、お振込みの
お振込みの口座は、お振込みの

お問合せ 株式会社ヒョウ
TEL 050-1029-2835
TEL 050-6875-7448
E-MAIL chihogiken@h3o.works
TEL 03-21-0044
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

差出人: 地方議員研究会 <chihogiken@h3o.works>
送信日時: 2026年3月2日月曜日 12:04
宛先: [REDACTED]
件名: 受講確認について(地方議員研究会)_3/25今村講師【東京】

静岡県浜松市議会
太田康隆 様

平素よりお世話になっております。

このたびは、お申込みありがとうございます。
お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。
※お振込み確認できた時点での、お席確保となります。

なお、今後のお申込みにつきましては、
最新情報を掲載しております新ホームページよりお申込みいただけますと幸いです。
各開催のチラシのご確認や、今後の開催予定も随時更新しております。

▼新ホームページはこちら

<https://chihogiken.com/>

【お申込み講座】

・2026年3月25日(水)13時半～今村講師【東京】財政危機の基礎

領収証お宛名: 浜松市議会自由民主党浜松様

ご請求金額: ￥15,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 106

普通 2753145

名義 株式会社H3O(カ)エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。

※会派名でお振込をいただくことがあります。全国的に同じ会派名が多数存在し、

※どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。

その他、ご要望等ございましたらお気軽にお申し付けください。

どうぞよろしくお願い致します。

地方議員研究会 セミナー事務局
 TEL: 050-1089-9835(平日9~12時、13~17時)
 FAX: 050-6875-7448
 メール: chihogiken@h3o.works
 新ホームページ: <https://chihogiken.com/>

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
 ※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。
 ※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

ご利用明細		静岡銀行	
ご利用ありがとうございます。 内容をご確認いただきお持ち帰りください。			
年 月 日	振替先出番・科目・口座番号		
08/08/02			243
銀行番号	店番号	科目	口座番号
0149		10	
お取扱店	お取引内容	お取引金額	
0361	お引出し	¥15,000	
お取引種別			
	おつり	残 高	
キヤンペイ			
手数料	時期	印 度	
¥550	13560206		
ステーション・アキタ マツシキ・イチ 普通 2753145 (株)イチスリー・様 マツシキ・カイ・19エンソトウマツ 様 TEL053-457-2495			

06.520.38 (裏面もご確認ください)

差出人: 地方議員研究会 <chihogiken@h3o.works>
送信日時: 2026年3月2日月曜日 15:48
宛先: [REDACTED]
件名: 入金確認について(地方議員研究会)_3/25今村講師【東京】

静岡県浜松市議会
太田康隆 様

いつもお世話になっております。

受講料のご入金ありがとうございます。
本メールにて受領致しましたことを通知いたします。
領収証はセミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。

お申込み講座
・2026年3月25日(水)13時半～今村講師【東京】財政危機の基礎

お振込金額: ¥15,000
お振込日: 2026/3/2
お振込名義: ハママツシギカイジユウミンシユトウ

その他、ご要望等ございましたらお気軽にお申し付けください。

地方議員研究会 セミナー事務局
TEL: 050-1089-9835(平日9～12時、13～17時)
FAX: 050-6875-7448
メール: chihogiken@h3o.works
新ホームページ: <https://chihogiken.com/>

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。
※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。
※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

On 2026/03/02 (月) 12:04, 地方議員研究会 wrote:

静岡県浜松市議会
太田康隆 様

平素よりお世話になっております。

このたびは、お申込みありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
領収証は、セミナー終了後7-10営業日中にメールにて送付いたします。
※お振込み確認できた時点での、お席確保となります。

なお、今後のお申込みにつきましては、
最新情報を掲載しております新ホームページよりお申込みいただけますと幸いです。
各開催のチラシのご確認や、今後の開催予定も随時更新しております。

▼新ホームページはこちら

<https://chihogiken.com/>

【お申込み講座】

・2026年3月25日(水)13時半～今村講師【東京】財政危機の基礎

領収証お宛名: 浜松市議会自由民主党浜松様

ご請求金額: ¥15,000

【お振込み口座】※2025年5月1日より変更になりました。

住信SBIネット銀行 法人第一支店 106

普通 2753145

名義 株式会社H3O (カ)エイチスリーオー

※お振込名義に自治体名、またはお申込みいただいた方の個人名の記載をお願いします。

※会派名でお振込をいただくことがあります。全国的に同じ会派名が多数存在し、

※どなたからのお振込かわかりかねる例が多くございます。ご協力よろしくお願い致します。

その他、ご要望等ございましたらお気軽にお申し付けください。

どうぞよろしくお願い致します。

地方議員研究会 セミナー事務局

TEL: 050-1089-9835(平日9～12時、13～17時)

FAX: 050-6875-7448

メール: chihogiken@h3o.works

新ホームページ: <https://chihogiken.com/>

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。

※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

領収証

2024年3月25日

浜松市議会自由民主党 横松 様

★ ¥15,000



但

2026年3月25日(水)13時半～今村先生【東京】財政危機の基礎

研修会受講代として

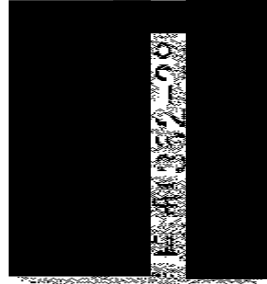
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区津

TEL 050-1089-9835



(様式8)

令和8年3月2日

会派名 浜松市議会 自由民主党浜松
代表者 会長 平野 岳子 様

申請議員 太田 康隆 様

出張届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

太田 康隆 議員

2 期間及び出張先

令和8年3月25日(水)

東京都新宿区西新宿7丁目21-3

リファレンス西新宿大京ビル

3 目的

地方議員研究会

『財政危機の基礎』セミナー 受講

視察依頼書送付願

令和 年 月 日

浜松市議会議長 様


会派名
代表者氏名

印

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

(様式 11)

B0301

令和 8 年 3 月 26 日提出	
(あて先) 会派名 浜松市議会 自由民主党浜松 代表者 会長 平野 岳子 様	
報 告 書	
出張年月日	令和 8 年 3 月 25 日 (金) 13:30~16:00
出張先	東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3 リファレンス西新宿大京ビル
出張の理由	地方議員研究会主催 研修会 『財政危機の基礎』 セミナー受講
出張者 氏名印	太田 康隆 
(出張の顛末) 別紙 報告書の通り	
(備考)	

・主張の理由 地方議員研究会主催のセミナー参加

令和8年3月25日

太田康隆

・講座のテーマ 「財政健全化の基礎・財政危機の基礎」

講師 今村寛氏（略歴） 神戸市生まれ、元福岡市職員、財政局財政調整課長、水道企業局総務部長などを歴任
職員向け「財政出前講座」、他自治体向け「財政出前講座」
2024年福岡市退職、フリーランスとなる。著書「自治体の台所事情～財政が厳しいってどういうこと」⇒ぎょうせい など。

・（内容）

そもそも財政とは何か？そもそも予算とは何か？財政が厳しいとはどういうことか？

について福岡市を例に解説する。

(1) 一般財源はそんなに増減しない

人口や税収が伸びても一般財源全体では変化なし。つまり税収が減れば⇒地方交付税で補てん、税収が増えれば⇒地方交付税が減る仕組み。近年は地方交付税の不足分を「臨時財政対策債」で対応している。

臨時財政対策債＝地方に自ら市債を発行させ、財源調達するもの。その償還にあたっては、後年度に国から全額、地方交付税で措置される。

福岡市の例でも、ここ10年一般財源の総額は4,000億前後で推移。緩やかに伸びているがその原因は、消費税の増税（5%→8%→10%）。企業収益好調で税収増だが、その分交付税が減額され、一般財源全体では大きくは変わらない。

(2) 伸び続ける社会保障費

・福岡市の推計人口は増えるけれども、内訳としては、後期高齢者が今後10年間で1.4倍。生産年齢人口は、しばらく横ばいで、その後徐々に減少に転じる。

この結果、医療・介護関係の公費負担（繰出金）は今後10年間で30%弱（100億円）の増加が見込まれるが、増えるのは老人人口だけではなく、「生活保護世帯」や「保育所入所児童」、「障がい者」も増えており、生活保護費は10年間で5割増、障害福祉費は6割増、扶助費全体で180億円、30%の増加。これは高齢者を合わせると、一般財源の伸びと同じ。

扶助費の増加に対して、細心の注意が求められる。

(3) 市債発行額は段階的に減少しているが、公債費は高止まりを続けている

・市債発行額はH15年度の898億円から、25年度710億円と188億円減少してきているが、毎年の公債費（借金返済額）は1036億円から974億円と62億円の減で、相変わらず1000億円規模の公債費が残り、高止まりが続いている。つまり借りるお金を減らしても、返すお金は減らない。⇒理由は借金の多くが30年返済なので、借りる額を減らしてもその30分の1しか返済額は減らない仕組み。

公債費発行のピーク（平成10年頃）から30年を経過した平成40年頃から、徐々に減少す

る。当面は借入を抑えながら、粛々と返済を抑制していくしかない。

(4) 人件費は減らせないのか

・福岡市は政令市で一番、人口に対する職員の割合が低い(平均 90 人→福岡市 62 人)
理由は民間委託が進んでいる。最近では人口が増え、窓口に来る市民の数が増えても、職員の数は増やせない。

(5) 第四の義務的経費＝増え続ける「公共資産の維持管理経費」

高度経済成長期に建設した公共資産が老朽化し、大規模な改修や更新時期を迎えている。そこで、建て替えや更新を繰り延べる為の、「長寿命化」が必要。⇒計画的、予防的修繕の為の「アセットマネジメント実行計画」を平成 25 年度に策定したが、その 3 年後には 100 億円余分にかかる計画となり、実行できなかった。計画通りに修繕できないまま、だましまし使っている施設があり、そこが問題。

(6) 「財政が厳しい」の実態＝政策的経費に使える財源の減少＝社会保障関係費や公共施設等の改修・修繕経費など、経常的経費の伸びが、一般財源総額の伸びを上回ることから、政策的経費にまわる財源が年々減少していくので、さらなる財政健全化の取り組みが必要となる。また、経常的経費を構成するものは、人件費・公債費・扶助費・医療介護拠出金・公共施設等改修修繕・その他経常的経費などがあるが、ここで言う「その他経常的経費」とは、結局のところ過去の政策決定のランニングコスト。

まとめると、①自由に使える一般財源は大幅には伸びず、②人件費・公債費は横ばい
③社会保障関係費は 10 年間で 3 割増、④公共施設の老朽化への備えが必要、⑤政策的経費に使える財源が相対的に減っていく⇒「財政が厳しい」

別の視点では、社会課題解決のための新たに投じる経費＝政策的経費が必要、一方で過去の政策決定のランニングコスト＝その他の経常的経費の増大があるということは、新たに「やめる」という政策決定をしない限り、新たな政策に投じるお金がない⇒「財政が厳しい」

(7) なぜ「政策的経費」が必要か、またどうすればよいか

・基本計画＝10 年後、20 年後の自治体の理想の姿を市民と共有し、その実現を約束したもの。自治体の基本計画(マスタープラン)に定められた将来像を実現するため、政策の推進は必要で、政策的経費が必要。しかし、その財源がないので経常的経費を見直す「財政健全化」が必要。

(8) 「財政健全化」は何のため

- ・無駄な事業を一律に削れば正解ではない
- ・見直しの規模はやりたいことの規模
- ・〇〇億円削ったは成果ではない
- ・削りやすくノルマ達成しやすいところを削るのは愚の骨頂
- ・何を残すのかの市民理解は必須

(9) 北の大地で起きていること(Kitamishi の誤謬)

- ・経常収支比率を近隣自治体と比較して行財政改革の必要性を説明している

- ・行財政改革そのものが目的化している
- ・職員、議会、市民との対話不足
- ・目指すまちの将来像の共有が不可欠

(10) 経常収支比率に惑わされるな

・毎年見込まれる収入で、毎年見込まれる支出を賅うことが出来ているかが、経常収支比率で、その比率を他都市並みに改善したところで、市民は喜ばない。それを政策の目的にするべきではない。

- ・福岡市の経常収支比率は96%、自治体のあり様は千差万別。
- ・比較するなら他都市ではなく自らの過去。比率悪化の原因の分析が必要。
- ・経常的経費の増大は、過去の政策決定の結果。過去を否定することでも、悪化の要因を取り除くことでもなく、優先順位の最適化を図ることが大切。

(11) 他都市比較は愚の骨頂

・他都市に比べて、〇〇費が高すぎるという批判は当たらない。例えば福岡市の人件費比率は低い、その分物件費が高い→民間委託が進んでいる、(市立保育所7か所、市立幼稚園は無、ごみ収集はすべて委託)、埋蔵文化財調査の臨時職員人件費は高いなど各市の特徴あり。

(12) 財政力指数に騙されるな

- ・財政力指数が1を上回ることの意味

地方交付税が不交付ということで、財政の健全性を意味するものではない

- ・基準財政需要額は支出の実態を反映するものではない→一般財源の使途は自治体の裁量⇒使途が大きくなれば、収支バランスが崩れ財政は不安定
- ・財政力指数は収入があるかどうかの指標でしかない→(県内有数の優良自治体が、いきなり非常事態になることはあり得る＝裾野市)、豊かさの錯覚

(13) 大型公共事業と財政健全化

・大型公共事業をやめても、財源は出てこない⇒起債不要で将来の負担をしなくてよくなるだけ

- ・事業規模＝見直しの効果額ではない。「大型公共事業」は一度始めたら止まらない。影響は事業着手前に考えておくべき

(14) 財政危機に陥った自治体の特徴

・収入の範囲で支出を組むというルールを守れなかった＝収入の急減、支出の急増ではない＝ハコモノ建設は慎重にやるべきだが、建設をやめて財減不足が解消する訳ではない⇒結局のところ、財政危機はガバナンスの問題。

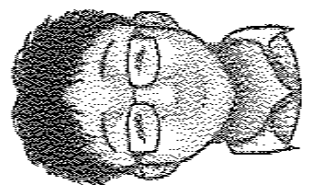
・財政危機を乗り切るために、歳入確保・歳出削減をして、短期的に財源不足を解消できたとしても、同じ轍を踏む。

・得られる収入・財源の範囲内で市民の幸福を最大化する市政運営が可能な体制へ＝「足るを知る」自律経営組織へ

(15)自治体の経営者は住民自身だ

- ・収支均衡は自治体経営の大前提だが、収入のコントロールはほぼ困難→支出抑制するしかない
- ・自治体ならではの支出抑制の難しさ→支出の9割を占める経常的支出、過去の政策決定を覆すことの難しさ
- ・自治体経営の難しさを知って欲しい→住民はサービスを消費する顧客ではない。
- ・放漫経営のツケは将来の住民が背負うだけ→危機共有のための情報発信と住民の読み解く力=住民が読み解く力を備えるよう働きかける
- ・自治体職員の責務＝行政運営に関する基礎的な情報を、市民が知っていることが、社会として当たり前という状況をつくる。＝議会の役割でもある。

経営者は誰だ



研究会 知っておきたい財政健全化の基礎
aNueNue 今村寛(元・福岡市職員)

Office aNueNue

TEL: 096-3250-3997
E-MAIL: info@anuenue.co.jp